

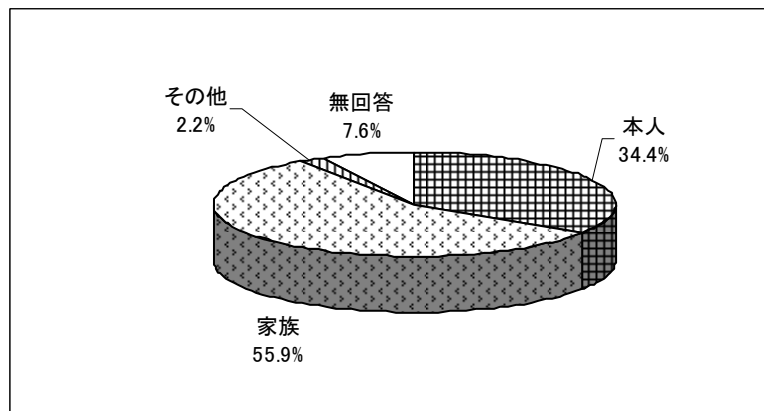
V 要介護者

1. 回答者の属性

(1) 記入者

記入者については、「家族」が55.9%、「本人」が34.4%となっています。

図表 210 記入者 [N=2,450]

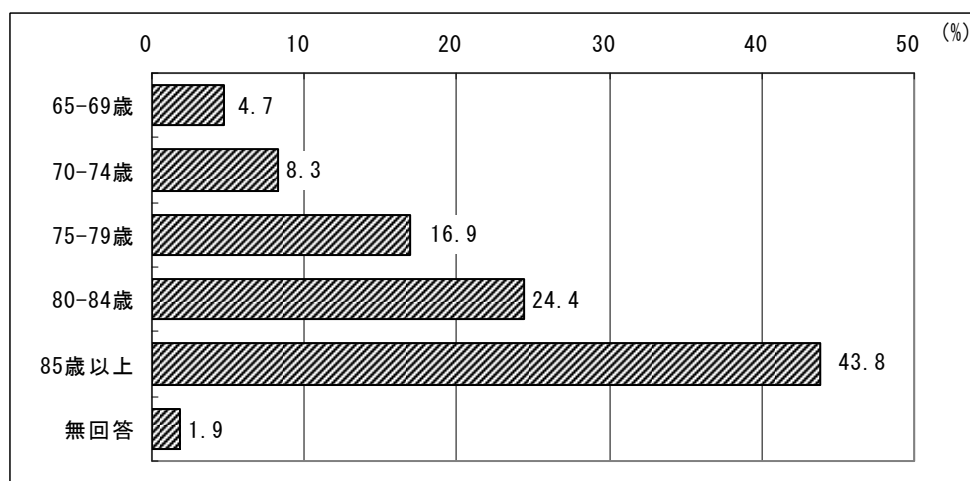


(2) 年齢

年齢については、「85歳以上」の割合が43.8%と最も高く、次いで、「80～84歳」が24.4%となっています。

要介護度別にみると、要介護3～5では、「85歳以上」の人が半数前後を占めており、中・重度者の高齢化がうかがえます。

図表 211 年齢 [N=2,450]



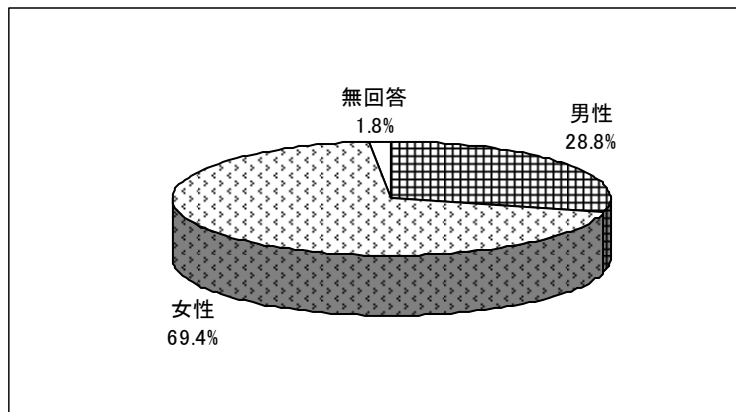
図表 212 <要介護度別>年齢[N=2,450]

	合計	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	無回答
合計	2,450	115	203	415	597	1,074	46
	100.0	4.7	8.3	16.9	24.4	43.8	1.9
要支援1	373	8	33	67	116	140	9
	100.0	2.1	8.8	18.0	31.1	37.5	2.4
要支援2	488	19	38	106	137	183	5
	100.0	3.9	7.8	21.7	28.1	37.5	1.0
要介護1	300	17	24	45	68	145	1
	100.0	5.7	8.0	15.0	22.7	48.3	0.3
要介護2	409	20	35	66	95	187	6
	100.0	4.9	8.6	16.1	23.2	45.7	1.5
要介護3	329	23	24	52	60	162	8
	100.0	7.0	7.3	15.8	18.2	49.2	2.4
要介護4	218	10	25	22	50	108	3
	100.0	4.6	11.5	10.1	22.9	49.5	1.4
要介護5	183	11	11	30	33	95	3
	100.0	6.0	6.0	16.4	18.0	51.9	1.6
その他	16	3	0	4	8	1	0
	100.0	18.8	0.0	25.0	50.0	6.3	0.0
わからない	41	3	6	7	9	15	1
	100.0	7.3	14.6	17.1	22.0	36.6	2.4
無回答	93	1	7	16	21	38	10
	100.0	1.1	7.5	17.2	22.6	40.9	10.8

(3) 性別

性別については、「女性」が69.4%、「男性」が28.8%となっています。

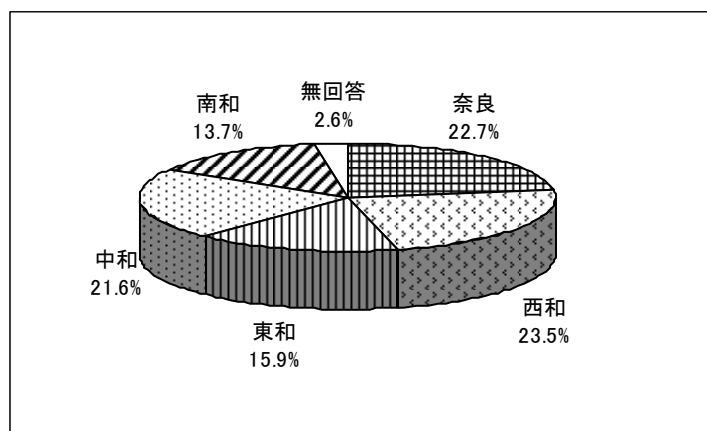
図表 213 性別[N=2,450]



(4) 圏域

圏域については、「西和」(23.5%)、「奈良」(22.7%)が高くなっています。

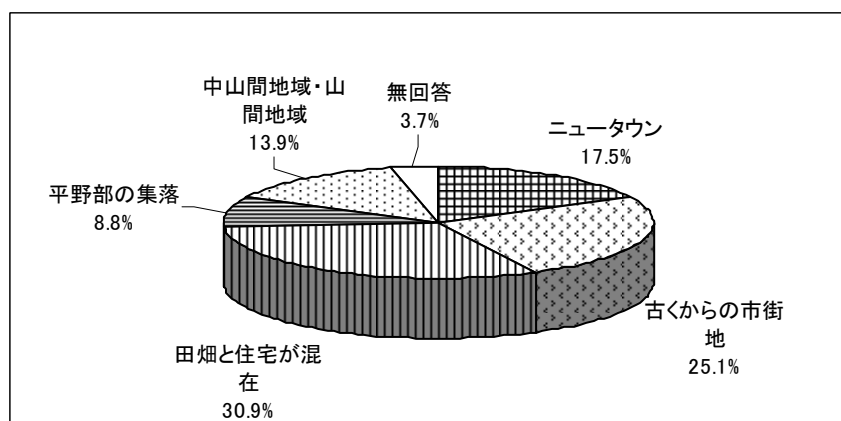
図表 214 圏域 [N=2, 450]



(5) 居住地域の特徴

居住地域の特徴についてきいたところ、「田畑と住宅が混在」の割合が30.9%と最も高く、次いで、「古くからの市街地」が25.1%となっています。

図表 215 居住地域の特徴 [N=2, 450]

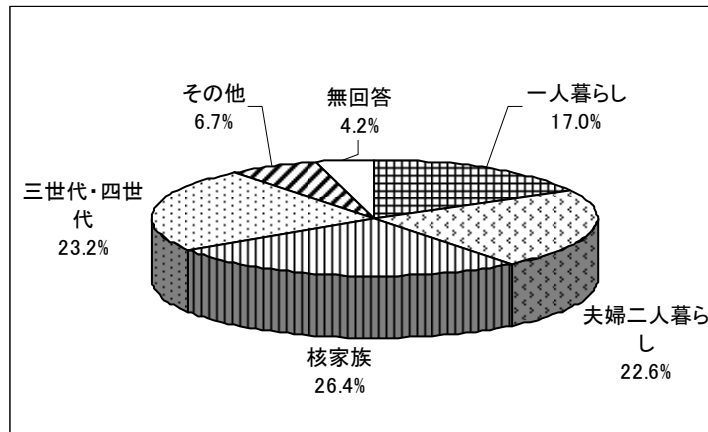


(6) 家族構成

家族構成については、「核家族」の割合が26.4%と最も高く、次いで、「三世代・四世代」が23.2%、「夫婦二人暮らし」が22.6%となっています。

圏域別にみると、大きな違いはみられないものの、奈良圏域では「一人暮らし」、「夫婦二人暮らし」があわせて約47%と、他の圏域に比べて高くなっています。一方、中和圏域では「三世代・四世代」の割合が他の圏域に比べて高くなっています。

図表 216 家族構成 [N=2, 450]



図表 217 <圏域別> 家族構成 [N=2, 450]

	合計	一人暮らし	夫婦二人暮らし	核家族	三世代・四世代	その他	無回答
合計	2,450	416	553	646	569	164	102
	100.0	17.0	22.6	26.4	23.2	6.7	4.2
奈良	557	112	151	122	113	37	22
	100.0	20.1	27.1	21.9	20.3	6.6	3.9
西和	575	94	127	174	129	36	15
	100.0	16.3	22.1	30.3	22.4	6.3	2.6
東和	389	64	70	108	102	31	14
	100.0	16.5	18.0	27.8	26.2	8.0	3.6
中和	529	81	111	130	151	38	18
	100.0	15.3	21.0	24.6	28.5	7.2	3.4
南和	336	54	82	100	68	20	12
	100.0	16.1	24.4	29.8	20.2	6.0	3.6
無回答	64	11	12	12	6	2	21
	100.0	17.2	18.8	18.8	9.4	3.1	32.8

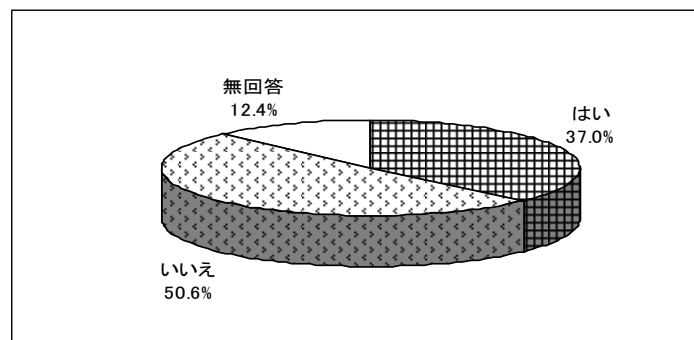
(7) 日中独居について

日中ひとりになることがあるかきいたところ、「はい」が37.0%、「いいえ」が50.6%となっています。

年代・性別にみると、65～74歳女性は「はい」が半数を占めており、他に比べて割合が高くなっています。

要介護度別にみると、要支援1では約半数が「はい」としています。一方、要介護3～5では約54～62%が「いいえ」となっており、重度者の方が日中独居とはなっていない状況にあります。

図表 218 日中独居[N=1,969]



図表 219 <年代・性別、要介護度別>日中独居[N=1,969]

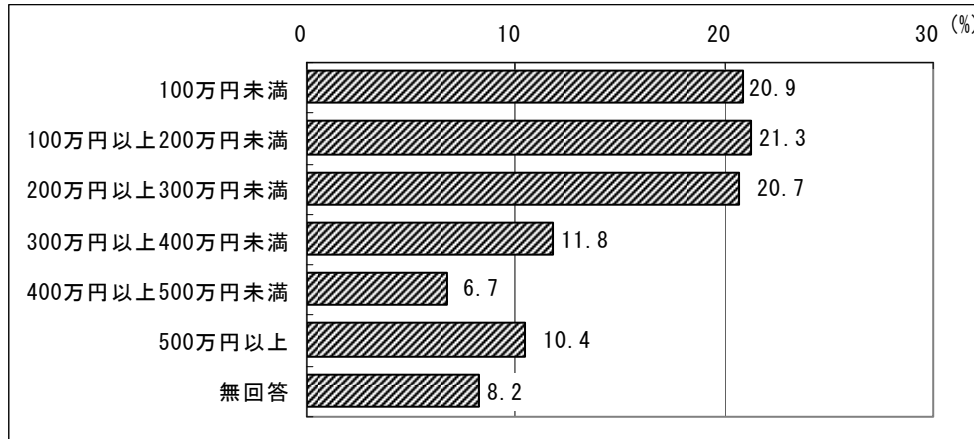
		合計	はい	いいえ	無回答
合計		1,969	728	996	245
		100.0	37.0	50.6	12.4
年代・性別	65～74歳男	125	40	72	13
		100.0	32.0	57.6	10.4
	65～74歳女	140	70	61	9
		100.0	50.0	43.6	6.4
	75歳以上男	489	177	256	56
		100.0	36.2	52.4	11.5
75歳以上女	1,152	416	580	156	
	100.0	36.1	50.3	13.5	
無回答		63	25	27	11
		100.0	39.7	42.9	17.5
要介護度別	要支援1	253	122	106	25
		100.0	48.2	41.9	9.9
	要支援2	365	142	181	42
		100.0	38.9	49.6	11.5
	要介護1	239	92	119	28
		100.0	38.5	49.8	11.7
	要介護2	346	134	168	44
		100.0	38.7	48.6	12.7
	要介護3	291	88	158	45
		100.0	30.2	54.3	15.5
	要介護4	203	59	115	29
		100.0	29.1	56.7	14.3
	要介護5	163	43	101	19
	100.0	26.4	62.0	11.7	
その他	14	6	7	1	
	100.0	42.9	50.0	7.1	
わからない	28	20	6	2	
	100.0	71.4	21.4	7.1	
無回答	67	22	35	10	
	100.0	32.8	52.2	14.9	

(8) 世帯の収入状況

世帯の収入状況についてきいたところ、「100万円以上 200万円未満」の割合が21.3%と最も高く、次いで、「100万円未満」が20.9%となっています。

年代・性別にみると、65～74歳男女、75歳以上男性は「200万円以上 300万円未満」の割合が最も高くなっていますが、75歳以上女性は「100万円未満」の割合が最も高くなっています。

図表 220 世帯の収入状況 [N=2,450]



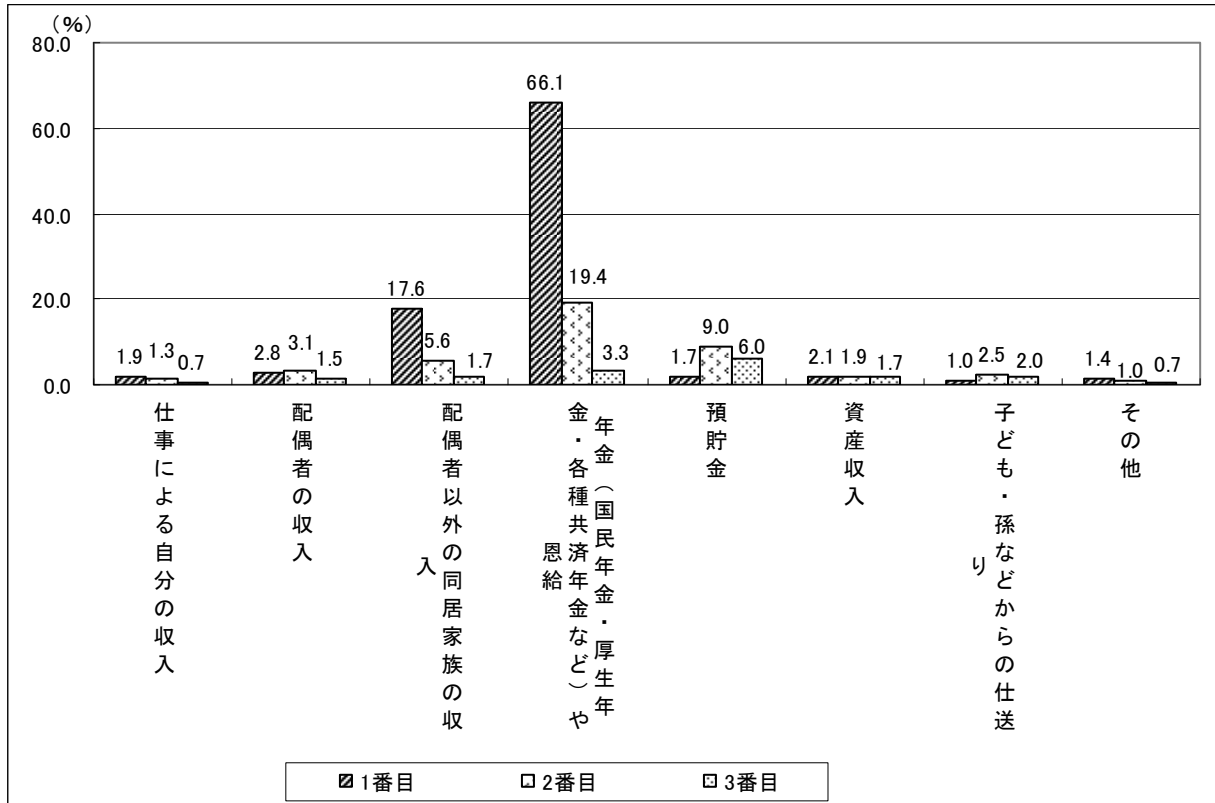
図表 221 <年代・性別>世帯の収入状況 [N=2,450]

	合計	100万円未満	100万円以上200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上	無回答
合計	2,450	511	522	507	290	164	254	202
	100.0	20.9	21.3	20.7	11.8	6.7	10.4	8.2
65～74歳男	133	12	35	46	17	8	11	4
	100.0	9.0	26.3	34.6	12.8	6.0	8.3	3.0
65～74歳女	177	38	43	44	16	9	11	16
	100.0	21.5	24.3	24.9	9.0	5.1	6.2	9.0
75歳以上男	555	89	107	140	85	38	60	36
	100.0	16.0	19.3	25.2	15.3	6.8	10.8	6.5
75歳以上女	1,500	356	315	263	166	103	165	132
	100.0	23.7	21.0	17.5	11.1	6.9	11.0	8.8
無回答	85	16	22	14	6	6	7	14
	100.0	18.8	25.9	16.5	7.1	7.1	8.2	16.5

(9) 世帯の収入源

世帯の収入源についてきいたところ、「年金（国民年金・厚生年金・各種共済年金など）や恩給」の割合が66.1%と最も高く、次いで、「配偶者以外の同居家族の収入」が17.6%となっています。

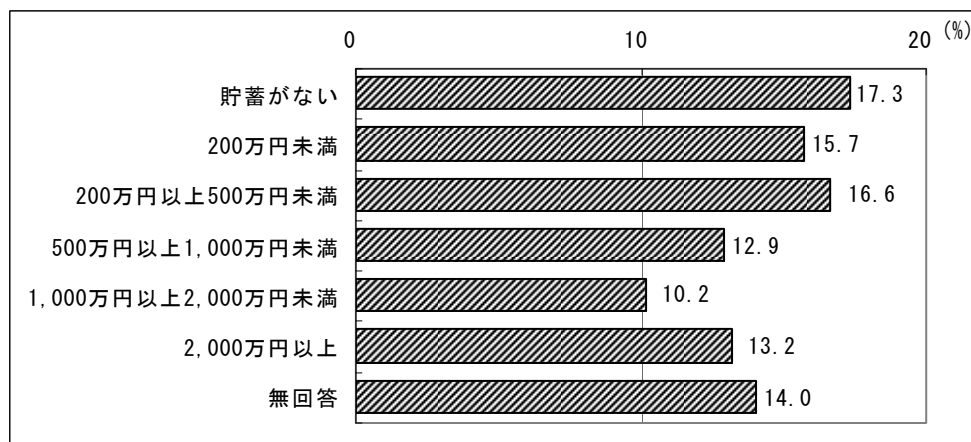
図表 222 世帯の収入源 [N=2,450]



(10) 世帯の貯蓄額

世帯の貯蓄額についてきいたところ、「貯蓄がない」割合が17.3%と最も高く、次いで、「200万円以上500万円未満」が16.6%となっています。

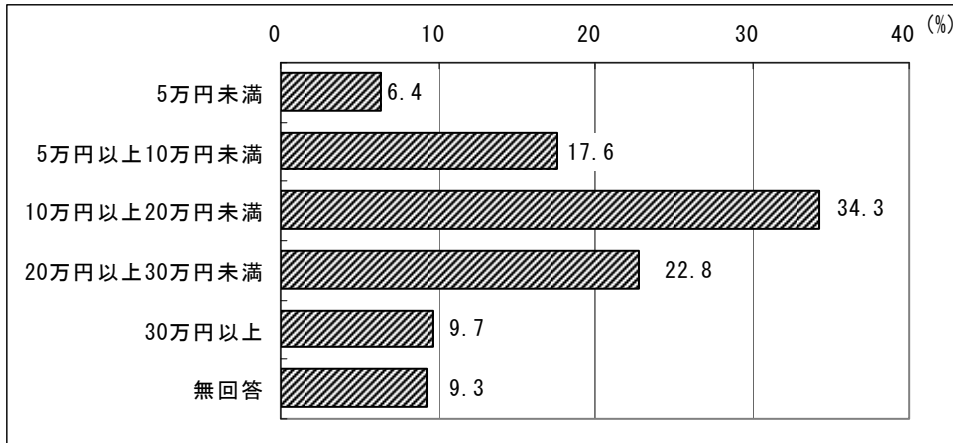
図表 223 世帯の貯蓄額 [N=2,450]



(11) 世帯の1か月の生活費

世帯の1か月の生活費についてきいたところ、「10万円以上20万円未満」の割合が34.3%と最も高く、次いで、「20万円以上30万円未満」が22.8%となっています。

図表 224 世帯の1か月の生活費 [N=2,450]

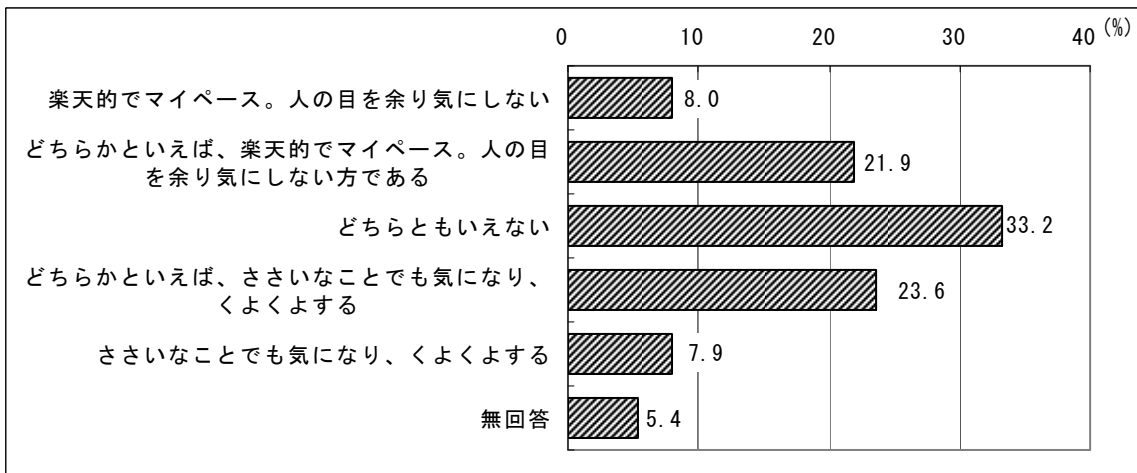


(12) 自分の性格

自分の性格についてきいたところ、「楽天的でマイペース。人の目を余り気にしない」が8.0%、「どちらかといえば、楽天的でマイペース。人の目を余り気にしない方である」が21.9%と比較的楽天的でマイペースな人が約30%、「どちらともいえない」が33.2%、「どちらかといえば、ささいなことでも気になり、くよくよする」が23.6%、「ささいなことでも気になり、くよくよする」が7.9%といった、比較的くよくよする人が約32%となっています。

年代・性別にみると、大きな違いはみられないものの、65～74歳女性では「どちらかといえば、ささいなことでも気になり、くよくよする」をあげる人の割合が他に比べて高くなっています。

図表 225 自分の性格 [N=2,450]



図表 226 <年代・性別>自分の性格[N=2,450]

	合計	楽天的でマイペース。人の目を余り気にしない	どちらかといえば、楽天的でマイペース。人の目を余り気にしない方である	どちらともいえない	どちらかといえば、ささいなことでも気になり、くよくよする	ささいなことでも気になり、くよくよする	無回答
合計	2,450	195	537	814	577	194	133
	100.0	8.0	21.9	33.2	23.6	7.9	5.4
65～74 歳男	133	12	37	51	22	7	4
	100.0	9.0	27.8	38.3	16.5	5.3	3.0
65～74 歳女	177	7	38	52	54	20	6
	100.0	4.0	21.5	29.4	30.5	11.3	3.4
75 歳以上男	555	42	133	210	106	32	32
	100.0	7.6	24.0	37.8	19.1	5.8	5.8
75 歳以上女	1,500	125	316	469	377	130	83
	100.0	8.3	21.1	31.3	25.1	8.7	5.5
無回答	85	9	13	32	18	5	8
	100.0	10.6	15.3	37.6	21.2	5.9	9.4

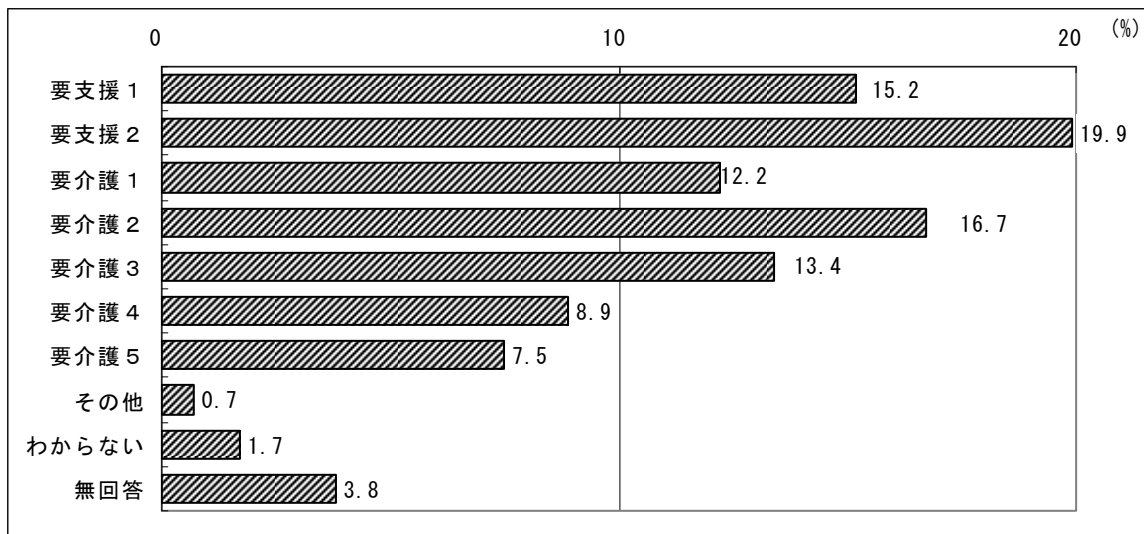
2. 心身の状況

(1) 現在の要介護度

現在の要介護度についてきいたところ、「要支援1」が15.2%、「要支援2」が19.9%、「要介護1」が12.2%と約47%が軽度となっています。また、「要介護2」が16.7%、「要介護3」が13.4%といった中度が約30%、「要介護4」が8.9%、「要介護5」が7.5%といった重度が約16%となっています。

年代・性別にみると、大きな違いはみられないものの、65～74歳男性は要介護3、4の割合が他に比べて高くなっています。

図表 227 現在の要介護度 [N=2,450]



図表 228 <年代・性別>現在の要介護度 [N=2,450]

	合計	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	わからない	無回答
合計	2,450	373	488	300	409	329	218	183	16	41	93
	100.0	15.2	19.9	12.2	16.7	13.4	8.9	7.5	0.7	1.7	3.8
65～74歳男	133	12	21	14	22	25	19	12	2	2	4
	100.0	9.0	15.8	10.5	16.5	18.8	14.3	9.0	1.5	1.5	3.0
65～74歳女	177	26	34	27	31	21	16	10	1	7	4
	100.0	14.7	19.2	15.3	17.5	11.9	9.0	5.6	0.6	4.0	2.3
75歳以上男	555	79	111	69	95	80	47	32	5	11	26
	100.0	14.2	20.0	12.4	17.1	14.4	8.5	5.8	0.9	2.0	4.7
75歳以上女	1,500	239	308	187	248	193	126	125	8	19	47
	100.0	15.9	20.5	12.5	16.5	12.9	8.4	8.3	0.5	1.3	3.1
無回答	85	17	14	3	13	10	10	4	0	2	12
	100.0	20.0	16.5	3.5	15.3	11.8	11.8	4.7	0.0	2.4	14.1

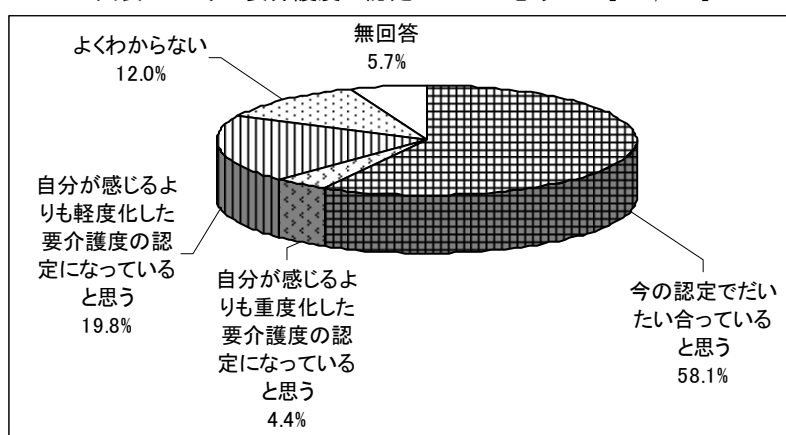
(2) 今の要介護度の認定について思うこと

今の要介護度の認定について思うことについてきいたところ、「今の認定でだいたい合っていると思う」の割合が58.1%と最も高く、次いで、「自分が感じるよりも軽度化した要介護度の認定になっていると思う」が19.8%となっています。

年代・性別でみると、大きな違いはみられないものの、65～74歳女性では「自分が感じるよりも軽度化した要介護度の認定になっていると思う」人の割合が他に比べて高くなっています。

要介護度別にみると、要支援1、2、要介護1では「自分が感じるよりも軽度化した要介護度の認定になっていると思う」とする人の割合が他より高くなっています。一方、要介護3～5は「今の認定でだいたい合っていると思う」とする人の割合が高くなっており、特に要介護5では約84%となっています。

図表 229 今の要介護度の認定について思うこと [N=2,450]



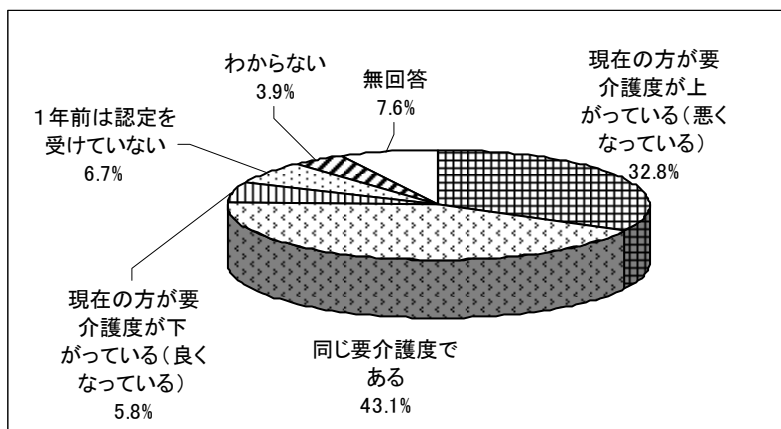
図表 230 <年代・性別、要介護度別>今の要介護度の認定について思うこと [N=2,450]

		合計	今の認定で だいたい合っ ていると思う	自分が感じるよりも 重度化した要介護度の 認定になっている と思う	自分が感じるよりも 軽度化した要介護度の 認定になっている と思う	よくわからない	無回答
合計		2,450	1,423	107	485	295	140
		100.0	58.1	4.4	19.8	12.0	5.7
年代・性別	65～74 歳男	133	84	3	27	13	6
		100.0	63.2	2.3	20.3	9.8	4.5
	65～74 歳女	177	92	8	47	23	7
		100.0	52.0	4.5	26.6	13.0	4.0
	75 歳以上男	555	311	26	115	65	38
		100.0	56.0	4.7	20.7	11.7	6.8
	75 歳以上女	1,500	895	63	281	187	74
		100.0	59.7	4.2	18.7	12.5	4.9
	無回答	85	41	7	15	7	15
		100.0	48.2	8.2	17.6	8.2	17.6
要介護度別	要支援1	373	194	10	105	46	18
		100.0	52.0	2.7	28.2	12.3	4.8
	要支援2	488	265	28	125	47	23
		100.0	54.3	5.7	25.6	9.6	4.7
	要介護1	300	165	14	81	34	6
		100.0	55.0	4.7	27.0	11.3	2.0
	要介護2	409	236	19	89	52	13
		100.0	57.7	4.6	21.8	12.7	3.2
	要介護3	329	218	13	50	41	7
		100.0	66.3	4.0	15.2	12.5	2.1
	要介護4	218	162	14	20	18	4
		100.0	74.3	6.4	9.2	8.3	1.8
	要介護5	183	153	7	4	14	5
		100.0	83.6	3.8	2.2	7.7	2.7
	その他	16	6	0	1	6	3
		100.0	37.5	0.0	6.3	37.5	18.8
	わからない	41	6	2	4	25	4
		100.0	14.6	4.9	9.8	61.0	9.8
	無回答	93	18	0	6	12	57
		100.0	19.4	0.0	6.5	12.9	61.3

(3) 1年前と比較した要介護度の変化

1年前と比較した要介護度の変化についてきいたところ、「同じ要介護度である」が43.1%と最も高く、次いで、「現在の方が要介護度が上がっている（悪くなっている）」が32.8%となっています。

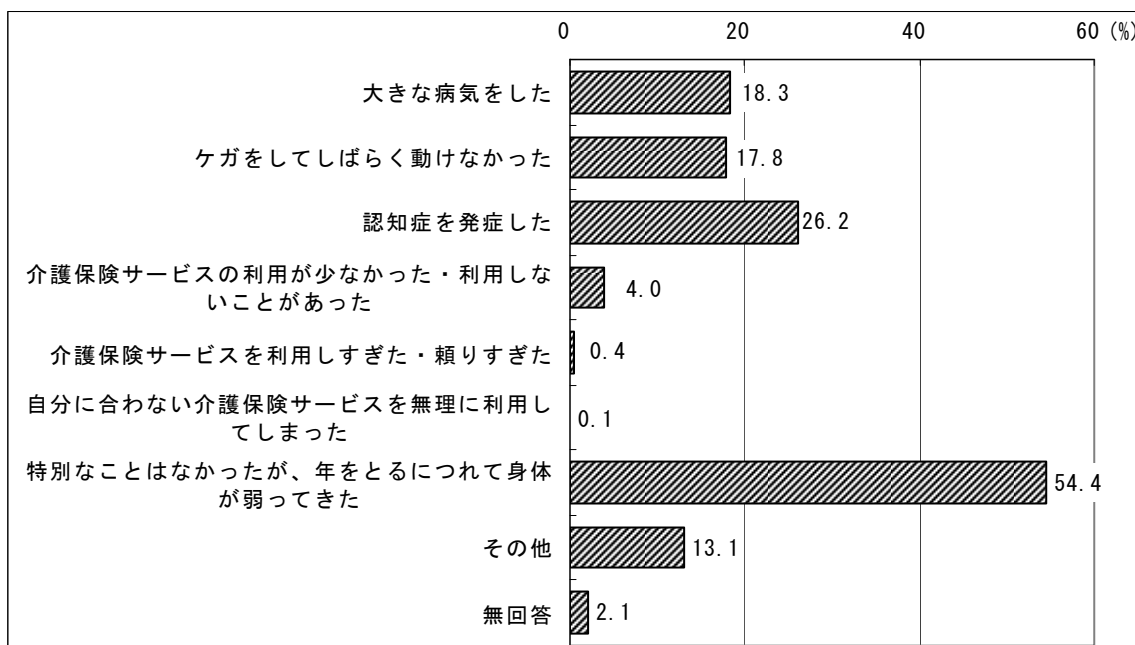
図表 231 1年前と比較した要介護度の変化 [N=2,450]



(4) 要介護度が上がっている（悪くなっている）原因

要介護度が上がっている（悪くなっている）原因についてきいたところ、「特別なことはなかったが、年をとるにつれて身体が弱ってきた」の割合が54.4%と最も高く、次いで、「認知症を発症した」が26.2%となっています。

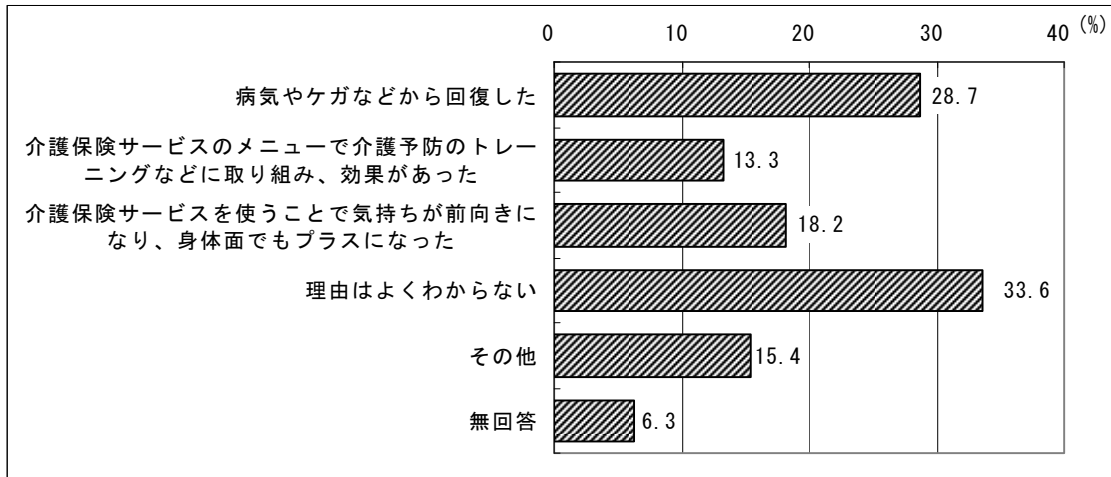
図表 232 要介護度が上がっている（悪くなっている）原因 [N=804；複数回答]



(5) 要介護度が下がっている（良くなっている）理由

要介護度が下がっている（良くなっている）理由についてきいたところ、「理由はよくわからない」の割合が 33.6%と最も高く、次いで、「病気やケガなどから回復した」が 28.7%となっています。

図表 233 要介護度が下がっている（良くなっている）理由 [N=143；複数回答]

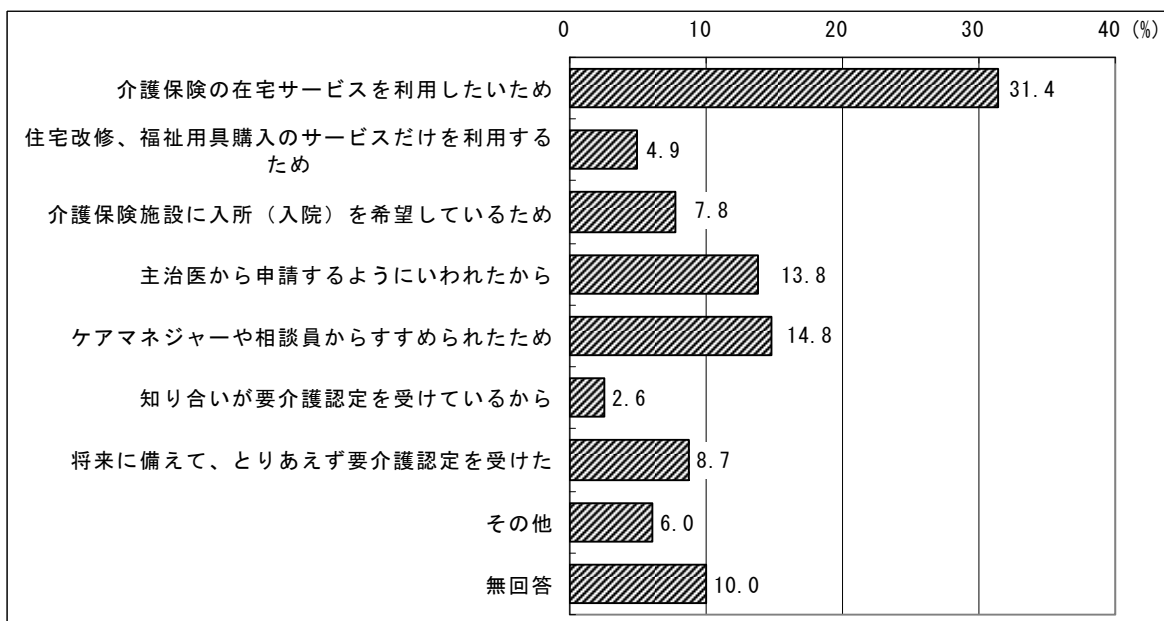


(6) 要介護認定を申請した主な理由

要介護認定を申請した主な理由についてきいたところ、「介護保険の在宅サービスを利用したいため」の割合が 31.4%と最も高く、次いで、「ケアマネジャーや相談員からすすめられたため」が 14.8%となっています。

要介護度別にみると、どの要介護度でも「介護保険の在宅サービスを利用したいため」をあげる人の割合が高くなっていますが、特に要介護5では約 46%と高くなっています。また、それ以外では要支援1では「将来に備えて、とりあえず要介護認定を受けた」をあげる人の割合が他に比べて高くなっています。

図表 234 要介護認定を申請した主な理由 [N=2,450]



図表 235 <要介護度別>要介護認定を申請した主な理由[N=2,450]

	合計	介護保険の在宅サービスを利用したため	住宅改修、福祉用具購入のサービスだけを利用するため	介護保険施設に入所（入院）を希望しているため	主治医から申請するよういわれたから	ケアマネジャーや相談員からすすめられたため	知り合いが要介護認定を受けているから	将来に備えて、とりあえず要介護認定を受けた	その他	無回答
合計	2,450	769	120	191	338	362	64	213	148	245
	100.0	31.4	4.9	7.8	13.8	14.8	2.6	8.7	6.0	10.0
要支援1	373	102	22	13	53	46	14	52	29	42
	100.0	27.3	5.9	3.5	14.2	12.3	3.8	13.9	7.8	11.3
要支援2	488	129	38	20	68	84	20	52	24	53
	100.0	26.4	7.8	4.1	13.9	17.2	4.1	10.7	4.9	10.9
要介護1	300	108	16	23	39	37	8	30	22	17
	100.0	36.0	5.3	7.7	13.0	12.3	2.7	10.0	7.3	5.7
要介護2	409	141	24	28	62	65	7	35	30	17
	100.0	34.5	5.9	6.8	15.2	15.9	1.7	8.6	7.3	4.2
要介護3	329	112	8	51	47	59	6	15	13	18
	100.0	34.0	2.4	15.5	14.3	17.9	1.8	4.6	4.0	5.5
要介護4	218	80	4	32	40	32	5	7	12	6
	100.0	36.7	1.8	14.7	18.3	14.7	2.3	3.2	5.5	2.8
要介護5	183	84	4	21	21	29	2	6	9	7
	100.0	45.9	2.2	11.5	11.5	15.8	1.1	3.3	4.9	3.8
その他	16	2	1	0	1	1	0	2	3	6
	100.0	12.5	6.3	0.0	6.3	6.3	0.0	12.5	18.8	37.5
わからない	41	3	1	1	2	6	1	10	2	15
	100.0	7.3	2.4	2.4	4.9	14.6	2.4	24.4	4.9	36.6
無回答	93	8	2	2	5	3	1	4	4	64
	100.0	8.6	2.2	2.2	5.4	3.2	1.1	4.3	4.3	68.8

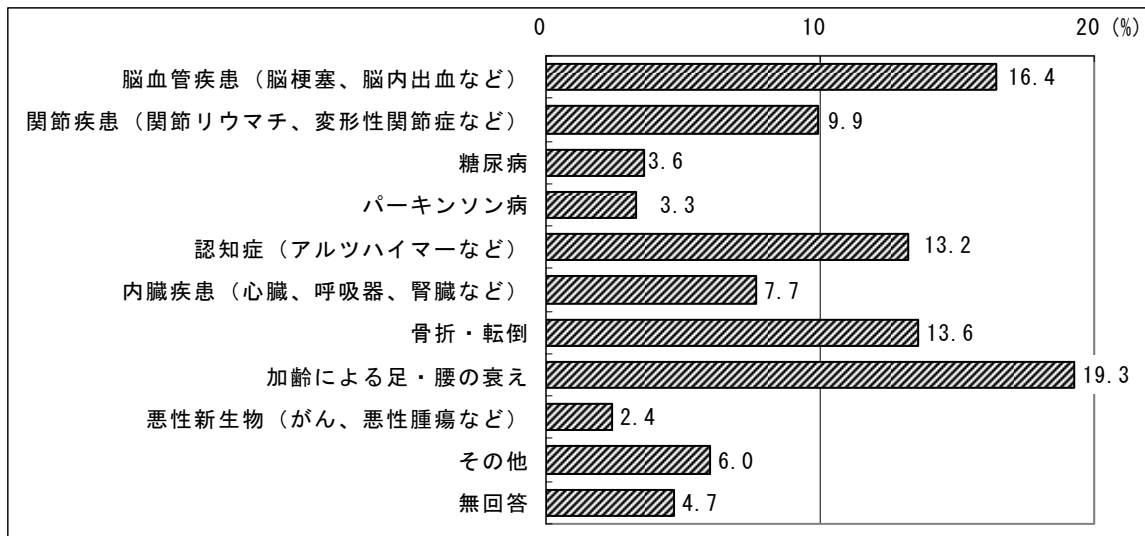
(7) 要介護認定を申請するきっかけ

要介護認定を申請するきっかけについてきいたところ、「加齢による足・腰の衰え」の割合が19.3%と最も高く、次いで、「脳血管疾患（脳梗塞、脳内出血など）」が16.4%となっています。

年代・性別でみると、概ね上位にあがっているものは同様となっていますが、特に65～74歳男性では「脳血管疾患（脳梗塞、脳内出血など）」が約41%と他に比べて高くなっています。また、75歳以上女性では「加齢による足・腰の衰え」が約23%と他に比べて高くなっています。

要介護度別でみると、要支援1では「加齢による足・腰の衰え」をあげている人の割合が他に比べて高くなっています。また、要介護度が上がるにつれ、「脳血管疾患（脳梗塞、脳内出血など）」、「認知症（アルツハイマーなど）」をあげる人の割合が高くなっています。

図表 236 要介護認定を申請するきっかけ [N=2,450]



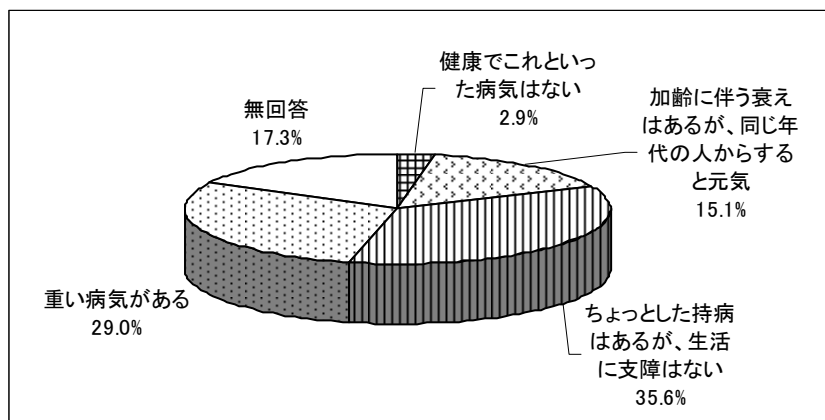
図表 237 <年代・性別、要介護度別>要介護認定を申請するきっかけ[N=2,450]

		合計	脳血管疾患（脳梗塞、脳内出血など）	関節疾患（関節リウマチ、変形性関節症など）	糖尿病	パーキンソン病	認知症（アルツハイマーなど）	内臓疾患（心臓、呼吸器、腎臓など）	骨折・転倒	加齢による足・腰の衰え	悪性新生物（がん、悪性腫瘍など）	その他	無回答
合計		2,450	401	242	87	81	324	188	334	472	59	148	114
		100.0	16.4	9.9	3.6	3.3	13.2	7.7	13.6	19.3	2.4	6.0	4.7
年代・性別	65～74 歳男	133	54	5	9	13	10	7	4	4	7	14	6
		100.0	40.6	3.8	6.8	9.8	7.5	5.3	3.0	3.0	5.3	10.5	4.5
	65～74 歳女	177	38	31	7	11	16	10	17	10	6	23	8
		100.0	21.5	17.5	4.0	6.2	9.0	5.6	9.6	5.6	3.4	13.0	4.5
	75 歳以上男	555	128	29	22	21	63	73	36	98	20	41	24
		100.0	23.1	5.2	4.0	3.8	11.4	13.2	6.5	17.7	3.6	7.4	4.3
	75 歳以上女	1,500	167	171	44	33	224	88	269	348	25	68	63
		100.0	11.1	11.4	2.9	2.2	14.9	5.9	17.9	23.2	1.7	4.5	4.2
無回答	85	14	6	5	3	11	10	8	12	1	2	13	
	100.0	16.5	7.1	5.9	3.5	12.9	11.8	9.4	14.1	1.2	2.4	15.3	
要介護度別	要支援1	373	39	44	12	5	11	30	57	115	8	28	24
		100.0	10.5	11.8	3.2	1.3	2.9	8.0	15.3	30.8	2.1	7.5	6.4
	要支援2	488	56	78	21	17	12	46	74	109	17	32	26
		100.0	11.5	16.0	4.3	3.5	2.5	9.4	15.2	22.3	3.5	6.6	5.3
	要介護1	300	45	19	14	3	73	26	30	63	8	13	6
		100.0	15.0	6.3	4.7	1.0	24.3	8.7	10.0	21.0	2.7	4.3	2.0
	要介護2	409	60	48	14	16	59	36	60	72	9	28	7
		100.0	14.7	11.7	3.4	3.9	14.4	8.8	14.7	17.6	2.2	6.8	1.7
	要介護3	329	70	21	14	17	74	16	40	46	4	21	6
		100.0	21.3	6.4	4.3	5.2	22.5	4.9	12.2	14.0	1.2	6.4	1.8
	要介護4	218	59	11	5	7	44	14	34	29	7	7	1
		100.0	27.1	5.0	2.3	3.2	20.2	6.4	15.6	13.3	3.2	3.2	0.5
	要介護5	183	53	6	1	13	45	6	24	19	3	11	2
		100.0	29.0	3.3	0.5	7.1	24.6	3.3	13.1	10.4	1.6	6.0	1.1
	その他	16	1	1	0	1	1	2	1	2	0	2	5
		100.0	6.3	6.3	0.0	6.3	6.3	12.5	6.3	12.5	0.0	12.5	31.3
わからない	41	2	6	3	1	1	4	2	8	0	4	10	
	100.0	4.9	14.6	7.3	2.4	2.4	9.8	4.9	19.5	0.0	9.8	24.4	
無回答	93	16	8	3	1	4	8	12	9	3	2	27	
	100.0	17.2	8.6	3.2	1.1	4.3	8.6	12.9	9.7	3.2	2.2	29.0	

(8) 現在の健康状態

現在の健康状態についてきいたところ、約半数が健康であったり、病気はあるものの生活に支障がないとしており、なかでも「ちょっとした持病はあるが、生活に支障はない」が35.6%と最も高くなっています。一方、「重い病気がある」が29.0%となっています。

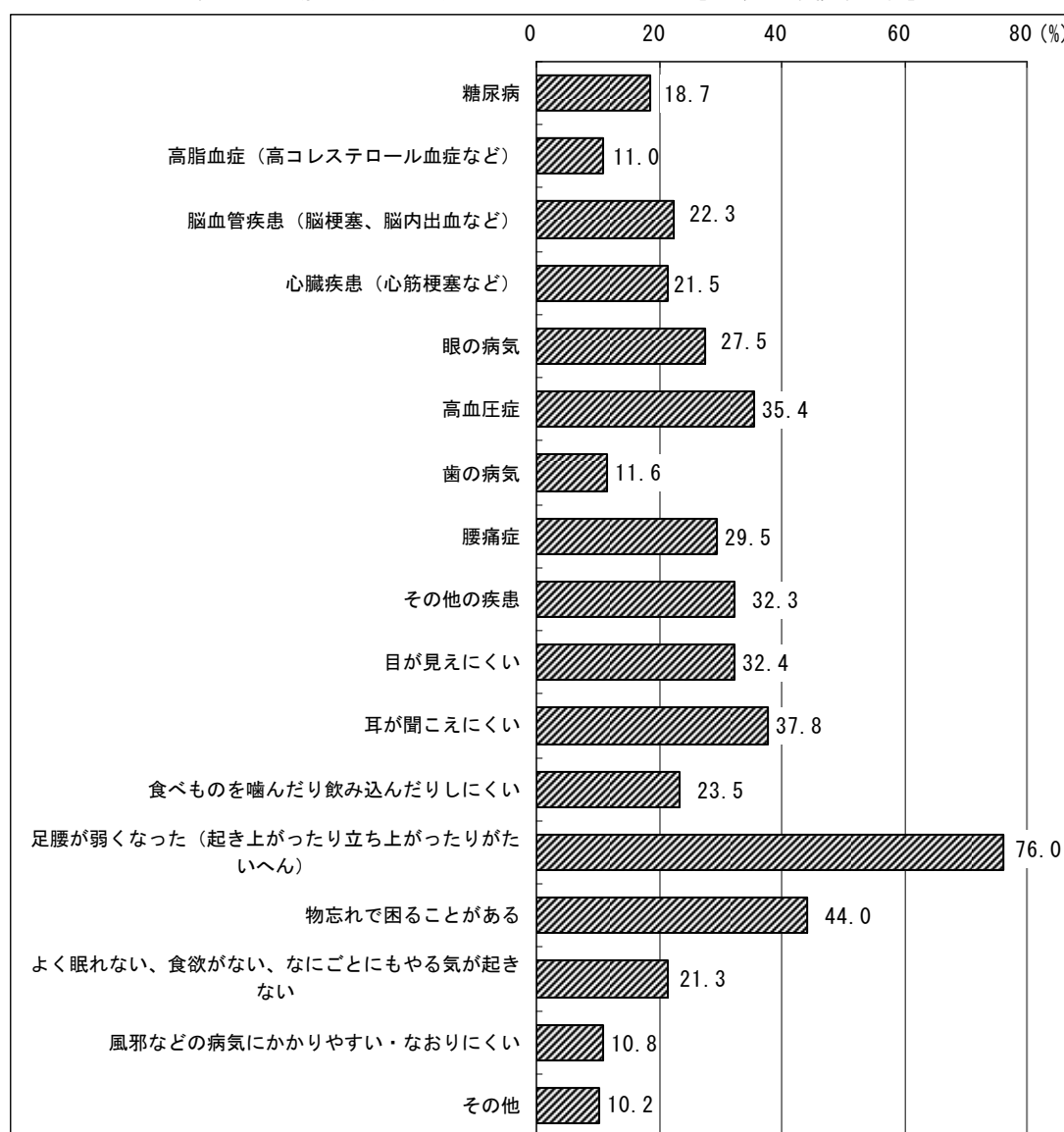
図表 238 現在の健康状態 [N=2,450]



(9) 治療中の疾患や疾患以外で気になること

ちょっとした持病がある人や重い病気がある人に、治療中の疾患などについてきいたところ、「高血圧症」の割合が 35.4%と最も高く、次いで、「その他の疾患」が 32.3%となっています。また、疾患以外で気になることについては、「足腰が弱くなった（起き上がったり立ち上がったりがたいへん）」の割合が 76.0%と最も高く、次いで、「物忘れで困ることがある」が 44.0%となっています。

図表 239 治療中の疾患や疾患以外で気になること [N=1,584 ; 複数回答]



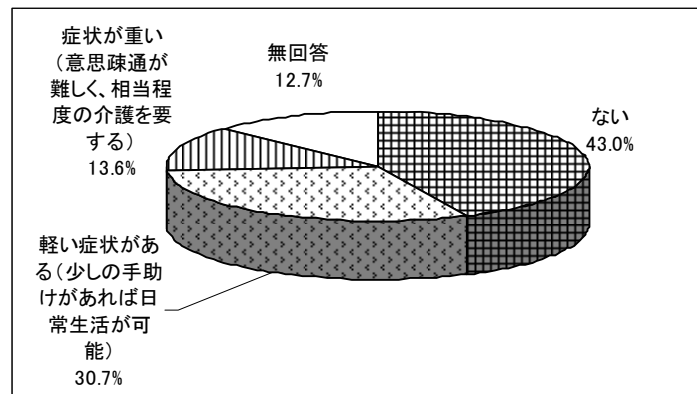
(10) 認知症の症状の有無

認知症の症状の有無についてきいたところ、「ない」の割合が43.0%となっています。一方、何らかの症状がある人は約44%おり、なかでも「軽い症状がある（少しの手助けがあれば日常生活が可能）」が30.7%と高くなっています。

年代・性別で見ると、65～74歳男女とも半数が「ない」としています。一方、75歳以上では何らかの症状がある人の割合の方が「ない」人の割合より高くなっています。

要介護度別にみると、要支援1，2では「ない」人の割合が約59～63%となっています。要介護1以上では何らかの症状がある人の割合が半数を超えています。要介護1，2では、「軽い症状がある（少しの手助けがあれば日常生活が可能）」がほとんどとなっていますが、要介護度が上がるにつれ、「症状が重い（意思疎通が難しく、相当程度の介護を要する）」人の割合が高くなり、要介護5では半数以上を占めています。

図表 240 認知症の症状の有無 [N=2,450]



図表 241 <年代・性別、要介護度別> 認知症の症状の有無 [N=2, 450]

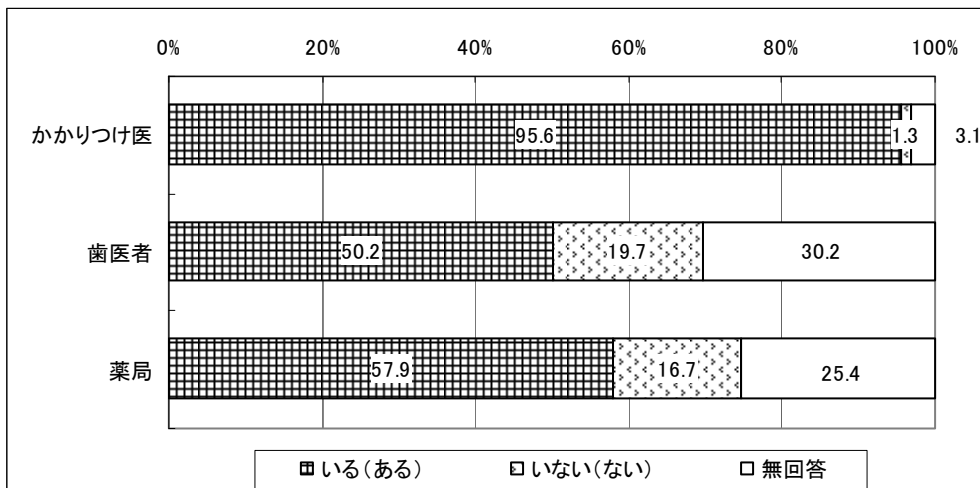
		合計	ない	軽い症状がある (少しの手助けがあれば日常生活が可能)	症状が重い(意思疎通が難しく、相当程度の介護を要する)	無回答
合計		2,450	1,054	753	332	311
		100.0	43.0	30.7	13.6	12.7
年代・性別	65～74 歳男	133	71	27	20	15
		100.0	53.4	20.3	15.0	11.3
	65～74 歳女	177	94	35	13	35
		100.0	53.1	19.8	7.3	19.8
	75 歳以上男	555	244	177	63	71
		100.0	44.0	31.9	11.4	12.8
75 歳以上女	1,500	616	494	228	162	
	100.0	41.1	32.9	15.2	10.8	
無回答		85	29	20	8	28
		100.0	34.1	23.5	9.4	32.9
要介護度別	要支援1	373	220	87	3	63
		100.0	59.0	23.3	0.8	16.9
	要支援2	488	306	92	5	85
		100.0	62.7	18.9	1.0	17.4
	要介護1	300	101	156	22	21
		100.0	33.7	52.0	7.3	7.0
	要介護2	409	171	166	38	34
		100.0	41.8	40.6	9.3	8.3
	要介護3	329	104	115	79	31
		100.0	31.6	35.0	24.0	9.4
	要介護4	218	56	75	74	13
		100.0	25.7	34.4	33.9	6.0
	要介護5	183	23	39	101	20
		100.0	12.6	21.3	55.2	10.9
その他	16	13	1	1	1	
	100.0	81.3	6.3	6.3	6.3	
わからない	41	24	6	2	9	
	100.0	58.5	14.6	4.9	22.0	
無回答		93	36	16	7	34
		100.0	38.7	17.2	7.5	36.6

(11) かかりつけ医などの有無

かかりつけの医者は、「いる」が95.6%、「いない」が1.3%となっています。

また、歯医者、薬局については、「いる（ある）」が約半数となっています。一方、「いない（ない）」が20%弱となっています。

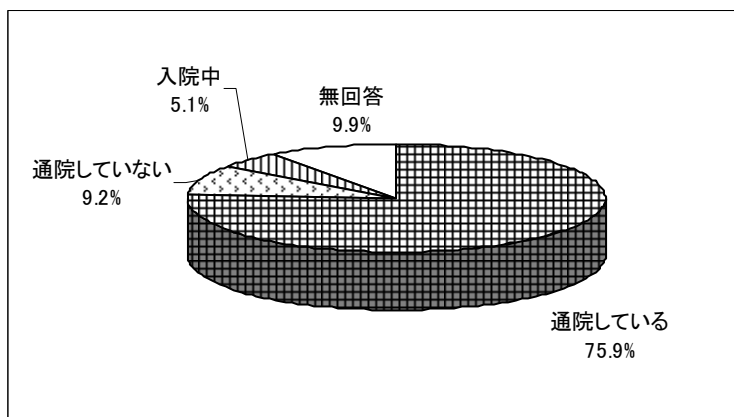
図表 242 かかりつけの医者・歯医者・薬局の有無 [N=2,450]



(12) 現在の定期的な通院状況

現在の定期的な通院状況についてきいたところ、「通院している」の割合が75.9%と最も高く、次いで、「通院していない」が9.2%となっています。

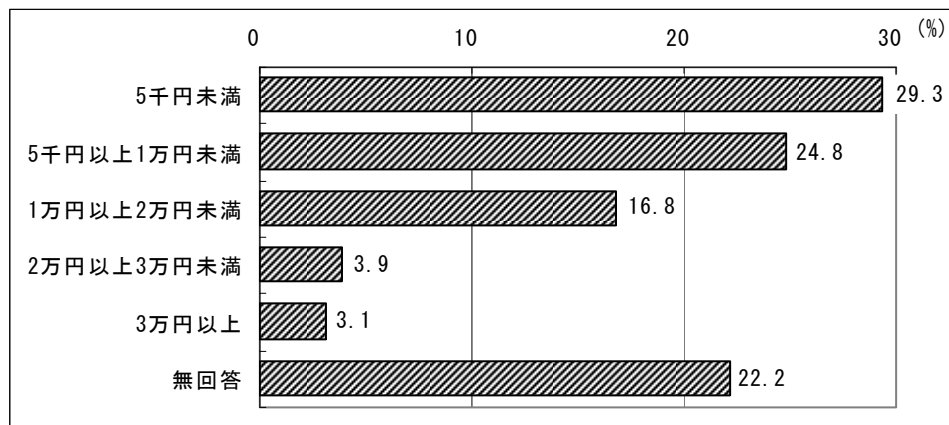
図表 243 現在の定期的な通院状況 [N=2,450]



(13) 世帯の1か月の医療費

世帯の1か月の医療費についてきいたところ、「5千円未満」の割合が29.3%と最も高く、次いで、「5千円以上1万円未満」が24.8%となっています。

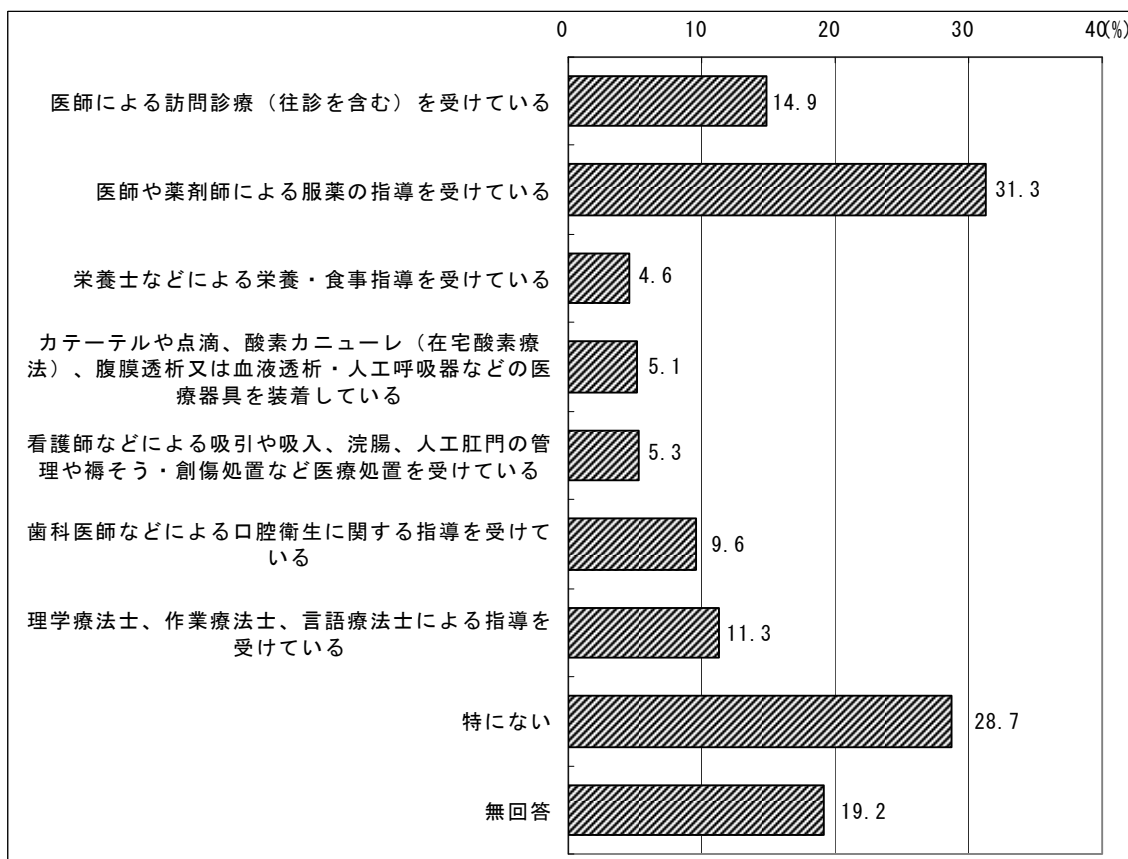
図表 244 世帯の1か月の医療費 [N=2,450]



(14) 医療などに関わる援助で受けているもの

医療などに関わる援助で受けているものについてきいたところ、何らかの医療的な援助を受けている人は約52%おり、なかでも「医師や薬剤師による服薬の指導を受けている」の割合が31.3%と最も高く、次いで、「医師による訪問診療（往診を含む）を受けている」が14.9%となっています。一方、「特にない」が28.7%となっています。

図表 245 医療などに関わる援助で受けているもの [N=2,450 ; 複数回答]

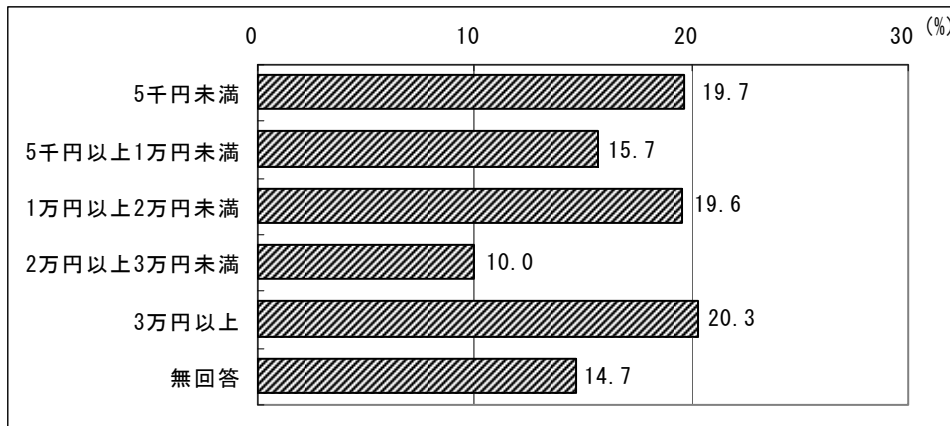


(15) 世帯の1か月の介護費

世帯の1か月の介護費についてきいたところ、「3万円以上」の割合が20.3%と最も高く、次いで、「5千円未満」が19.7%となっています。

要介護度別にみると、要支援1では「5千円未満」の割合が、要支援2では「5千円未満」、「5千円以上1万円未満」の割合が、要介護1, 2では「1万円以上2万円未満」の割合が、要介護3～5では「3万円以上」の割合が高くなっており、要介護度が上がるにつれ介護費が高くなっています。

図表 246 世帯の1か月の介護費 [N=2,450]



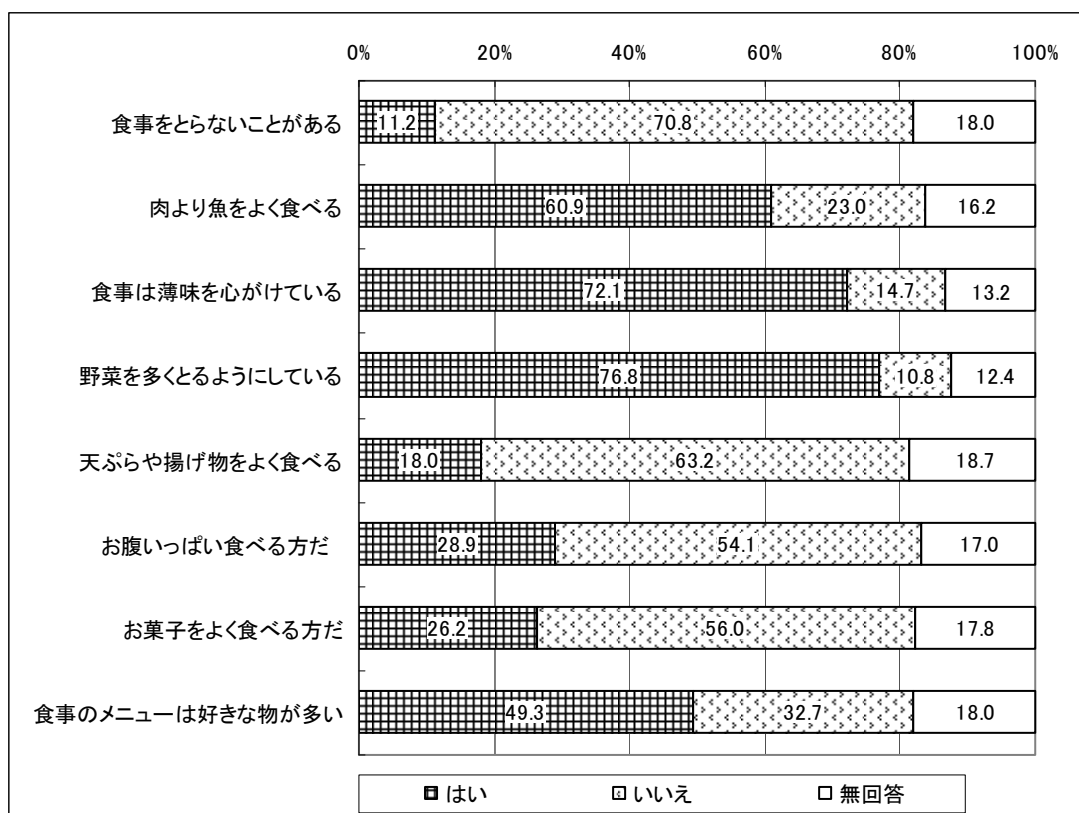
図表 247 <要介護度別>世帯の1か月の介護費 [N=2,450]

	合計	5千円未満	5千円以上1万円未満	1万円以上2万円未満	2万円以上3万円未満	3万円以上	無回答
合計	2,450	482	384	481	244	498	361
	100.0	19.7	15.7	19.6	10.0	20.3	14.7
要支援1	373	142	77	36	16	18	84
	100.0	38.1	20.6	9.7	4.3	4.8	22.5
要支援2	488	140	122	99	16	20	91
	100.0	28.7	25.0	20.3	3.3	4.1	18.6
要介護1	300	50	47	92	35	39	37
	100.0	16.7	15.7	30.7	11.7	13.0	12.3
要介護2	409	66	60	115	58	72	38
	100.0	16.1	14.7	28.1	14.2	17.6	9.3
要介護3	329	30	35	68	56	115	25
	100.0	9.1	10.6	20.7	17.0	35.0	7.6
要介護4	218	14	19	25	33	113	14
	100.0	6.4	8.7	11.5	15.1	51.8	6.4
要介護5	183	6	8	24	24	108	13
	100.0	3.3	4.4	13.1	13.1	59.0	7.1
その他	16	3	2	1	1	1	8
	100.0	18.8	12.5	6.3	6.3	6.3	50.0
わからない	41	10	3	3	1	7	17
	100.0	24.4	7.3	7.3	2.4	17.1	41.5
無回答	93	21	11	18	4	5	34
	100.0	22.6	11.8	19.4	4.3	5.4	36.6

(16) 日ごろの食生活について

日ごろの食生活についてきいたところ、「食事をきちんととっている」(70.8%)、「食事は薄味を心がけている」(72.1%)、「野菜を多くとるようにしている」(76.8%)が高くなっています。

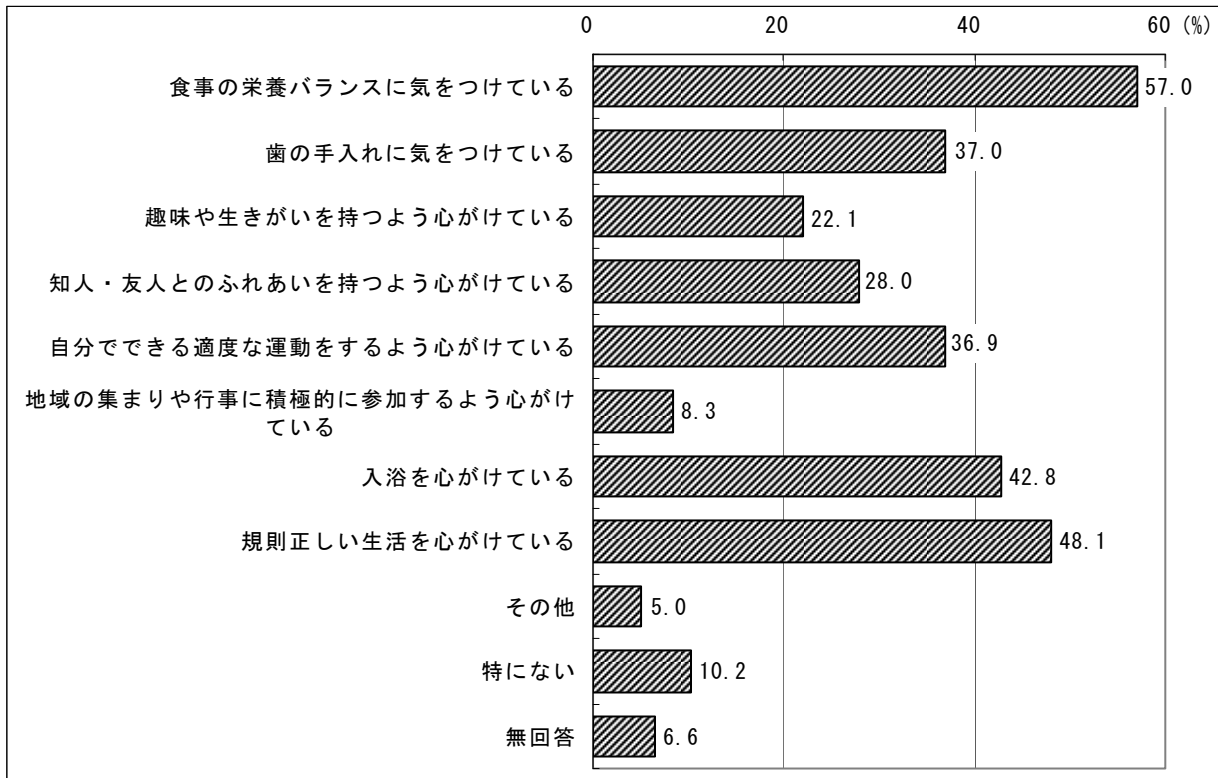
図表 248 日ごろの食生活について [N=2,450]



(17) 健康な生活の維持、悪化の防止のために心がけていること

健康な生活の維持、悪化の防止のために心がけていることについてきいたところ、「食事の栄養バランスに気をつけている」の割合が57.0%と最も高く、次いで、「規則正しい生活を心がけている」が48.1%となっています。

図表 249 健康な生活の維持、悪化の防止のために心がけていること [N=2,450 ; 複数回答]

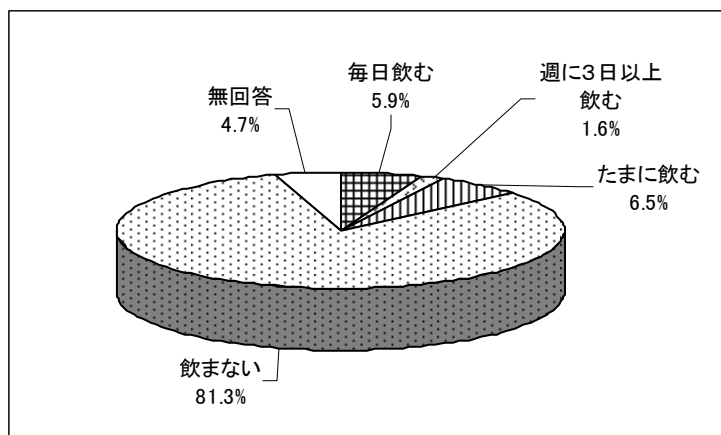


(18) 飲酒状況

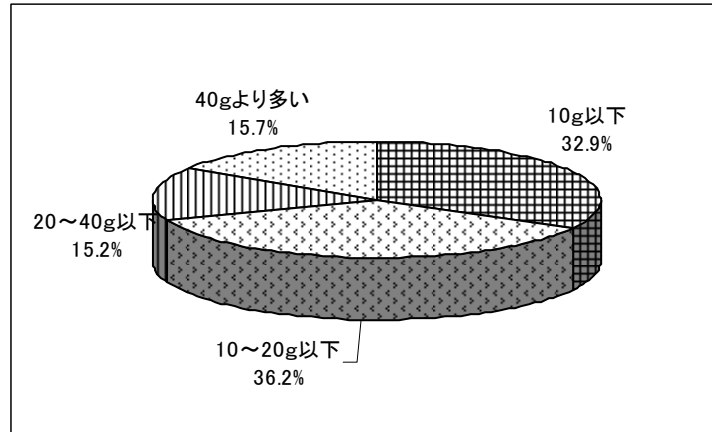
飲酒状況についてきいたところ、「飲まない」の割合が81.3%と最も高く、次いで、「毎日飲む」が5.9%となっています。

一日あたりのアルコール摂取量については、「10~20g以下」の割合が36.2%と最も高く、次いで、「10g以下」が32.9%となっています。

図表 250 飲酒状況 [N=2,450]



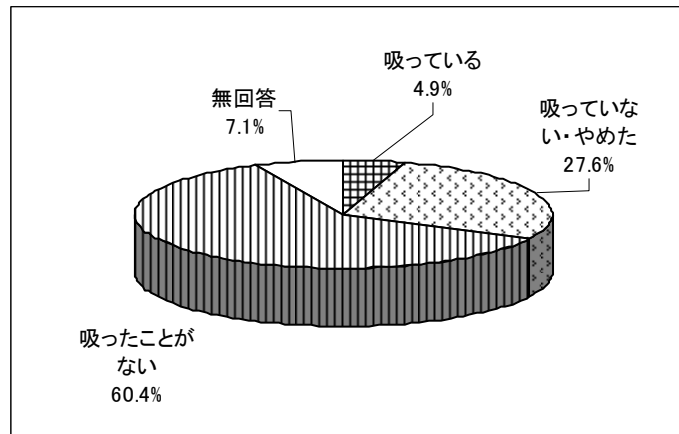
図表 251 一日あたりのアルコール摂取量 [N=343]



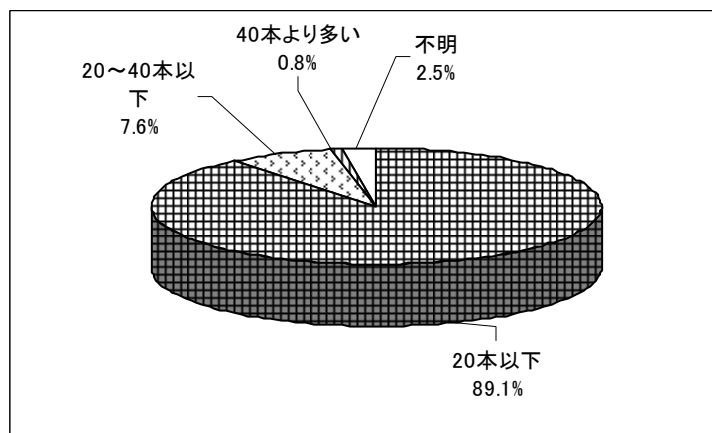
(19) 喫煙状況

喫煙状況についてきいたところ、「吸ったことがない」の割合が60.4%と最も高く、次いで、「吸っていない・やめた」が27.6%、「吸っている」が4.9%となっています。また、喫煙している人の喫煙本数については、大半が「20本以下」（89.1%）となっています。

図表 252 喫煙状況 [N=2, 450]



図表 253 喫煙状況 [N=2, 450]

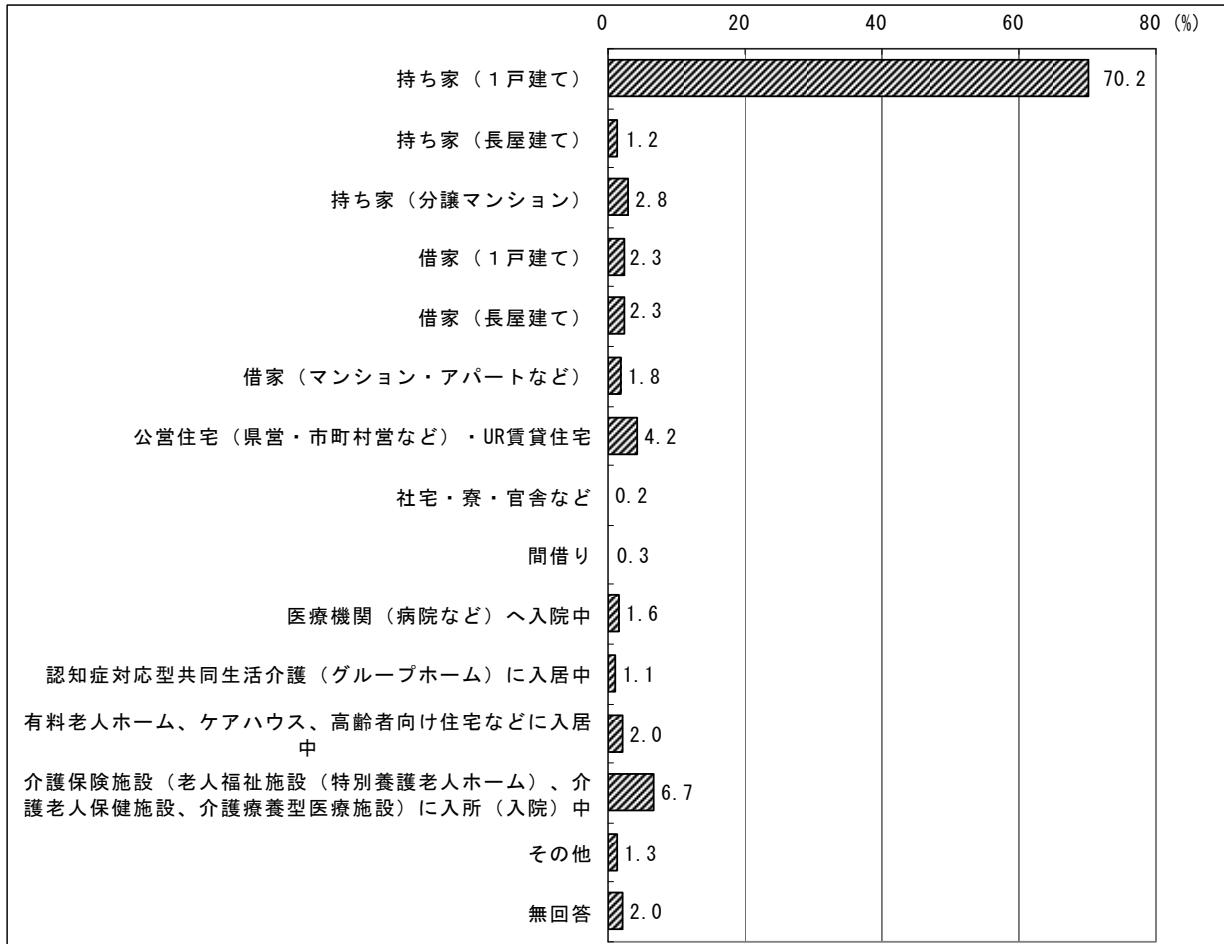


3. 日常生活について

(1) 生活の場所

生活の場所についてきいたところ、「持ち家（1戸建て）」の割合が70.2%と最も高く、次いで、「介護保険施設（老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）に入所（入院）中」が6.7%となっています。

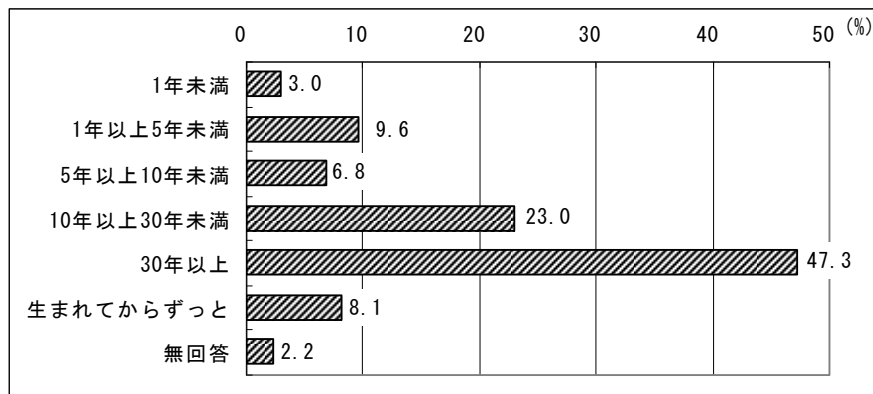
図表 254 生活の場所 [N=2,450]



(2) 居住年数

居住年数についてきいたところ、「30年以上」の割合が47.3%と最も高く、次いで、「10年以上30年未満」が23.0%となっています。

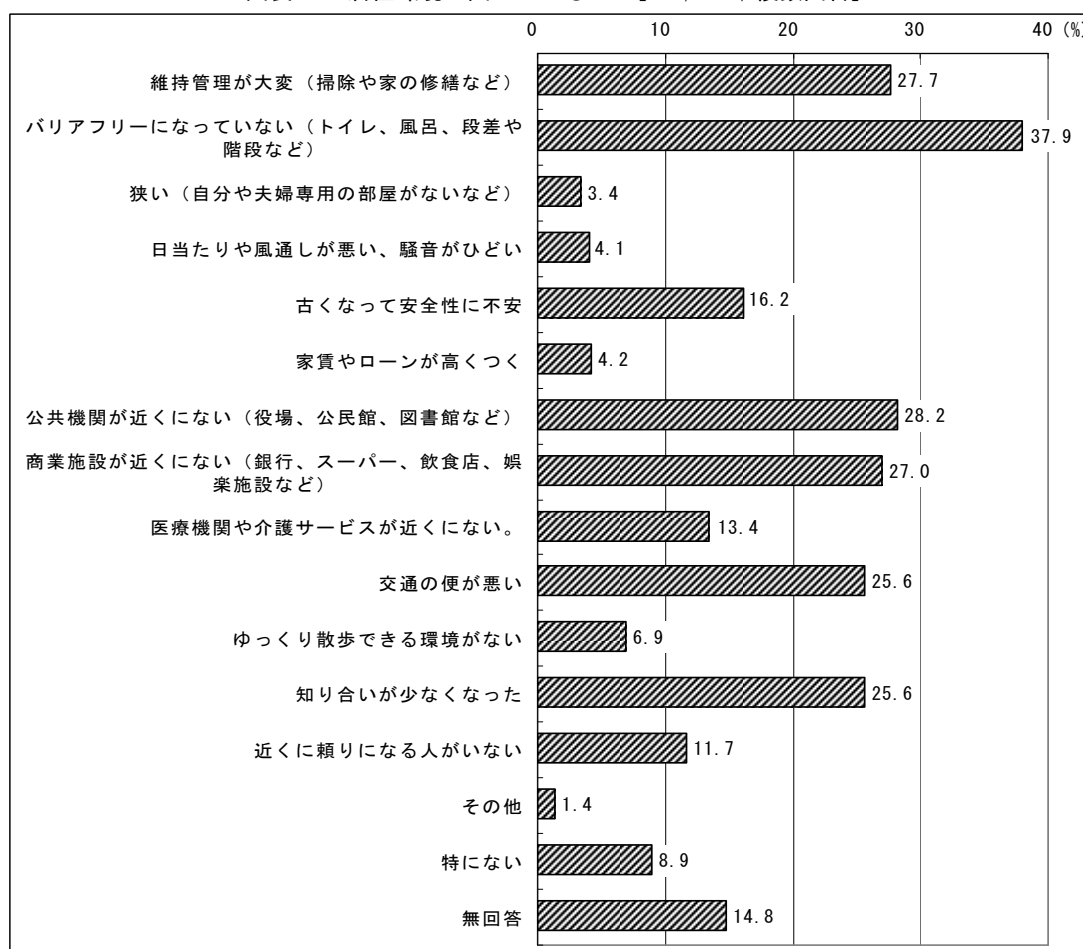
図表 255 居住年数 [N=2,450]



(3) 居住環境で困っていること

居住環境で困っていることについてきいたところ、「バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）」の割合が37.9%と最も高く、次いで、「公共機関が近くにない（役場、公民館、図書館など）」が28.2%となっています。

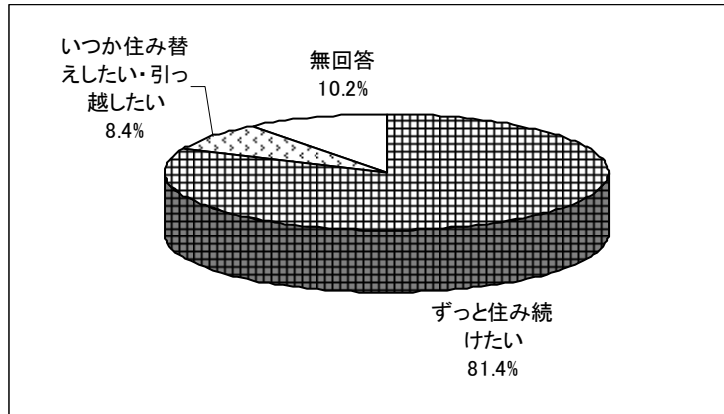
図表 256 居住環境で困っていること [N=2,450 ; 複数回答]



(4) 今後の居留意向

今後の居留意向についてきいたところ、「ずっと住み続けたい」が 81.4%、「いつか住み替えしたい・引っ越したい」が 8.4%となっています。

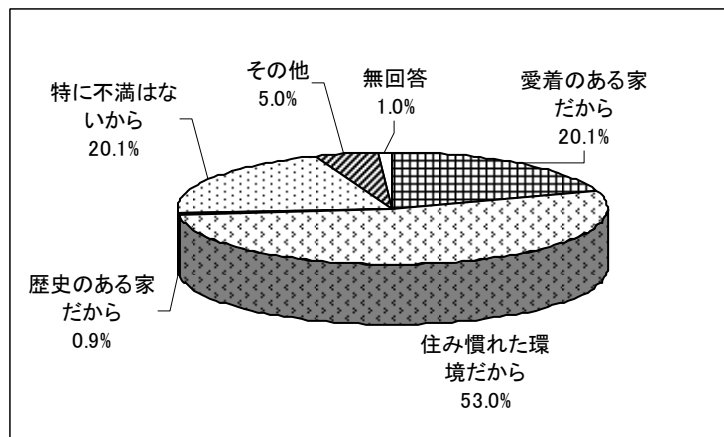
図表 257 今後の居留意向 [N=2, 450]



(5) 住み続けたい理由

住み続けたい理由についてきいたところ、「住み慣れた環境だから」の割合が 53.0%と最も高く、次いで、「特に不満はないから」が 20.1%となっています。

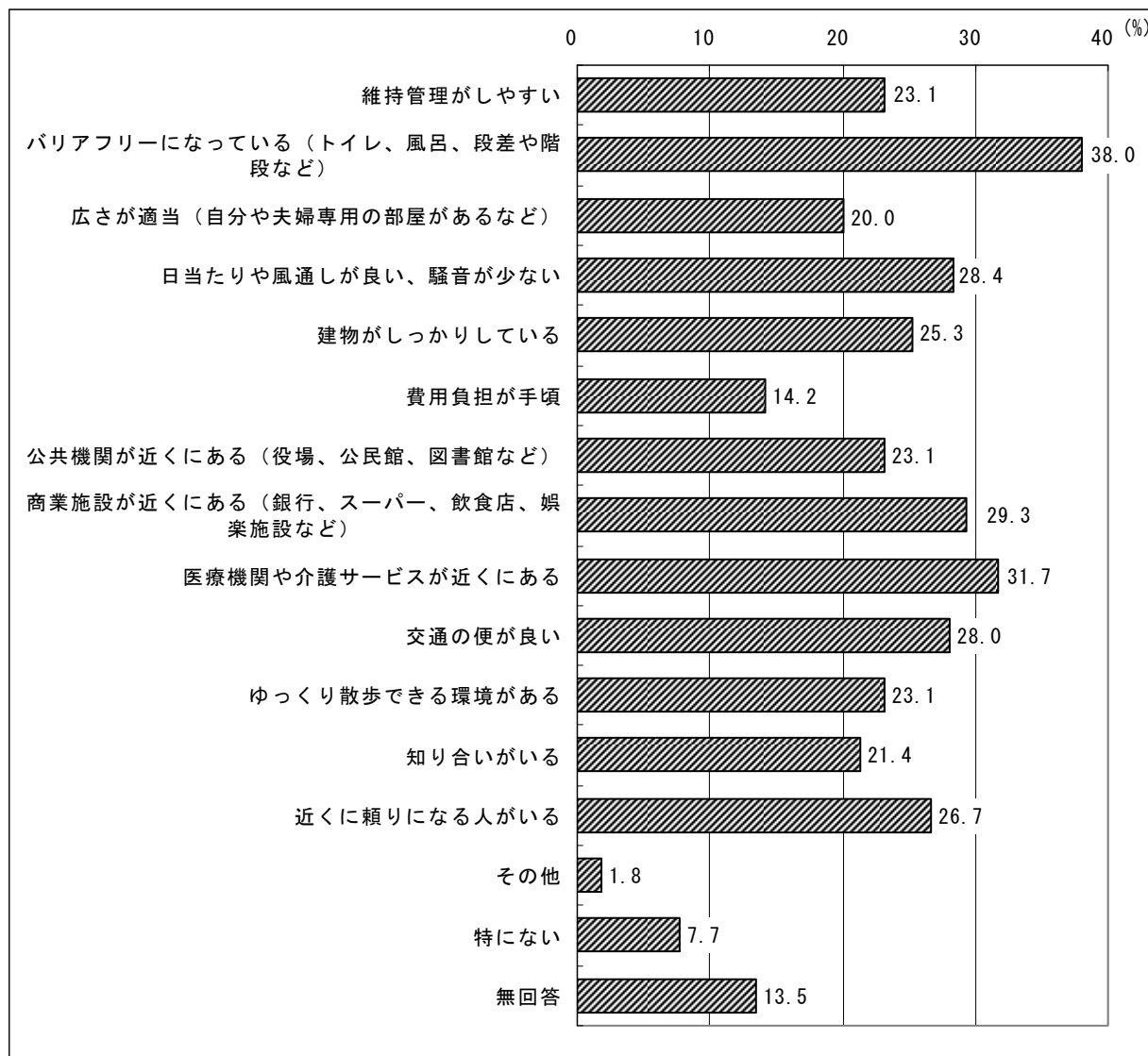
図表 258 住み続けたい理由 [N=1, 994]



(6) 居住環境に求めること

居住環境に求めることについてきいたところ、「バリアフリーになっている（トイレ、風呂、段差や階段など）」の割合が38.0%と最も高く、次いで、「医療機関や介護サービスが近くにある」が31.7%となっています。

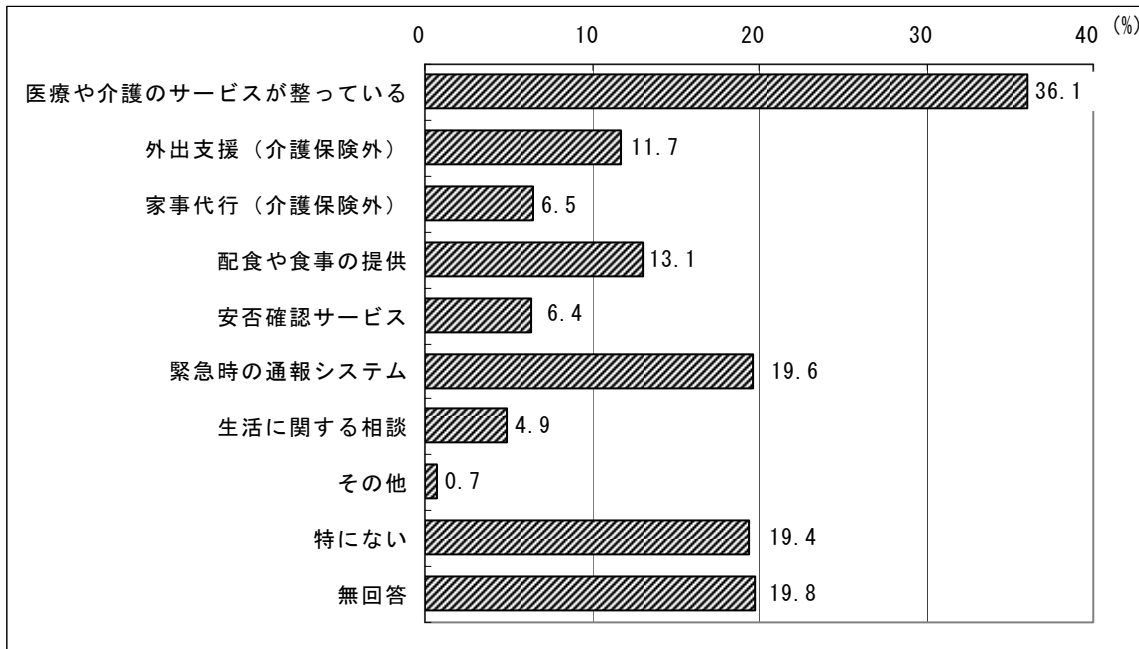
図表 259 居住環境に求めること [N=2,450 ; 複数回答]



(7) 身近にあればよいと思うサービス

身近にあればよいと思うサービスについてきいたところ、「医療や介護のサービスが整っている」の割合が 36.1%と最も高く、次いで、「緊急時の通報システム」が 19.6%となっています。一方、「特にない」が 19.4%となっています。

図表 260 身近にあればよいと思うサービス [N=2,450 ; 複数回答]



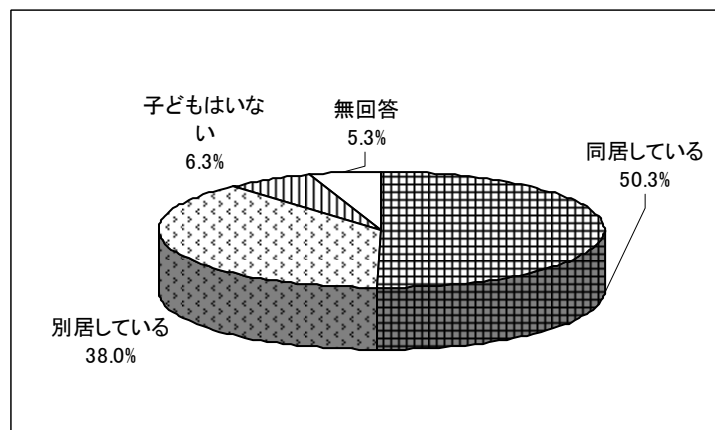
(8) 子どもとの同居の状況

子どもとの同居の状況についてきいたところ、「同居している」が 50.3%、「別居している」が 38.0%となっています。

圏域別にみると、奈良圏域以外の圏域では子どもと「同居している」人が半数を超えています。奈良圏域では「別居している」人の割合が「同居している」人の割合より高くなっています。

要介護度別にみると、要支援1では「別居している」人の割合が高くなっていますが、要介護2以上では「同居している」人の割合が半数を超えており、なかでも要介護5では約 62%が同居しています。

図表 261 子どもとの同居の状況 [N=2,450]



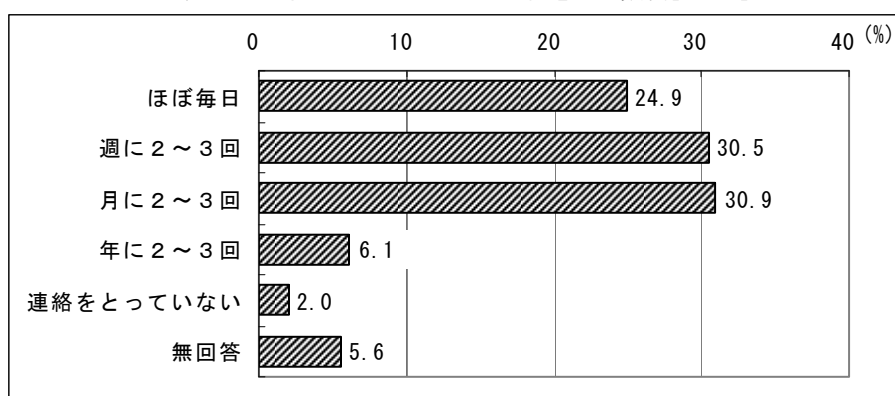
図表 262 <圏域別、要介護度別>子どもとの同居の状況[N=2,450]

		合計	同居している	別居している	子どもはいない	無回答
合計		2,450	1,233	932	155	130
		100.0	50.3	38.0	6.3	5.3
圏域別	奈良	557	229	253	42	33
		100.0	41.1	45.4	7.5	5.9
	西和	575	304	217	32	22
		100.0	52.9	37.7	5.6	3.8
	東和	389	223	120	29	17
		100.0	57.3	30.8	7.5	4.4
	中和	529	285	183	32	29
		100.0	53.9	34.6	6.0	5.5
	南和	336	173	131	14	18
		100.0	51.5	39.0	4.2	5.4
無回答	64	19	28	6	11	
	100.0	29.7	43.8	9.4	17.2	
要介護度別	要支援1	373	140	180	32	21
		100.0	37.5	48.3	8.6	5.6
	要支援2	488	221	217	27	23
		100.0	45.3	44.5	5.5	4.7
	要介護1	300	149	118	19	14
		100.0	49.7	39.3	6.3	4.7
	要介護2	409	228	143	25	13
		100.0	55.7	35.0	6.1	3.2
	要介護3	329	195	99	18	17
		100.0	59.3	30.1	5.5	5.2
	要介護4	218	121	72	14	11
		100.0	55.5	33.0	6.4	5.0
	要介護5	183	114	54	8	7
100.0		62.3	29.5	4.4	3.8	
その他	16	9	4	1	2	
	100.0	56.3	25.0	6.3	12.5	
わからない	41	16	16	4	5	
	100.0	39.0	39.0	9.8	12.2	
無回答	93	40	29	7	17	
	100.0	43.0	31.2	7.5	18.3	

(9) 別居している子どもと連絡をとる頻度

別居している子どもと連絡をとる頻度についてきいたところ、「月に2~3回」(30.9%)、「週に2~3回」(30.5%)の割合が高くなっています。

図表 263 別居している子どもと連絡をとる頻度[N=932]

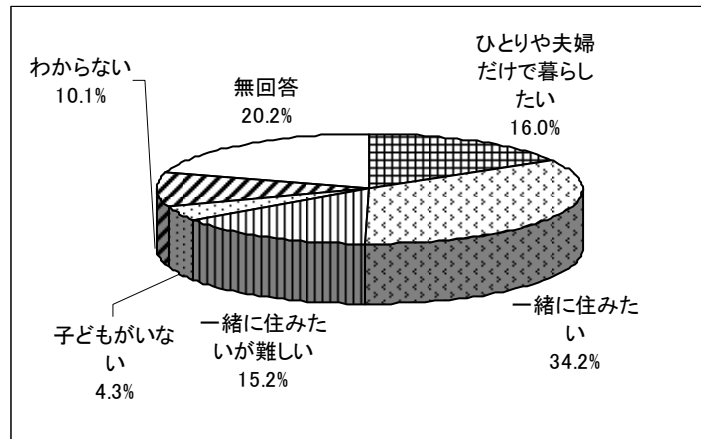


(10)子どもとの今後の同居意向

今後、子どもと同居したいかきいたところ、「一緒に住みたい」が34.2%、「一緒に住みたいが難しい」が15.2%と約半数が子どもとの同居を希望しています。一方、「ひとりや夫婦だけで暮らしたい」が16.0%となっています。

要介護度別にみると、要介護3～5では「一緒に住みたい」とする人の割合が他に比べて高くなっています。

図表 264 子どもとの今後の同居意向 [N=2, 450]



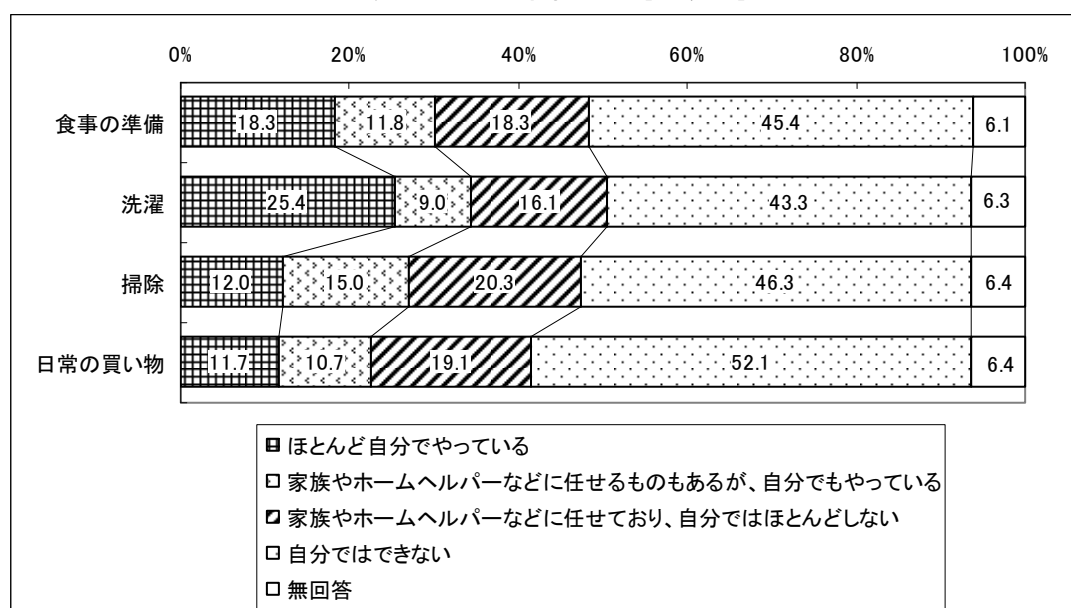
図表 265 <要介護度別>子どもとの今後の同居意向 [N=2, 450]

	合計	ひとりや夫婦だけで暮らしたい	一緒に住みたい	一緒に住みたいが難しい	子どもがいない	わからない	無回答
合計	2,450	392	839	372	105	247	495
	100.0	16.0	34.2	15.2	4.3	10.1	20.2
要支援1	373	80	104	65	20	29	75
	100.0	21.4	27.9	17.4	5.4	7.8	20.1
要支援2	488	90	148	87	18	49	96
	100.0	18.4	30.3	17.8	3.7	10.0	19.7
要介護1	300	51	103	55	15	24	52
	100.0	17.0	34.3	18.3	5.0	8.0	17.3
要介護2	409	59	143	65	19	44	79
	100.0	14.4	35.0	15.9	4.6	10.8	19.3
要介護3	329	47	140	33	13	35	61
	100.0	14.3	42.6	10.0	4.0	10.6	18.5
要介護4	218	33	86	26	10	28	35
	100.0	15.1	39.4	11.9	4.6	12.8	16.1
要介護5	183	13	73	25	5	19	48
	100.0	7.1	39.9	13.7	2.7	10.4	26.2
その他	16	3	6	1	0	2	4
	100.0	18.8	37.5	6.3	0.0	12.5	25.0
わからない	41	3	8	6	1	13	10
	100.0	7.3	19.5	14.6	2.4	31.7	24.4
無回答	93	13	28	9	4	4	35
	100.0	14.0	30.1	9.7	4.3	4.3	37.6

(11) 日常の家事の状況

日常の家事の状況についてきいたところ、どの家事も半数前後が「自分ではできない」としてありますが、食事の準備や洗濯については、「ほとんど自分でやっている」人が約20%前後います。

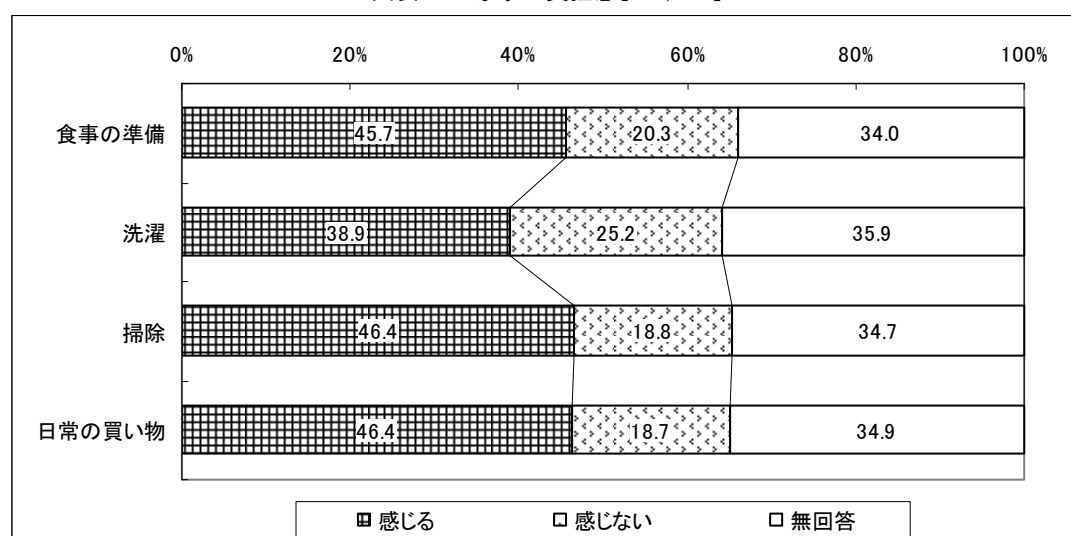
図表 266 日常の家事の状況 [N=2,450]



(12) 家事の負担感

家事についての負担感についてきいたところ、約39~46%が「感じる」としています。一方、「感じない」は約19~25%となっています。

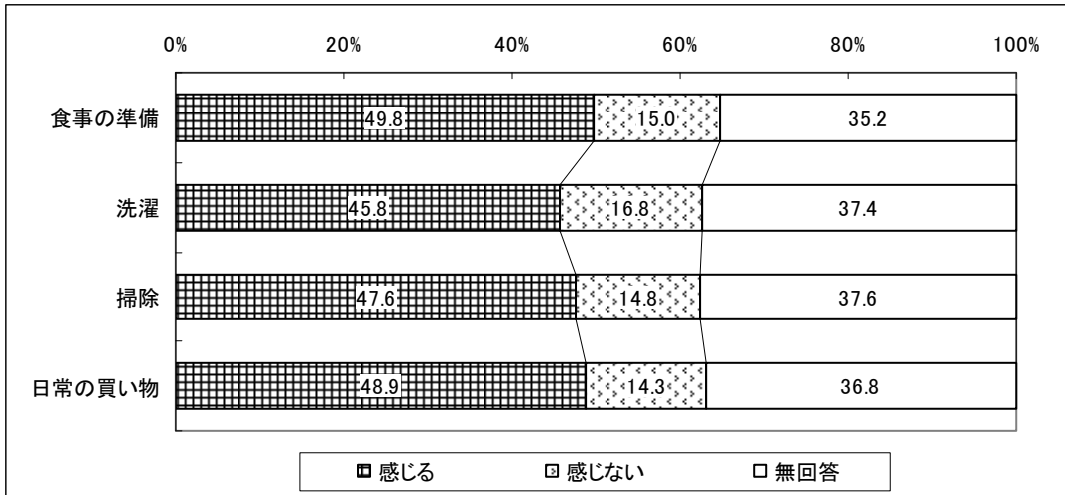
図表 267 家事の負担感 [N=2,450]



(13) 家事についての将来の不安

家事についての将来の不安についてきいたところ、約半数が「感じる」としています。一方、「感じない」は約14~17%となっています。

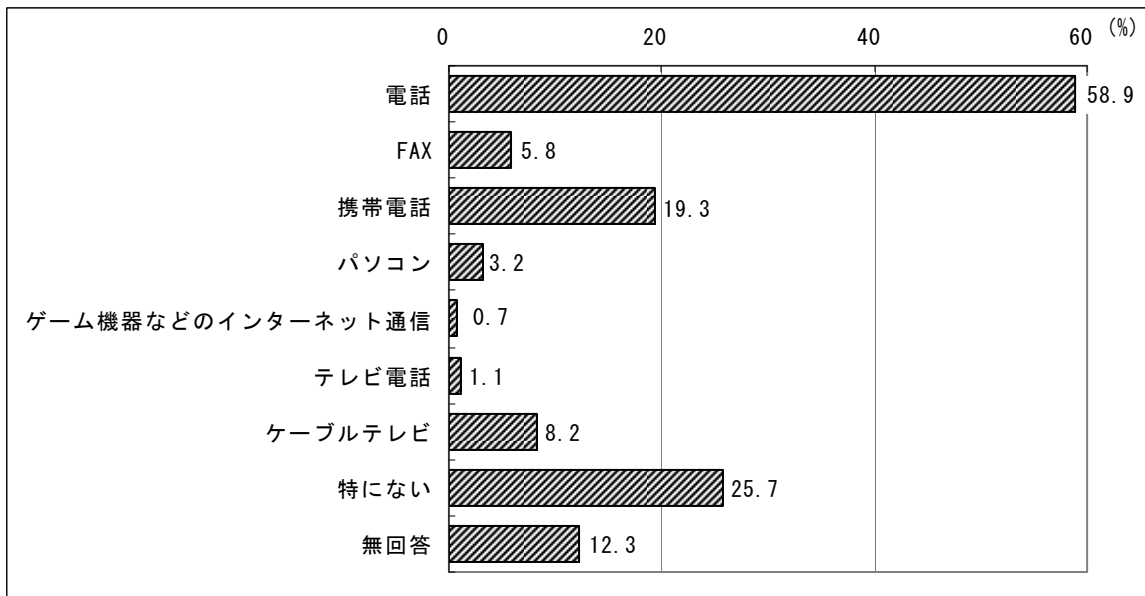
図表 268 家事についての将来の不安 [N=2,450]



(14) 利用している通信機器

利用している通信機器についてきいたところ、「電話」の割合が58.9%と最も高くなっています。一方、「特にない」は25.7%となっています。

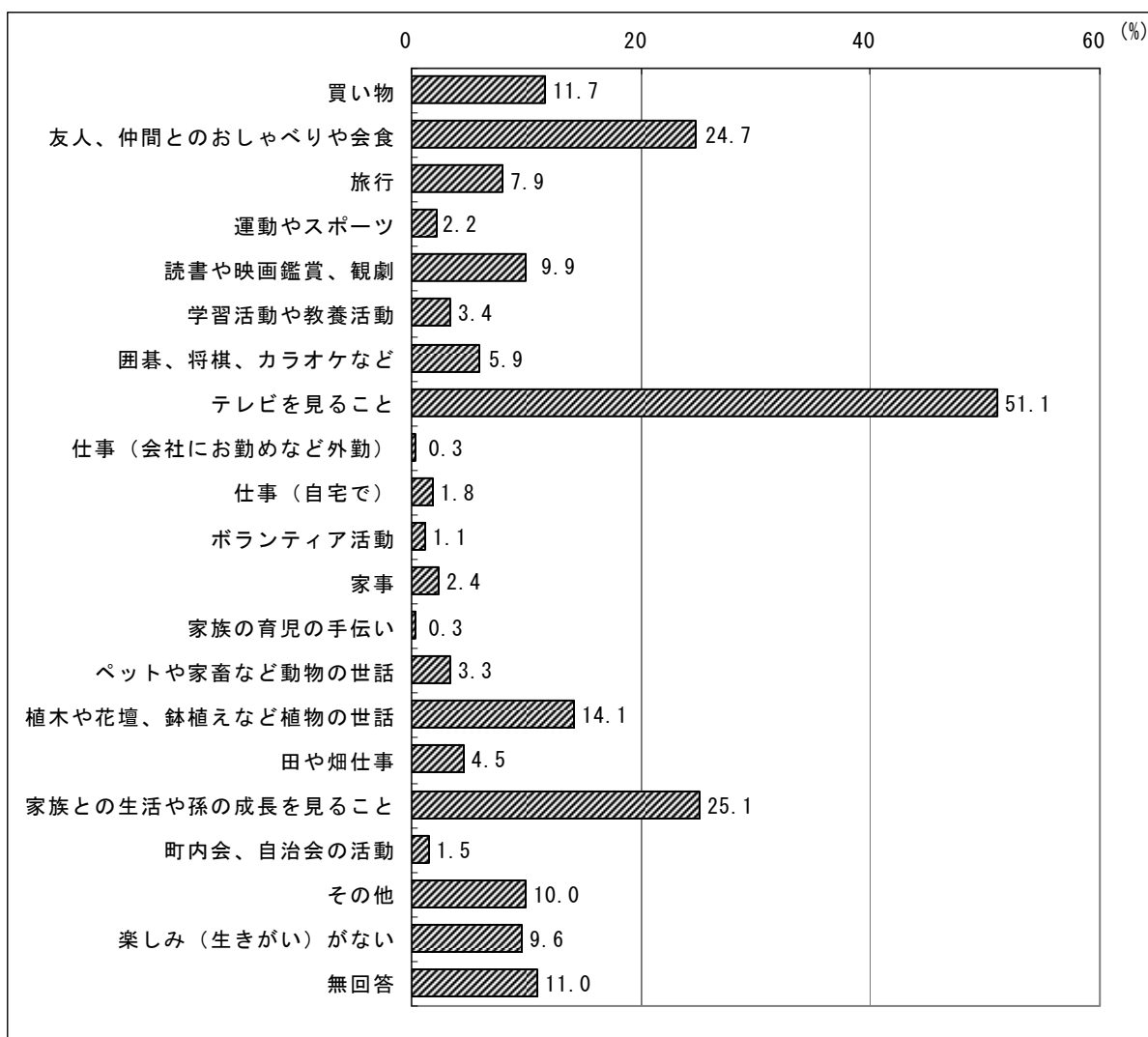
図表 269 利用している通信機器 [N=2,450 ; 複数回答]



(15) 日常の楽しみ（生きがい）

日常の楽しみ（生きがい）についてきいたところ、「テレビを見ること」の割合が51.1%と最も高く、次いで、「家族との生活や孫の成長をみること」が25.1%となっています。

図表 270 日常の楽しみ（生きがい） [N=2,450；複数回答]

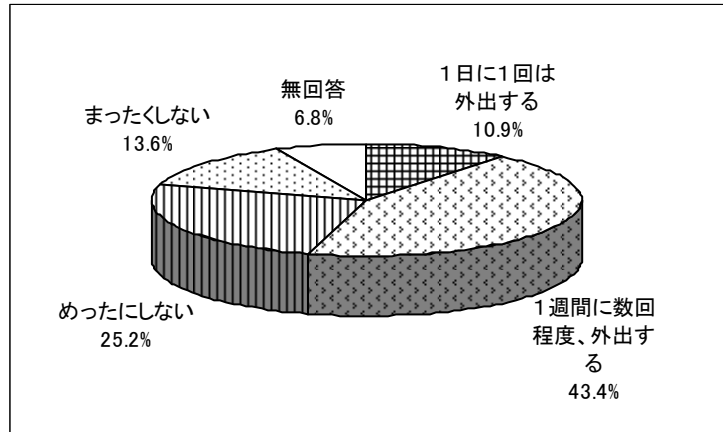


(16)外出する機会

外出する機会についてきいたところ、「1週間に数回程度、外出する」の割合が43.4%と最も高く、次いで、「めったにしない」が25.2%となっています。

要介護度別にみると、要支援1では比較的頻繁に外出する人は約68%となっていますが、要介護度が上がるにつれ割合が低くなり、要介護5では約29%となっています。一方で、要介護度が高くなるにつれ、「まったくしない」人の割合が高くなっています。特に要介護5では約42%となっています。

図表 271 外出する機会 [N=2, 450]



図表 272 <要介護度別>外出する機会 [N=2, 450]

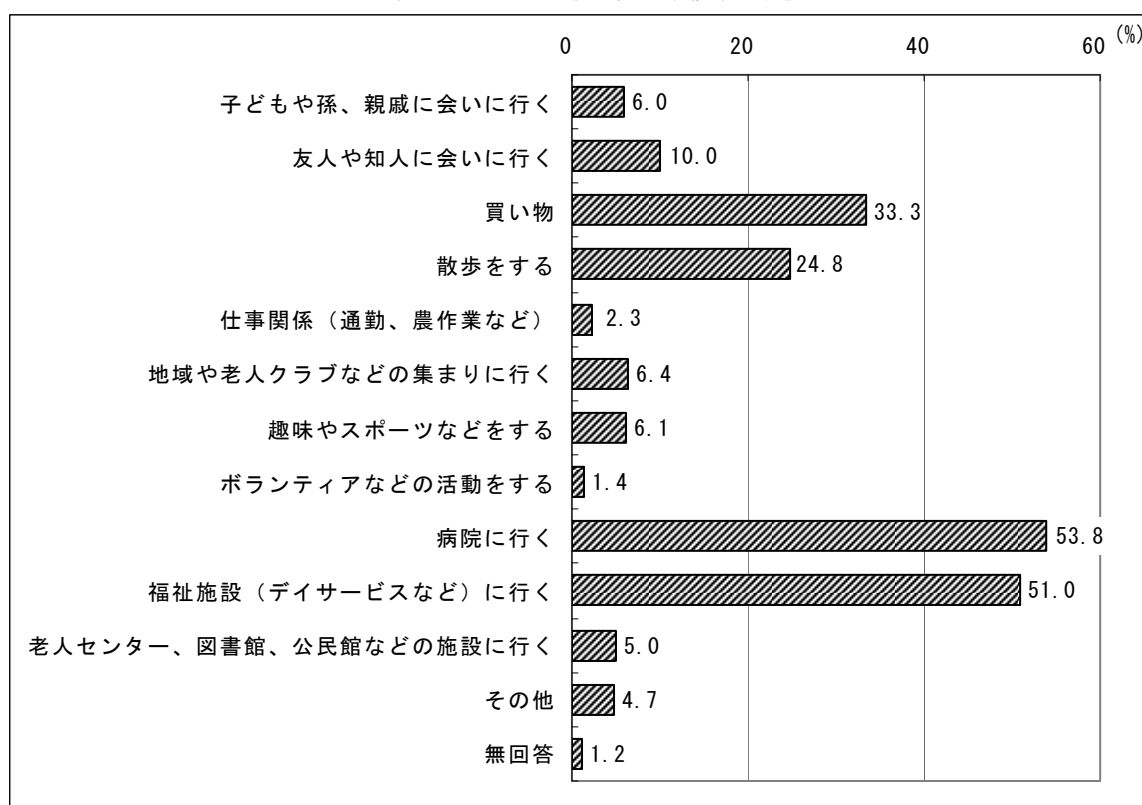
	合計	1日に1回は外出する	1週間に数回程度、外出する	めったにしない	まったくしない	無回答
合計	2,450	268	1,064	617	334	167
	100.0	10.9	43.4	25.2	13.6	6.8
要支援1	373	54	200	73	16	30
	100.0	14.5	53.6	19.6	4.3	8.0
要支援2	488	63	240	130	30	25
	100.0	12.9	49.2	26.6	6.1	5.1
要介護1	300	32	149	83	20	16
	100.0	10.7	49.7	27.7	6.7	5.3
要介護2	409	34	178	135	45	17
	100.0	8.3	43.5	33.0	11.0	4.2
要介護3	329	37	119	88	62	23
	100.0	11.2	36.2	26.7	18.8	7.0
要介護4	218	17	72	45	70	14
	100.0	7.8	33.0	20.6	32.1	6.4
要介護5	183	5	48	37	77	16
	100.0	2.7	26.2	20.2	42.1	8.7
その他	16	5	8	2	1	0
	100.0	31.3	50.0	12.5	6.3	0.0
わからない	41	9	16	7	4	5
	100.0	22.0	39.0	17.1	9.8	12.2
無回答	93	12	34	17	9	21
	100.0	12.9	36.6	18.3	9.7	22.6

(17) 外出目的

外出目的についてきいたところ、「病院に行く」が53.8%と最も高く、次いで、「福祉施設（デイサービスなど）に行く」が51.0%となっています。

要介護度別にみると、要支援1，2では「買い物」、「病院に行く」をあげる人の割合が高くなっています。要介護1以上では「福祉施設（デイサービスなど）に行く」をあげる人の割合が高くなっており、特に要介護5では83%となっています。

図表 273 外出目的 [N=1,332；複数回答]



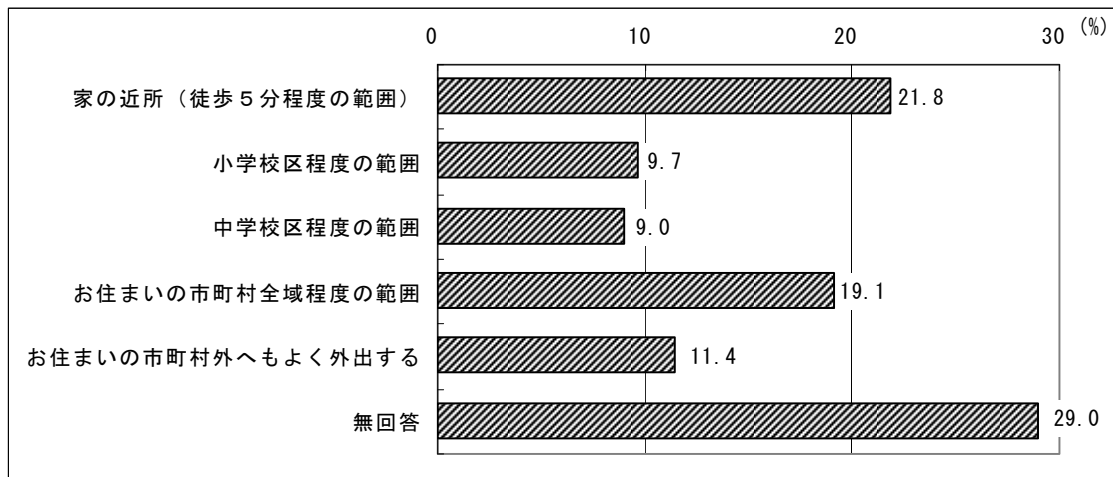
図表 274 <要介護度別>外出目的 [N=1,332 ; 複数回答]

	合計	子どもや孫、親戚に会いに行く	友人や知人に会いに行く	買い物	散歩をする	仕事関係（通勤、農作業など）	地域や老人クラブなどの集まりに行く	趣味やスポーツなどをする	ボランティアなどの活動をする	病院に行く	福祉施設（デイサービスなど）に行く	老人センター、図書館、公民館などの施設に行く	その他	無回答
合計	1,332	80	133	443	330	30	85	81	18	716	679	67	62	16
	100.0	6.0	10.0	33.3	24.8	2.3	6.4	6.1	1.4	53.8	51.0	5.0	4.7	1.2
要支援1	254	22	45	136	71	6	27	25	5	162	76	18	11	3
	100.0	8.7	17.7	53.5	28.0	2.4	10.6	9.8	2.0	63.8	29.9	7.1	4.3	1.2
要支援2	303	24	45	124	90	9	31	21	5	205	104	23	17	5
	100.0	7.9	14.9	40.9	29.7	3.0	10.2	6.9	1.7	67.7	34.3	7.6	5.6	1.7
要介護1	181	5	10	50	46	4	11	10	2	93	111	11	4	2
	100.0	2.8	5.5	27.6	25.4	2.2	6.1	5.5	1.1	51.4	61.3	6.1	2.2	1.1
要介護2	212	10	8	42	41	3	5	8	0	103	147	6	9	1
	100.0	4.7	3.8	19.8	19.3	1.4	2.4	3.8	0.0	48.6	69.3	2.8	4.2	0.5
要介護3	156	5	7	31	35	0	0	1	0	58	112	1	7	0
	100.0	3.2	4.5	19.9	22.4	0.0	0.0	0.6	0.0	37.2	71.8	0.6	4.5	0.0
要介護4	89	4	3	18	15	1	1	7	3	33	65	3	10	1
	100.0	4.5	3.4	20.2	16.9	1.1	1.1	7.9	3.4	37.1	73.0	3.4	11.2	1.1
要介護5	53	2	2	6	4	1	1	1	1	16	44	1	2	0
	100.0	3.8	3.8	11.3	7.5	1.9	1.9	1.9	1.9	30.2	83.0	1.9	3.8	0.0
その他	13	3	3	8	5	2	2	3	2	9	0	1	0	1
	100.0	23.1	23.1	61.5	38.5	15.4	15.4	23.1	15.4	69.2	0.0	7.7	0.0	7.7
わからない	25	0	4	15	8	3	3	2	0	13	3	1	1	0
	100.0	0.0	16.0	60.0	32.0	12.0	12.0	8.0	0.0	52.0	12.0	4.0	4.0	0.0
無回答	46	5	6	13	15	1	4	3	0	24	17	2	1	3
	100.0	10.9	13.0	28.3	32.6	2.2	8.7	6.5	0.0	52.2	37.0	4.3	2.2	6.5

(18) 外出範囲

外出範囲についてきいたところ、「家の近所（徒歩5分程度の範囲）」の割合が21.8%と最も高く、次いで、「住まいの市町村全域程度の範囲」が19.1%となっています。

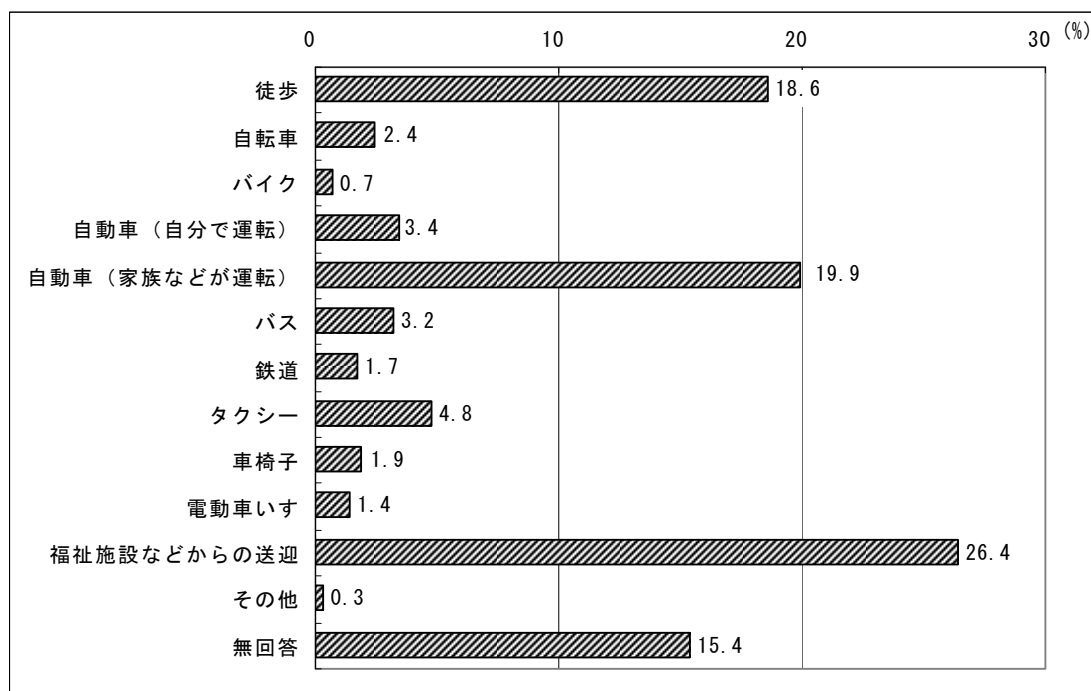
図表 275 外出範囲 [N=1,332]



(19) 交通手段

交通手段についてきいたところ、「福祉施設などからの送迎」の割合が26.4%と最も高く、次いで、「自動車（家族などが運転）」が19.9%となっています。

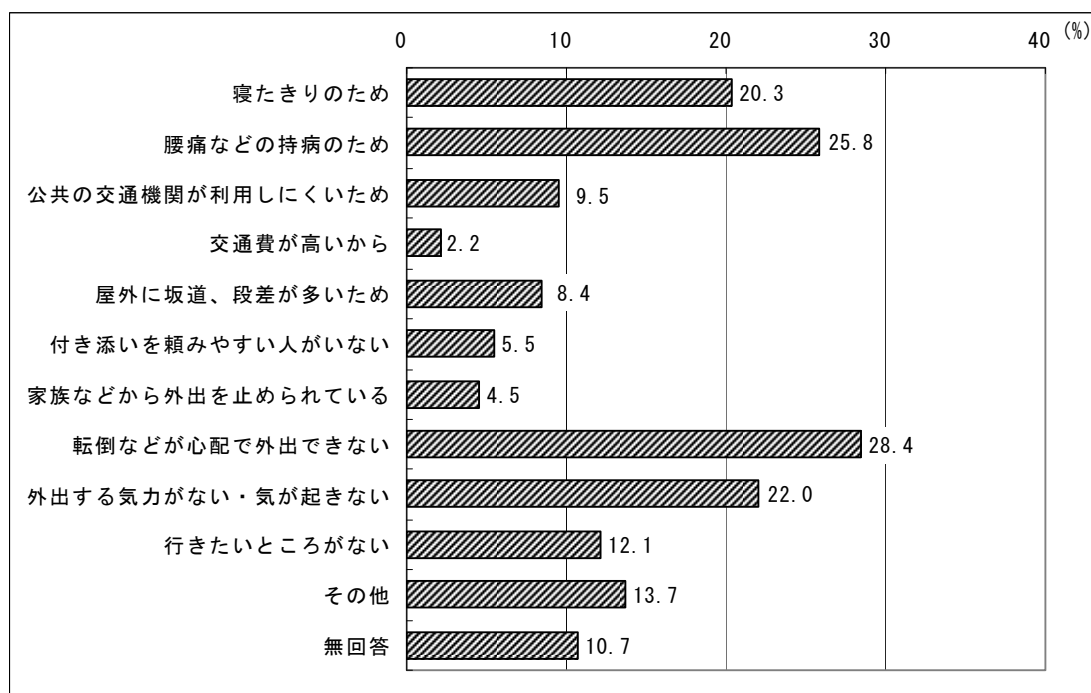
図表 276 交通手段 [N=1,332]



(20) 外出しない理由

外出しない理由についてきいたところ、「転倒などが心配で外出できない」が28.4%と最も高く、次いで、「腰痛などの持病のため」が25.8%となっています。

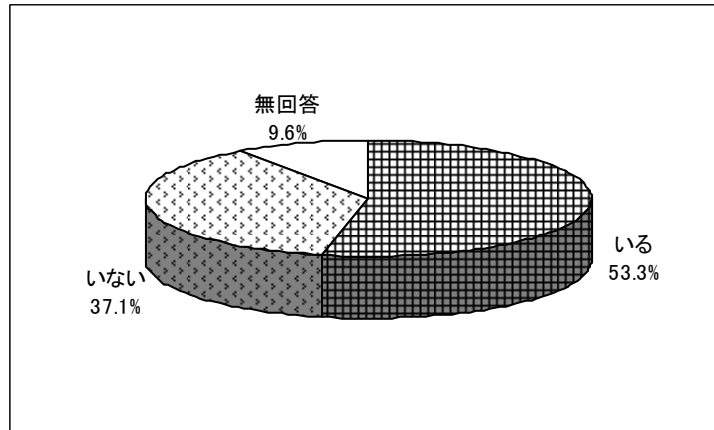
図表 277 外出しない理由 [N=951；複数回答]



(21) 家族など以外で親しく話のできる人の有無

家族やヘルパー、介護施設の職員以外で親しく話ができる人がいるかきいたところ、「いる」が53.3%、「いない」が37.1%となっています。

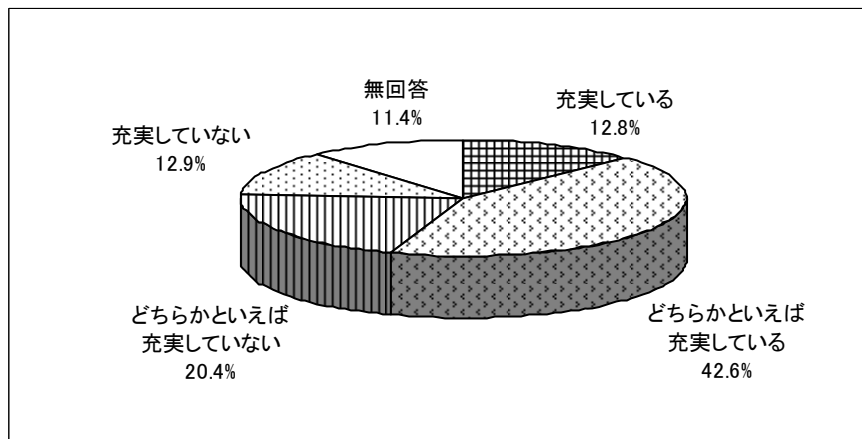
図表 278 家族など以外で親しく話のできる人の有無 [N=2, 450]



(22) 生活の充実度

生活の充実度についてきいたところ、「充実している」が12.8%、「どちらかといえば充実している」が42.6%と、充実していると感じている人が約55%、「どちらかといえば充実していない」が20.4%、「充実していない」が12.9%、と充実していないと感じている人が約33%となっています。

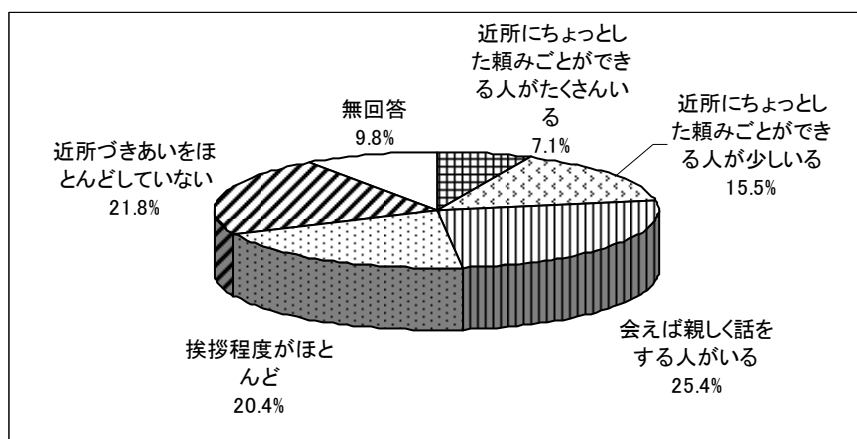
図表 279 生活の充実度 [N=2, 450]



(23) 近所づきあいの程度

近所づきあいの程度についてきいたところ、「近所にちょっとした頼みごとができる人がたくさんいる」が 7.1%、「近所にちょっとした頼みごとができる人が少しいる」が 15.5%、「会えば親しく話をする人がいる」が 25.4%と、48%が比較的親密な近所づきあいをしています。一方、「挨拶程度がほとんど」が 20.4%、「近所づきあいをほとんどしていない」が 21.8%と、比較的近所づきあいをしていない人が約 42%となっています。

図表 280 近所づきあいの程度 [N=2,450]

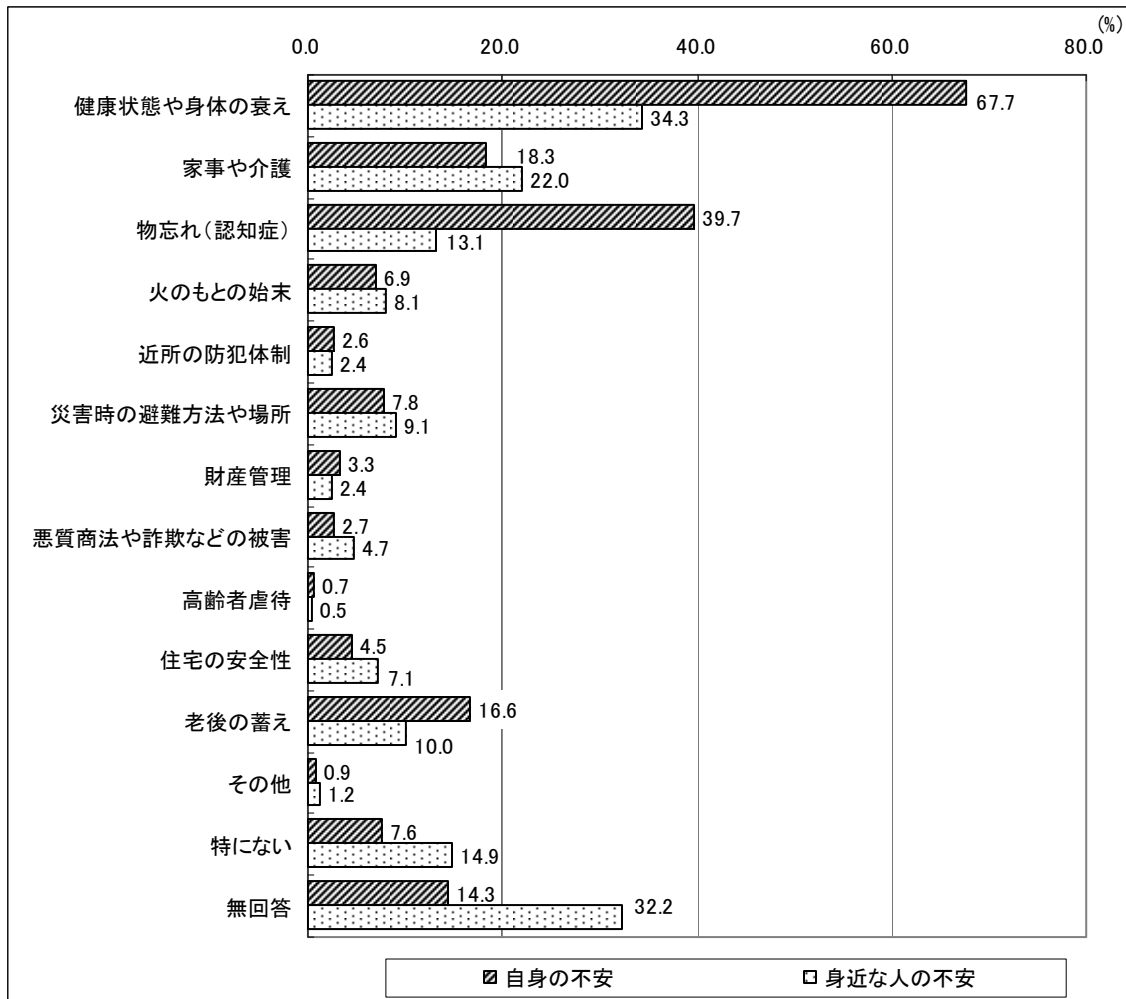


4. 安全・安心について

(1) 自身や身近な人に関する不安

自身や身近な人に関する不安（3つまで）についてきいたところ、自身、身近な人ともに「健康状態や身体の衰え」の割合が最も高くそれぞれ 67.7%、34.3%となっています。次いで高いものは、自身では「物忘れ（認知症）」が 39.7%、身近な人では「家事や介護」が 22.0%となっています。

図表 281 自身および身近な人に関する不安 [N=2,450 ; (3つまで)]



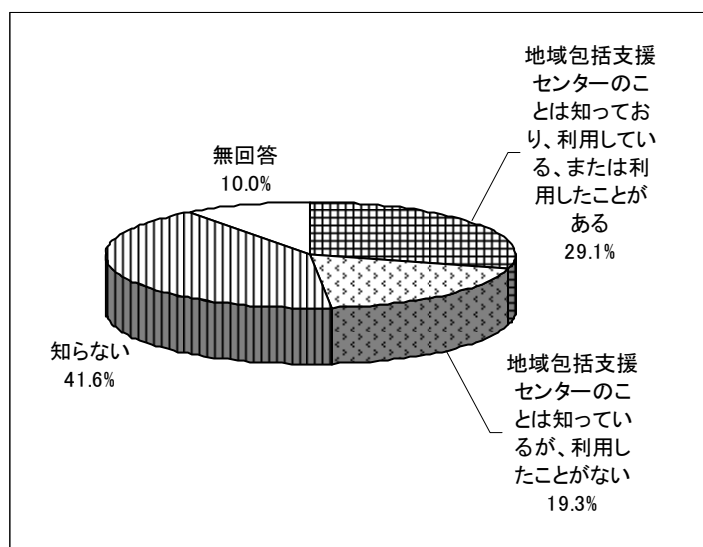
(2) 地域包括支援センターの認知状況

地域包括支援センターの認知状況についてきいたところ、「地域包括支援センターのことは知っており、利用している、または利用したことがある」が29.1%、「地域包括支援センターのことは知っているが、利用したことがない」が19.3%、と地域包括支援センターを知っている人は約48%、「知らない」が41.6%となっています。

圏域別にみると、奈良圏域では「地域包括支援センターのことは知っており、利用している、または利用したことがある」人の割合が約40%と他の圏域に比べて高くなっています。一方、中和圏域、南和圏域では「知らない」人が半数前後となっています。

要介護度別にみると、要支援1，2では「地域包括支援センターのことは知っており、利用している、または利用したことがある」人の割合が他に比べて高くなっています。一方、要介護1以上では「知らない」人が半数前後となっています。

図表 282 地域包括支援センターの認知状況 [N=2, 450]



図表 283 <圏域別、要介護度別>地域包括支援センターの認知状況 [N=2,450]

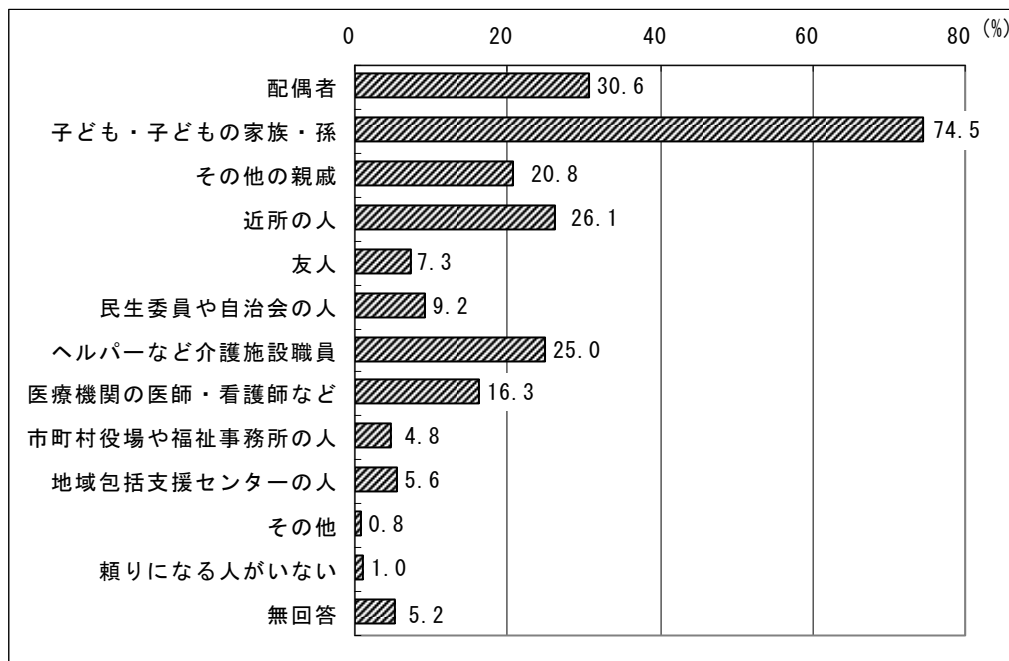
		合計	地域包括支援センターのことは知っており、利用している、または利用したことがある	地域包括支援センターのことは知っているが、利用していない	知らない	無回答	
合計		2,450	712	473	1,019	246	
		100.0	29.1	19.3	41.6	10.0	
圏域別	奈良	557	225	115	168	49	
		100.0	40.4	20.6	30.2	8.8	
	西和	575	180	115	225	55	
		100.0	31.3	20.0	39.1	9.6	
	東和	389	120	65	165	39	
		100.0	30.8	16.7	42.4	10.0	
	中和	529	113	103	260	53	
		100.0	21.4	19.5	49.1	10.0	
	南和	336	60	66	178	32	
		100.0	17.9	19.6	53.0	9.5	
	無回答	64	14	9	23	18	
		100.0	21.9	14.1	35.9	28.1	
	要介護度別	要支援1	373	164	63	109	37
			100.0	44.0	16.9	29.2	9.9
要支援2		488	214	109	124	41	
		100.0	43.9	22.3	25.4	8.4	
要介護1		300	74	55	148	23	
		100.0	24.7	18.3	49.3	7.7	
要介護2		409	102	74	208	25	
		100.0	24.9	18.1	50.9	6.1	
要介護3		329	57	66	173	33	
		100.0	17.3	20.1	52.6	10.0	
要介護4		218	44	38	113	23	
		100.0	20.2	17.4	51.8	10.6	
要介護5		183	28	33	92	30	
		100.0	15.3	18.0	50.3	16.4	
その他		16	3	7	5	1	
		100.0	18.8	43.8	31.3	6.3	
わからない		41	1	11	25	4	
		100.0	2.4	26.8	61.0	9.8	
無回答	93	25	17	22	29		
	100.0	26.9	18.3	23.7	31.2		

(3) 緊急時に頼りになる人

緊急時に頼りになる人についてきいたところ、「子ども・子どもの家族・孫」の割合が74.5%と最も高く、次いで、「配偶者」が30.6%となっています。

圏域別にみると、上位にあがっているものに大きな違いはみられないものの、それ以外では東和圏域、南和圏域では「近所の人」をあげる人の割合が他の圏域に比べて高くなっています。

図表 284 緊急時に頼りになる人[N=2,450；複数回答]



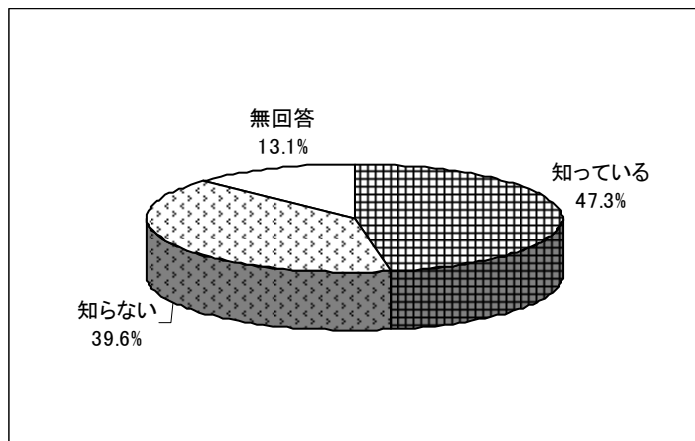
図表 285 <圏域別>緊急時に頼りになる人[N=2,450；複数回答]

	合計	配偶者	子ども・子どもの家族・孫	その他の親戚	近所の人	友人	民生委員や自治会の人	ヘルパーなど介護施設職員	医療機関の医師・看護師など	市町村役場や福祉事務所の人	地域包括支援センターの人	その他	頼りになる人がいない	無回答
合計	2,450	749	1825	510	640	179	226	612	399	117	138	19	25	127
	100.0	30.6	74.5	20.8	26.1	7.3	9.2	25.0	16.3	4.8	5.6	0.8	1.0	5.2
奈良	557	183	407	98	128	52	65	153	89	8	52	7	4	24
	100.0	32.9	73.1	17.6	23.0	9.3	11.7	27.5	16.0	1.4	9.3	1.3	0.7	4.3
西和	575	161	451	104	133	36	70	162	97	25	36	4	3	27
	100.0	28.0	78.4	18.1	23.1	6.3	12.2	28.2	16.9	4.3	6.3	0.7	0.5	4.7
東和	389	120	297	105	121	29	17	92	72	28	25	3	4	19
	100.0	30.8	76.3	27.0	31.1	7.5	4.4	23.7	18.5	7.2	6.4	0.8	1.0	4.9
中和	529	168	391	100	123	33	28	119	74	15	13	3	7	30
	100.0	31.8	73.9	18.9	23.3	6.2	5.3	22.5	14.0	2.8	2.5	0.6	1.3	5.7
南和	336	99	247	87	122	27	37	77	61	38	7	2	6	17
	100.0	29.5	73.5	25.9	36.3	8.0	11.0	22.9	18.2	11.3	2.1	0.6	1.8	5.1
無回答	64	18	32	16	13	2	9	9	6	3	5	0	1	10
	100.0	28.1	50.0	25.0	20.3	3.1	14.1	14.1	9.4	4.7	7.8	0.0	1.6	15.6

(4) 地区担当の民生委員の認知度

地区担当の民生委員を知っているかについてきいたところ、「知っている」が47.3%、「知らない」が39.6%となっています。

図表 286 地区担当の民生委員の認知度 [N=2, 450]

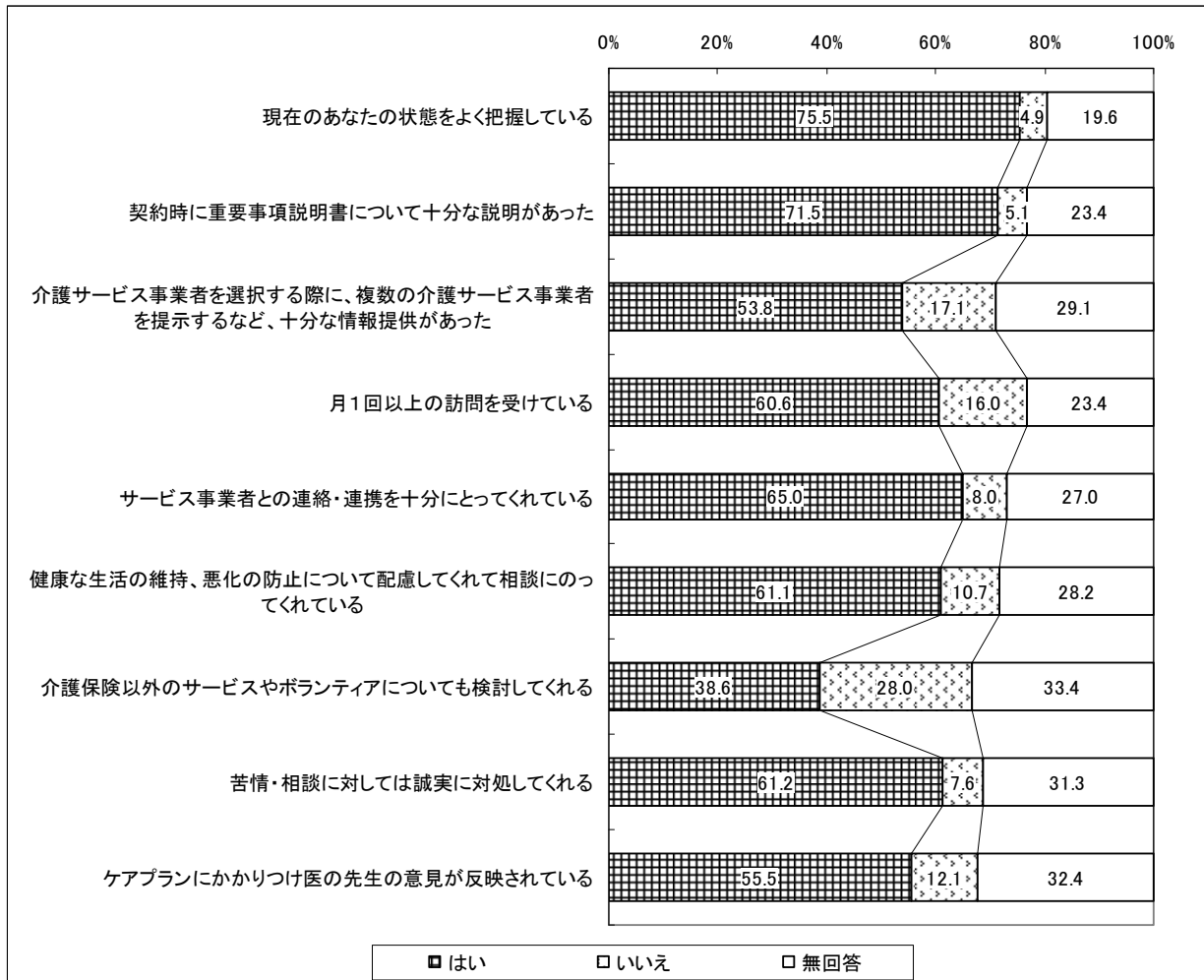


5. ケアプラン・居宅サービスの満足度について

(1) ケアマネジャーの対応について

ケアマネジャーの基本的な業務についてきいたところ、「介護保険以外のサービスやボランティアについても検討してくれる」を除くすべての事項で対応している割合が半数を超えています。特に、「現在のあなたの状態をよく把握している」、「契約時に重要事項説明書について十分な説明があった」については高くなっています。

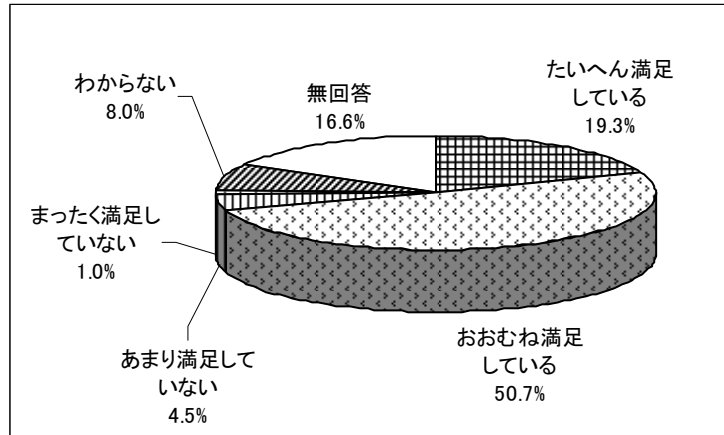
図表 287 ケアマネジャーの対応について [N=2,450]



(2) ケアプランに対する満足度

ケアプランに対する満足度をきいたところ、「たいへん満足している」が 19.3%、「おおむね満足している」が 50.7%と、満足している人が 70%います。一方で、「あまり満足していない」が 4.5%、「まったく満足していない」が 1.0%と、約 6%が不満を持っています。

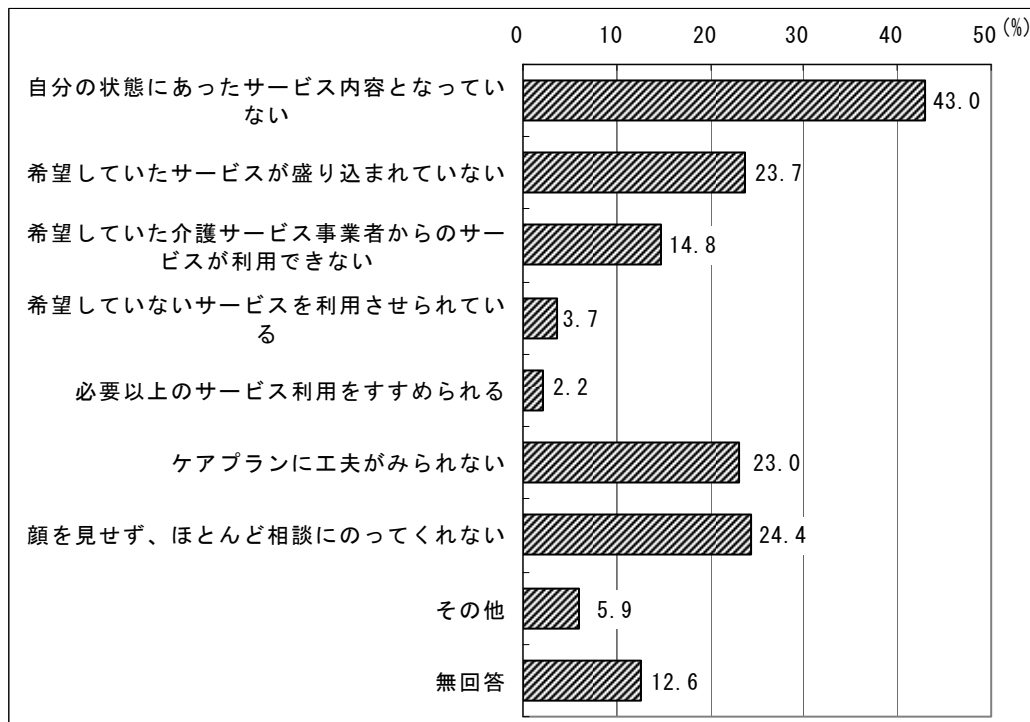
図表 288 ケアプランに対する満足度 [N=2, 450]



(3) ケアプランで満足していない理由

ケアプランで満足していない人に理由をきいたところ、「自分の状態にあったサービス内容となっていない」の割合が 43.0%と最も高く、次いで、「顔を見せず、ほとんど相談にのってくれない」が 24.4%となっています。

図表 289 ケアプランで満足していない理由 [N=135 ; 複数回答]



6. 介護サービスの利用状況

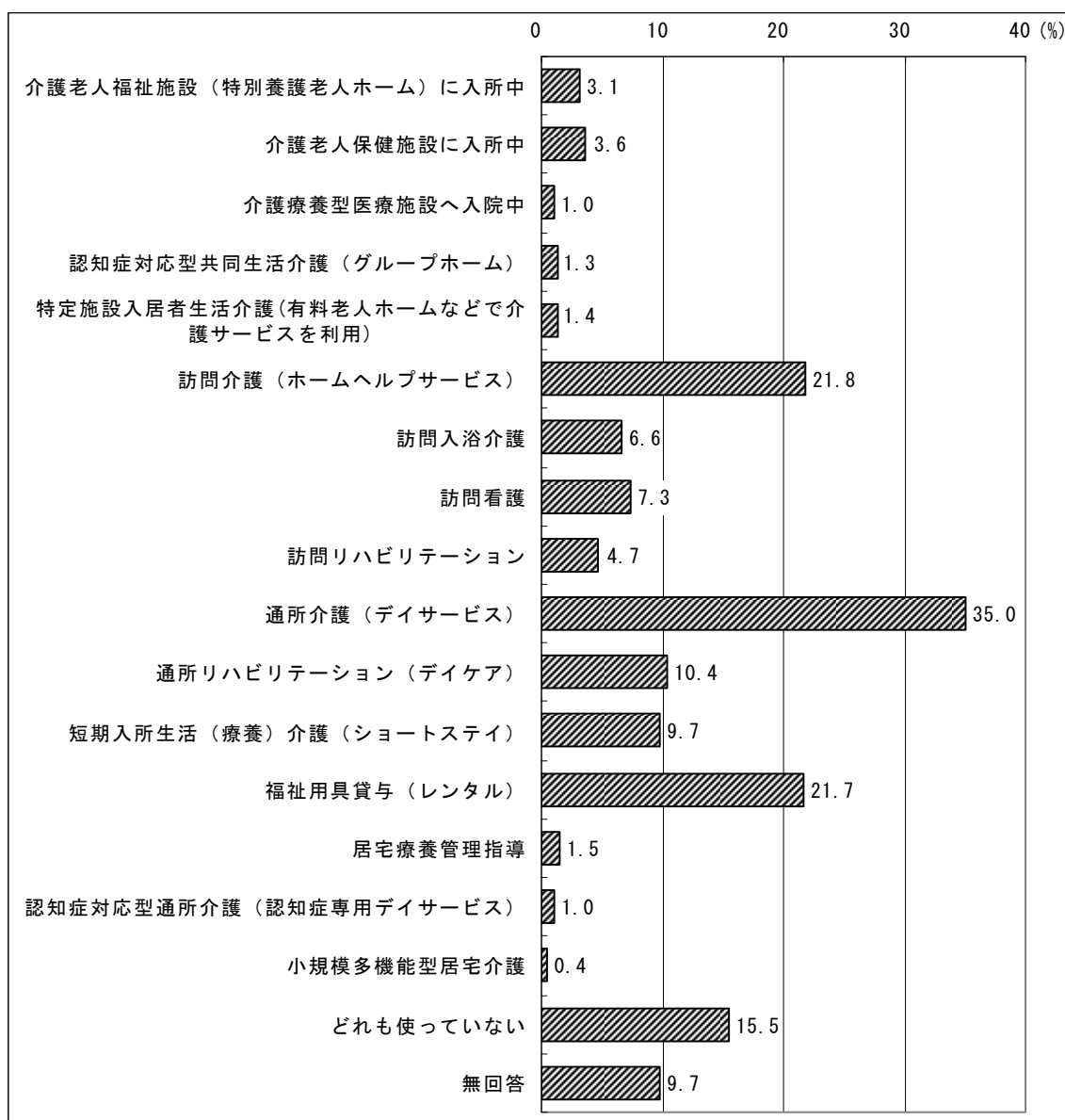
(1) 介護サービスの利用状況

介護サービスの利用状況をきいたところ、「通所介護（デイサービス）」の割合が35.0%と最も高く、次いで、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が21.8%、「福祉用具貸与（レンタル）」が21.7%となっています。一方、「どれも使っていない」人は15.5%います。

要介護度別にみると、要支援1、2では「訪問介護（ホームヘルプサービス）」、「通所介護（デイサービス）」をあげる人の割合が高いものの、「どれも使っていない」とする人も約23～26%います。

また、要介護度が上がるにつれ、概ねどのサービスも利用している人の割合が高くなっています。要介護5では「訪問入浴介護」、「訪問看護」、「短期入所生活（療養）介護（ショートステイ）」、「福祉用具貸与（レンタル）」の利用割合が他に比べてかなり高くなっています。その他では、「通所介護（デイサービス）」は要介護1～3の人の利用割合が高くなっています。

図表 290 介護サービスの利用状況 [N=2,450]



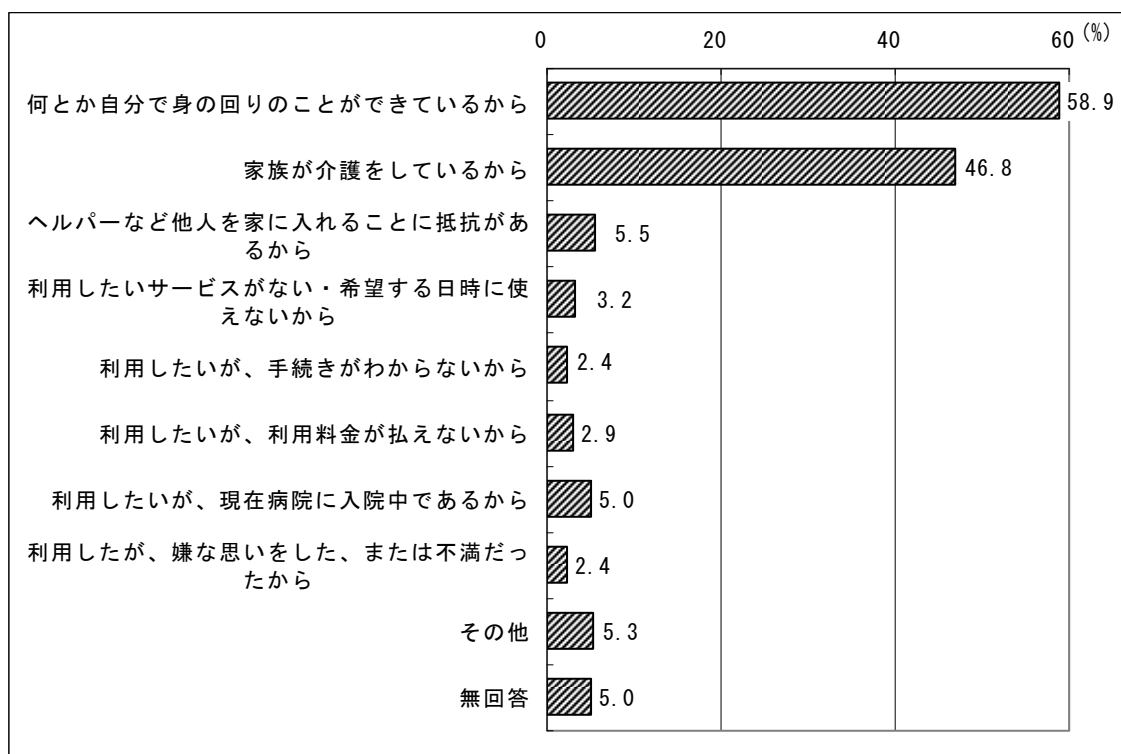
図表 291 <要介護度別>介護サービスの利用状況 [N=2, 450]

	合計	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）に入所中	介護老人保健施設に入所中	介護療養型医療施設へ入院中	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	特定施設入居者生活介護（有料老人ホームなどで介護サービスを利用）	訪問介護（ホームヘルプサービス）	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所介護（デイサービス）	通所リハビリテーション（デイケア）	短期入所生活（療養）介護（ショートステイ）	福祉用具貸与（レンタル）	居宅療養管理指導	認知症対応型通所介護（認知症専用デイサービス）	小規模多機能型居宅介護	どれも使っていない	無回答
合計	2,450	76	87	25	32	34	534	161	180	114	857	256	237	532	37	24	11	380	237
	100.0	3.1	3.6	1.0	1.3	1.4	21.8	6.6	7.3	4.7	35.0	10.4	9.7	21.7	1.5	1.0	0.4	15.5	9.7
要支援1	373	1	3	1	0	5	97	7	5	8	91	32	7	28	1	0	2	97	58
	100.0	0.3	0.8	0.3	0.0	1.3	26.0	1.9	1.3	2.1	24.4	8.6	1.9	7.5	0.3	0.0	0.5	26.0	15.5
要支援2	488	2	5	1	1	5	97	17	11	11	135	44	9	74	3	1	2	111	65
	100.0	0.4	1.0	0.2	0.2	1.0	19.9	3.5	2.3	2.3	27.7	9.0	1.8	15.2	0.6	0.2	0.4	22.7	13.3
要介護1	300	2	9	1	5	5	62	14	11	5	132	39	29	39	2	2	2	42	17
	100.0	0.7	3.0	0.3	1.7	1.7	20.7	4.7	3.7	1.7	44.0	13.0	9.7	13.0	0.7	0.7	0.7	14.0	5.7
要介護2	409	10	15	3	8	7	92	33	21	20	174	62	50	109	6	4	0	50	19
	100.0	2.4	3.7	0.7	2.0	1.7	22.5	8.1	5.1	4.9	42.5	15.2	12.2	26.7	1.5	1.0	0.0	12.2	4.6
要介護3	329	17	24	4	7	7	61	18	33	27	149	45	55	101	7	9	2	22	12
	100.0	5.2	7.3	1.2	2.1	2.1	18.5	5.5	10.0	8.2	45.3	13.7	16.7	30.7	2.1	2.7	0.6	6.7	3.6
要介護4	218	21	24	6	8	1	46	28	29	17	83	15	40	83	6	4	2	11	9
	100.0	9.6	11.0	2.8	3.7	0.5	21.1	12.8	13.3	7.8	38.1	6.9	18.3	38.1	2.8	1.8	0.9	5.0	4.1
要介護5	183	20	5	9	2	3	55	38	65	25	67	13	44	86	10	3	1	9	11
	100.0	10.9	2.7	4.9	1.1	1.6	30.1	20.8	35.5	13.7	36.6	7.1	24.0	47.0	5.5	1.6	0.5	4.9	6.0
その他	16	1	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	9	2
	100.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	0.0	0.0	56.3	12.5
わからない	41	1	0	0	1	0	4	1	0	0	4	0	1	1	0	0	0	20	12
	100.0	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	9.8	2.4	0.0	0.0	9.8	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	48.8	29.3
無回答	93	1	2	0	0	1	17	4	4	0	22	6	2	10	1	1	0	9	32
	100.0	1.1	2.2	0.0	0.0	1.1	18.3	4.3	4.3	0.0	23.7	6.5	2.2	10.8	1.1	1.1	0.0	9.7	34.4

(2) サービスを利用していない理由

サービスを利用していない人にその理由をきいたところ、「何とか自分で身の回りのことができるから」の割合が58.9%と最も高く、次いで「家族が介護をしているから」が46.8%となっています。

図表 292 サービスを利用していない理由 [N=380 ; 複数回答]

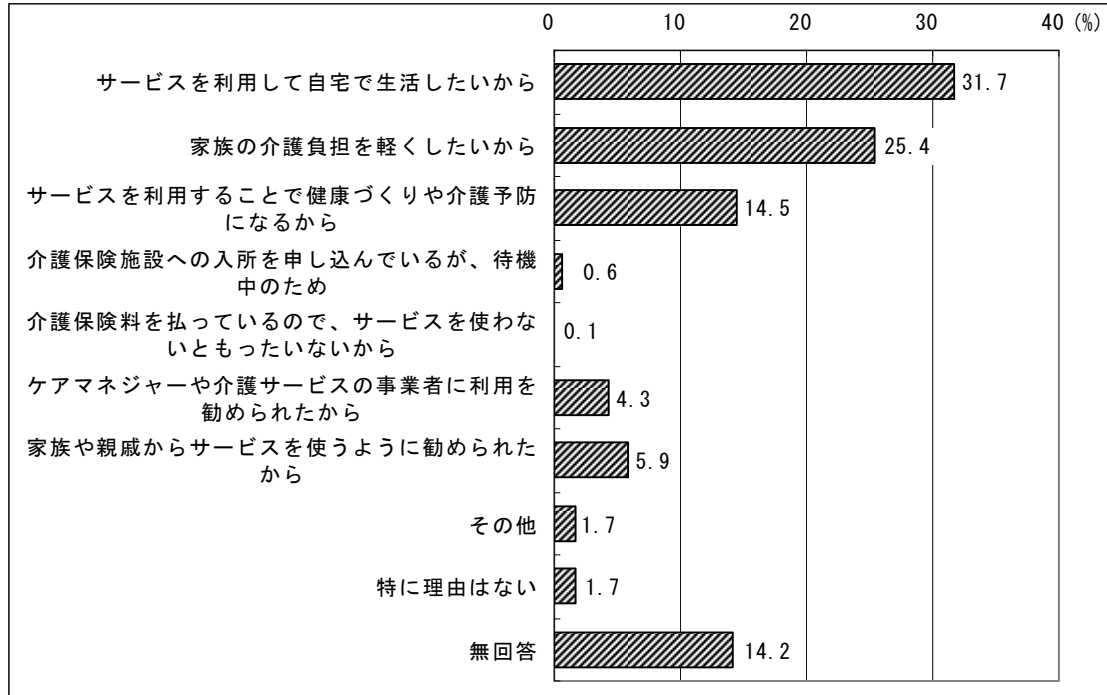


(3) サービスを利用している理由

サービスを利用している人にその理由をきいたところ、「サービスを利用して自宅で生活したいから」割合が31.7%と最も高く、次いで「家族の介護負担を軽くしたいから」が25.4%となっています。

要介護度別にみると、どの要介護度でも「サービスを利用して自宅で生活したいから」をあげる人の割合が高いのは同じですが、それ以外では、要支援1では「サービスを利用することで健康づくりや介護予防になるから」を、要介護3～5では「家族の介護負担を軽くしたいから」をあげる人の割合が他に比べて高くなっています。

図表 293 サービスを利用している理由[N=1,606；複数回答]



図表 294 <要介護度別>サービスを利用している理由[N=1,606；複数回答]

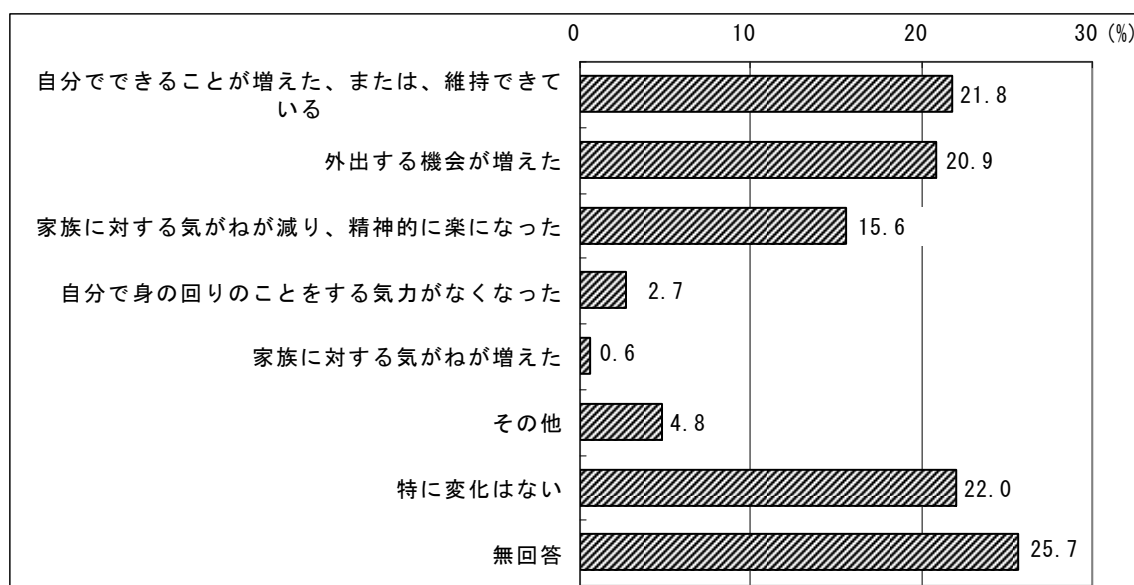
	合計	サービスを利用して自宅で生活したいから	家族の介護負担を軽くしたいから	サービスを利用することで健康づくりや介護予防になるから	介護保険施設への入所を申し込んでいるが、待機中のため	介護保険料を払っているのに、サービスを使わないもったいないから	ケアマネジャーや介護サービスの事業者から勧められたから	家族や親戚からサービスを使うように勧められたから	その他	特に理由はない	無回答
合計	1,606	509	408	233	9	1	69	94	28	27	228
	100.0	31.7	25.4	14.5	0.6	0.1	4.3	5.9	1.7	1.7	14.2
要支援1	213	81	22	46	1	1	8	13	7	4	30
	100.0	38.0	10.3	21.6	0.5	0.5	3.8	6.1	3.3	1.9	14.1
要支援2	301	99	43	57	-	-	11	20	1	4	66
	100.0	32.9	14.3	18.9	-	-	3.7	6.6	0.3	1.3	21.9
要介護1	220	56	57	40	1	-	10	20	4	6	26
	100.0	25.5	25.9	18.2	0.5	-	4.5	9.1	1.8	2.7	11.8
要介護2	306	81	92	42	2	-	20	14	8	5	42
	100.0	26.5	30.1	13.7	0.7	-	6.5	4.6	2.6	1.6	13.7
要介護3	239	72	86	23	1	-	7	14	4	3	29
	100.0	30.1	36.0	9.6	0.4	-	2.9	5.9	1.7	1.3	12.1
要介護4	142	49	51	10	2	-	7	7	1	2	13
	100.0	34.5	35.9	7.0	1.4	-	4.9	4.9	0.7	1.4	9.2
要介護5	125	50	51	4	1	-	4	3	1	-	11
	100.0	40.0	40.8	3.2	0.8	-	3.2	2.4	0.8	-	8.8
その他	4	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-
	100.0	50.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-
わからない	7	4	1	-	1	-	-	-	-	-	1
	100.0	57.1	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-	14.3
無回答	49	15	5	11	-	-	2	2	1	3	10
	100.0	30.6	10.2	22.4	-	-	4.1	4.1	2.0	6.1	20.4

(4) サービスを利用することによる生活の変化

サービスを利用することによる生活の変化についてきいたところ、何らかの変化があった人は約52%となっています。変化としては、「自分でできることが増えた、または、維持できている」(21.8%)、「外出する機会が増えた」(20.9%)の割合が高くなっています。一方、「特に変化はない」が22.0%となっています。

要介護度別にみると、要支援1, 2では「自分でできることが増えた、または、維持できている」を、要介護3, 4では「外出する機会が増えた」をあげる人の割合が他に比べて高くなっています。また、要介護5では「特に変化はない」とする人の割合が他に比べて高くなっています。

図表 295 サービスを利用することによる生活の変化 [N=1,606 ; 複数回答]



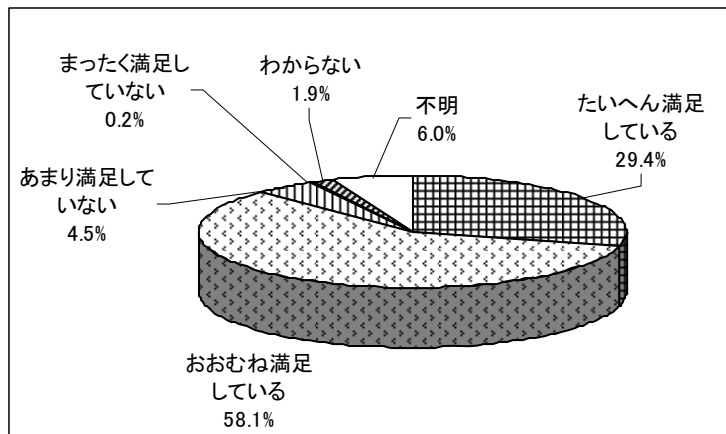
図表 296 <要介護度別>サービスを利用することによる生活の変化[N=1,606；複数回答]

	合計	増えた、または、維持できている	自分でできることが増えた、または、維持できている	外出する機会が増えた	家族に対する気がねが減り、精神的に楽になった	自分で身の回りのことをする気がなくなった	家族に対する気がねが増えた	その他	特に変化はない	無回答
合計	1,606	350	335	251	43	10	77	354	412	
	100.0	21.8	20.9	15.6	2.7	0.6	4.8	22.0	25.7	
要支援1	213	66	38	32	5	2	9	48	51	
	100.0	31.0	17.8	15.0	2.3	0.9	4.2	22.5	23.9	
要支援2	301	92	47	38	10	0	10	54	89	
	100.0	30.6	15.6	12.6	3.3	0.0	3.3	17.9	29.6	
要介護1	220	49	53	40	6	1	13	37	53	
	100.0	22.3	24.1	18.2	2.7	0.5	5.9	16.8	24.1	
要介護2	306	53	70	46	8	3	15	71	78	
	100.0	17.3	22.9	15.0	2.6	1.0	4.9	23.2	25.5	
要介護3	239	43	65	41	4	3	14	54	55	
	100.0	18.0	27.2	17.2	1.7	1.3	5.9	22.6	23.0	
要介護4	142	25	37	20	8	0	6	36	31	
	100.0	17.6	26.1	14.1	5.6	0.0	4.2	25.4	21.8	
要介護5	125	10	17	27	2	1	6	36	36	
	100.0	8.0	13.6	21.6	1.6	0.8	4.8	28.8	28.8	
その他	4	0	0	0	0	0	1	3	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	
わからない	7	1	0	0	0	0	1	3	2	
	100.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	28.6	
無回答	49	11	8	7	0	0	2	12	17	
	100.0	22.4	16.3	14.3	0.0	0.0	4.1	24.5	34.7	

(5) 訪問介護サービスの利用について

訪問介護サービスを利用している人にその満足度をきいたところ、「たいへん満足している」が29.4%、「おおむね満足している」が58.1%と、約88%が満足しています。一方、「あまり満足していない」が4.5%、「まったく満足していない」が0.2%と、満足していない人が約5%となっています。

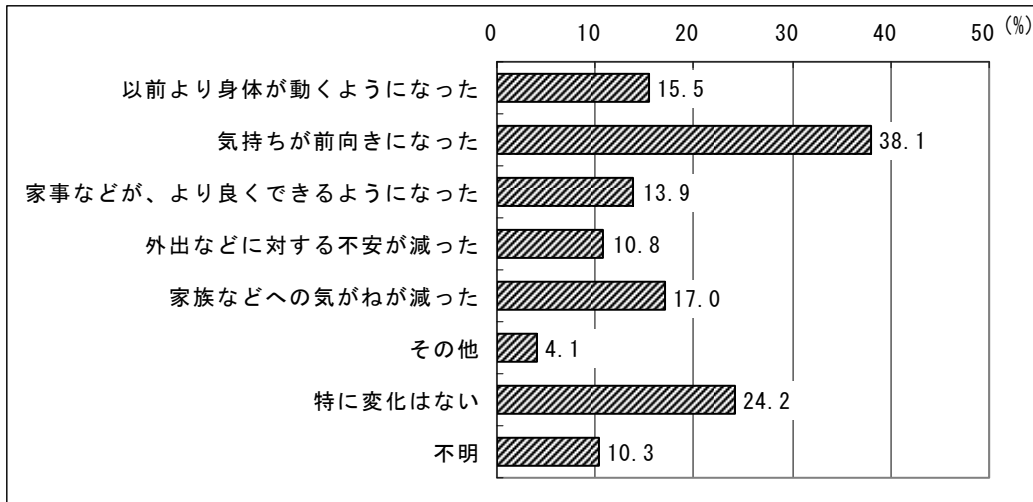
図表 297 訪問介護サービスの満足度[N=534]



(6) 訪問介護サービスを利用しての変化

要支援1, 2の人に訪問介護サービスを利用しての変化についてきいたところ、なんらかの変化があった人は65.5%となっています。なかでも、「気持ちが前向きになった」が38.1%と高くなっています。一方、「特に変化はない」が24.2%となっています。

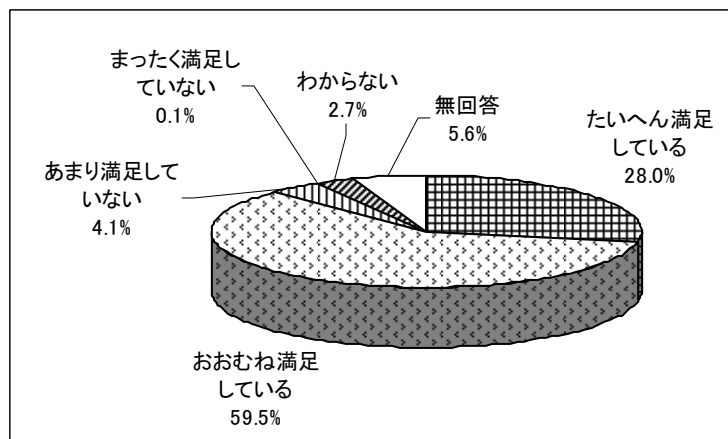
図表 298 訪問介護サービスを利用しての変化 [N=194 ; 複数回答]



(7) 通所介護・通所リハビリテーションの満足度

通所介護・通所リハビリテーションを利用している人にその満足度をきいたところ、「たいへん満足している」が28.0%、「おおむね満足している」が59.5%と、約88%が満足しています。一方、「あまり満足していない」が4.1%、「まったく満足していない」が0.1%と、満足していない人が約4%となっています。

図表 299 通所介護・通所リハビリテーションの満足度 [N=1,009]

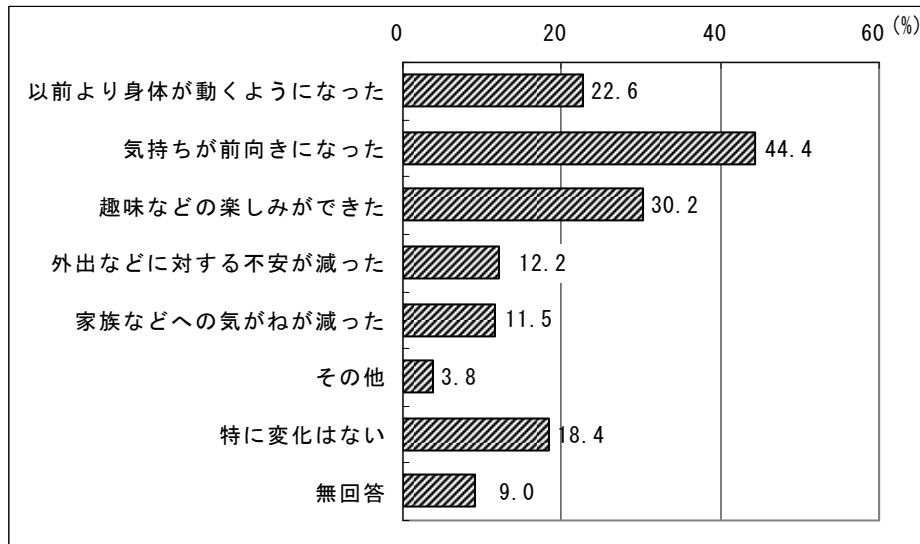


(8) 通所介護・通所リハビリテーション訪問介護サービスを利用しての変化

要支援1, 2の人に通所介護・通所リハビリテーションを利用しての変化についてきいたところ、なんらかの変化があった人は72.6%となっています。なかでも、「気持ちが前向きになった」が44.4%と高くなっています。一方、「特に変化はない」が18.4%となっています。

要介護度別にみると、要支援1では「気持ちが前向きになった」をあげる人の割合が要支援2に比べて高くなっています。

図表 300 通所介護・通所リハビリテーションを利用しての変化 [N=288 ; 複数回答]



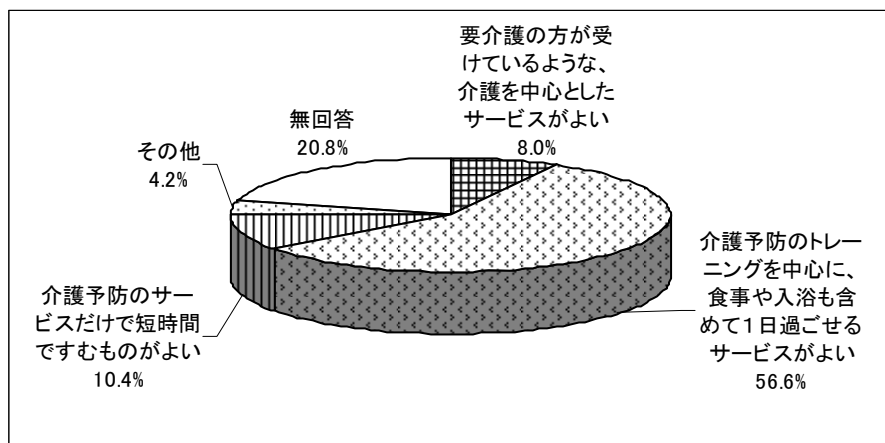
図表 301 <要介護度別>通所介護・通所リハビリテーションを利用しての変化 [N=288 ; 複数回答]

	合計	以前より身体が動くようになった	気持ちが前向きになった	趣味などの楽しみができた	外出などに対する不安が減った	家族などへの気がねが減った	その他	特に変化はない	無回答
合計	288	65	128	87	35	33	11	53	26
	100.0	22.6	44.4	30.2	12.2	11.5	3.8	18.4	9.0
要支援1	117	30	64	32	17	12	6	16	9
	100.0	25.6	54.7	27.4	14.5	10.3	5.1	13.7	7.7
要支援2	171	35	64	55	18	21	5	37	17
	100.0	20.5	37.4	32.2	10.5	12.3	2.9	21.6	9.9

(9) 今後希望する通所介護・通所リハビリテーション訪問介護サービスについて

要支援1, 2の人に今後希望する通所介護・通所リハビリテーションについてきいたところ、「介護予防のトレーニングを中心に、食事や入浴も含めて1日過ごせるサービスがよい」が56.6%と最も高くなっています。

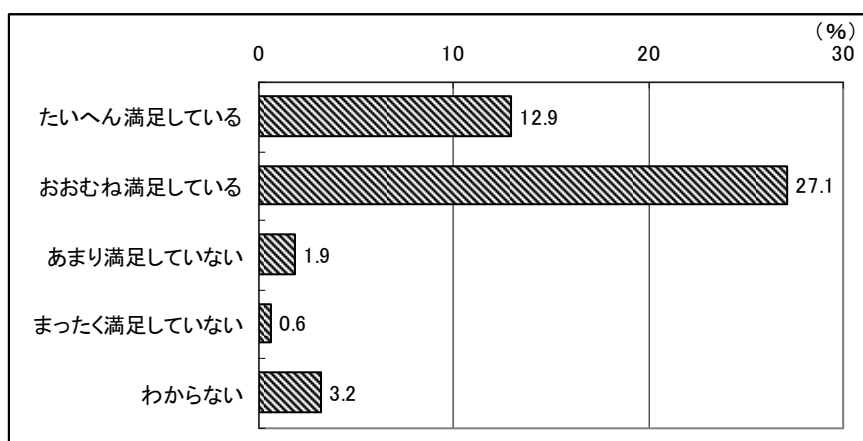
図表 302 今後希望する通所介護・通所リハビリテーション [N=288]



(10) 福祉用具の購入についての満足度

福祉用具の購入についての満足度をきいたところ、「たいへん満足している」が12.9%、「おおむね満足している」が27.1%と、40%が満足しています。一方、「あまり満足していない」が1.9%、「まったく満足していない」が0.6%となっています。

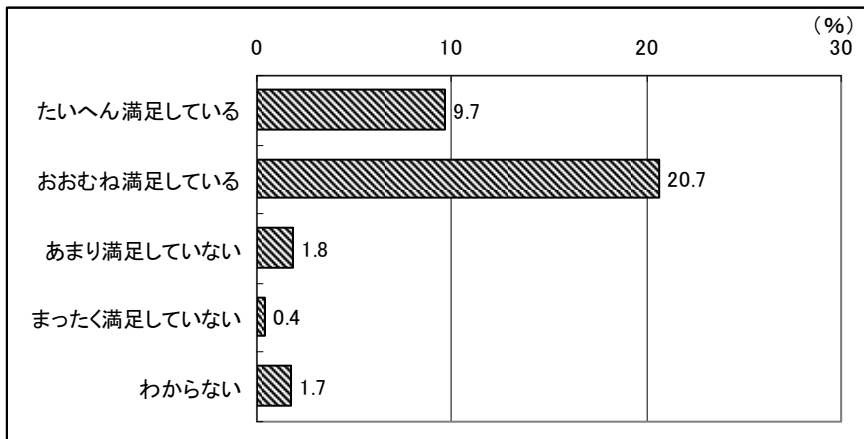
図表 303 福祉用具の購入についての満足度 [N=2,450]



(11) 住宅改修についての満足度

住宅改修についての満足度をきいたところ、「たいへん満足している」が9.7%、「おおむね満足している」が20.7%と、約30%が満足しています。一方、「あまり満足していない」が1.8%、「まったく満足していない」が0.4%となっています。

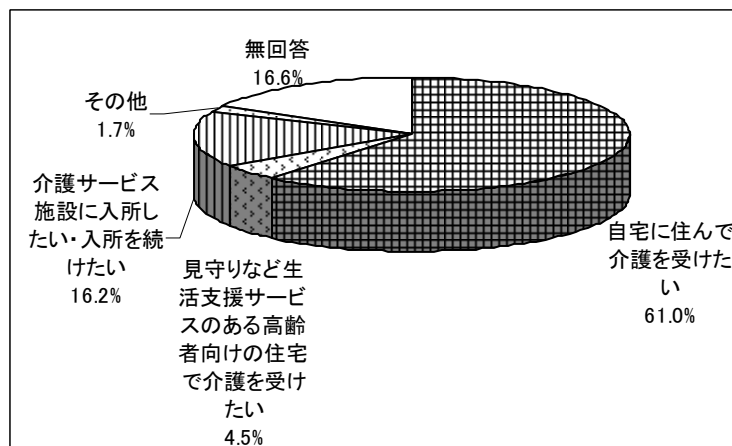
図表 304 住宅改修についての満足度 [N=2,450]



(12) 今後介護を受けたい場所

今後どこで介護を受けたいかきいたところ、「自宅に住んで介護を受けたい」が61.0%と最も高く、次いで「介護サービス施設に入所したい・入所を続けたい」が16.2%となっています。

図表 305 今後介護を受けたい場所 [N=2,450]

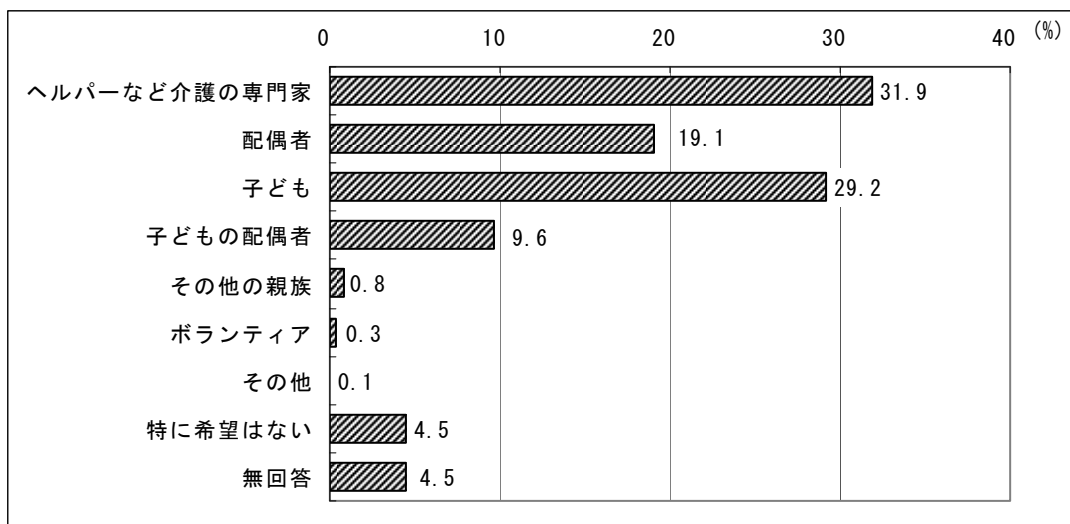


(13) 希望する介護者

在宅での介護を希望する人に、希望する介護者についてきいたところ、「ヘルパーなど介護の専門家」(31.9%)、「子ども」(29.2%)の割合が高くなっています。

要介護度別にみると、大きな違いはみられないものの、要支援1, 2では「ヘルパーなど介護の専門家」をあげる人の割合が他に比べて高くなっています。

図表 306 希望する介護者 [N=1,604]



図表 307 <要介護度別>希望する介護者 [N=1,604]

	合計	ヘルパーなど介護の専門家	配偶者	子ども	子どもの配偶者	その他の親族	ボランティア	その他	特に希望はない	無回答
合計	1,604	511	306	469	154	13	5	2	72	72
	100.0	31.9	19.1	29.2	9.6	0.8	0.3	0.1	4.5	4.5
要支援1	247	100	32	61	22	1	1	0	15	15
	100.0	40.5	13.0	24.7	8.9	0.4	0.4	0.0	6.1	6.1
要支援2	352	135	51	99	32	2	2	1	16	14
	100.0	38.4	14.5	28.1	9.1	0.6	0.6	0.3	4.5	4.0
要介護1	195	53	33	67	22	3	0	0	9	8
	100.0	27.2	16.9	34.4	11.3	1.5	0.0	0.0	4.6	4.1
要介護2	282	84	66	72	32	2	1	0	13	12
	100.0	29.8	23.4	25.5	11.3	0.7	0.4	0.0	4.6	4.3
要介護3	204	54	53	65	15	2	0	0	7	8
	100.0	26.5	26.0	31.9	7.4	1.0	0.0	0.0	3.4	3.9
要介護4	134	39	33	42	13	0	0	1	3	3
	100.0	29.1	24.6	31.3	9.7	0.0	0.0	0.7	2.2	2.2
要介護5	113	23	24	43	14	0	0	0	3	6
	100.0	20.4	21.2	38.1	12.4	0.0	0.0	0.0	2.7	5.3
その他	10	2	3	3	0	0	0	0	1	1
	100.0	20.0	30.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0
わからない	22	9	3	3	0	1	1	0	3	2
	100.0	40.9	13.6	13.6	0.0	4.5	4.5	0.0	13.6	9.1
無回答	45	12	8	14	4	2	0	0	2	3
	100.0	26.7	17.8	31.1	8.9	4.4	0.0	0.0	4.4	6.7

(14) 介護サービス施設への入所申し込みの有無や申し込みをしている理由

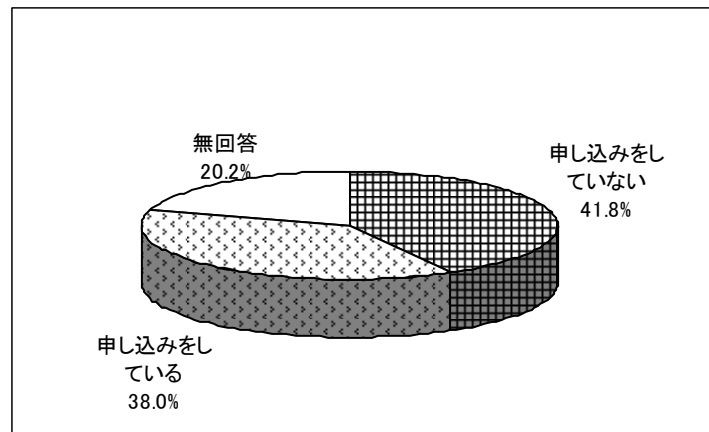
介護サービス施設を希望する人に入所申し込みをしているかきいたところ、「申し込みをしていない」が41.8%、「申し込みをしている」が38.0%となっています。

また、申し込んでいる施設については、大半が「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」となっています。

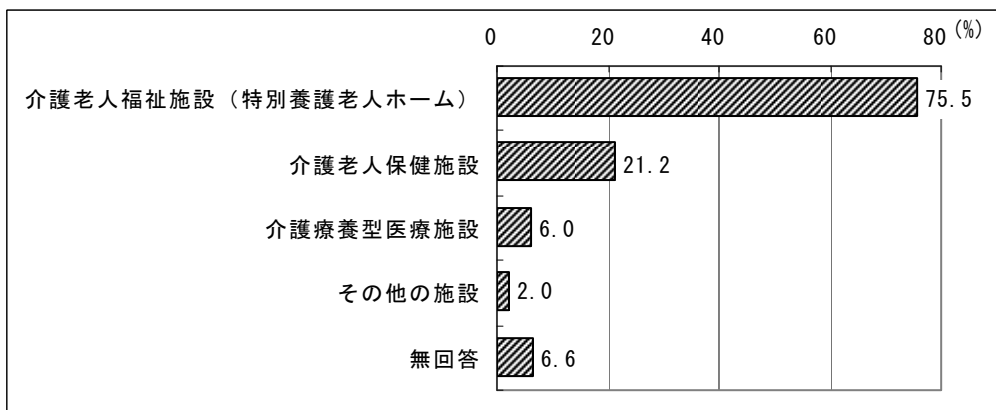
申し込みをしている理由については、「施設の方が安心だから」が39.1%と最も高く、次いで「症状が進んで在宅での介護が困難になってきた」が35.8%となっています。

申し込み理由で「施設の方が安心だから」をあげた人に、施設での居室形態の希望についてきいたところ、約半数が「料金が安ければ個室、高ければ多床室を希望」（55.9%）としています。

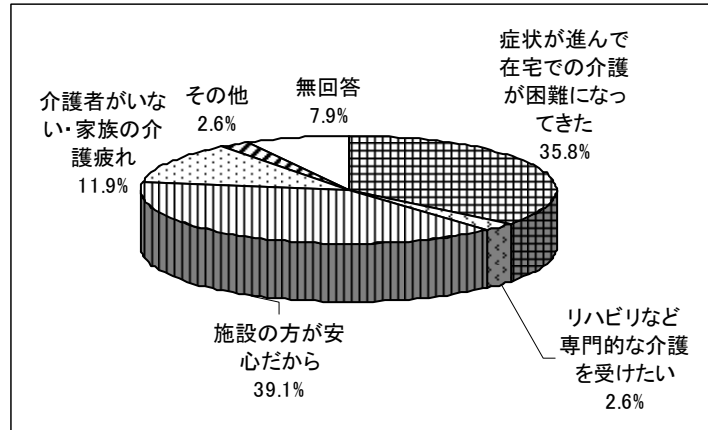
図表 308 介護サービス施設への入所申し込みの有無 [N=140]



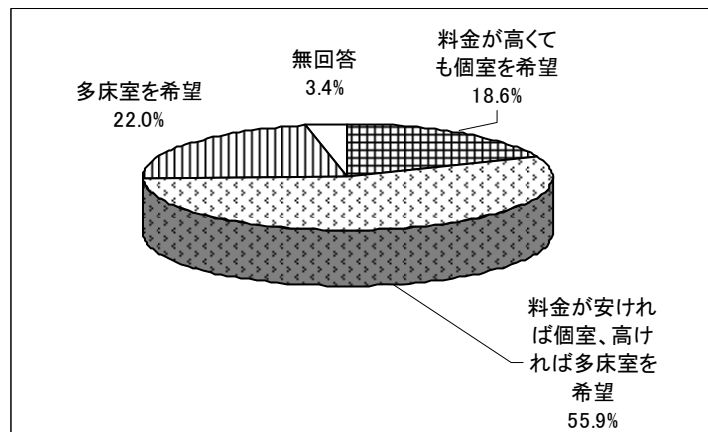
図表 309 申し込み施設 [N=151 ; 複数回答]



図表 310 申し込み施設 [N=151]



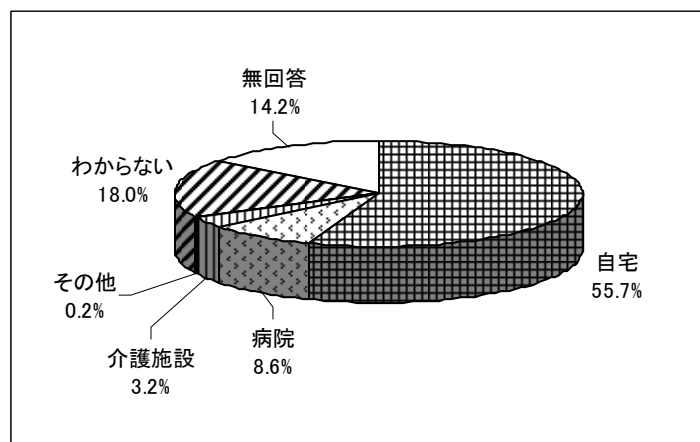
図表 311 希望する居室形態 [N=59]



(15) 最期を迎えたい場所

どこで最期を迎えたいかきいたところ、「自宅」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「わからない」が 18.0%となっています。

図表 312 最期を迎えたい場所 [N=2, 450]

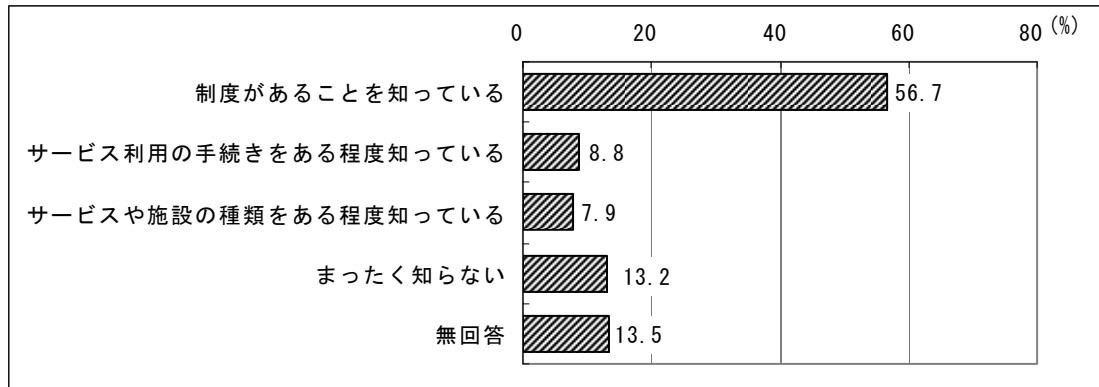


7. 介護保険制度について

(1) 介護保険制度の認知度

介護保険制度についてどの程度知っているかきいたところ、「制度があることを知っている」が56.7%と最も高く、次いで、「サービス利用の手続きをある程度知っている」が8.8%となっています。一方、「まったく知らない」人も13.2%います。

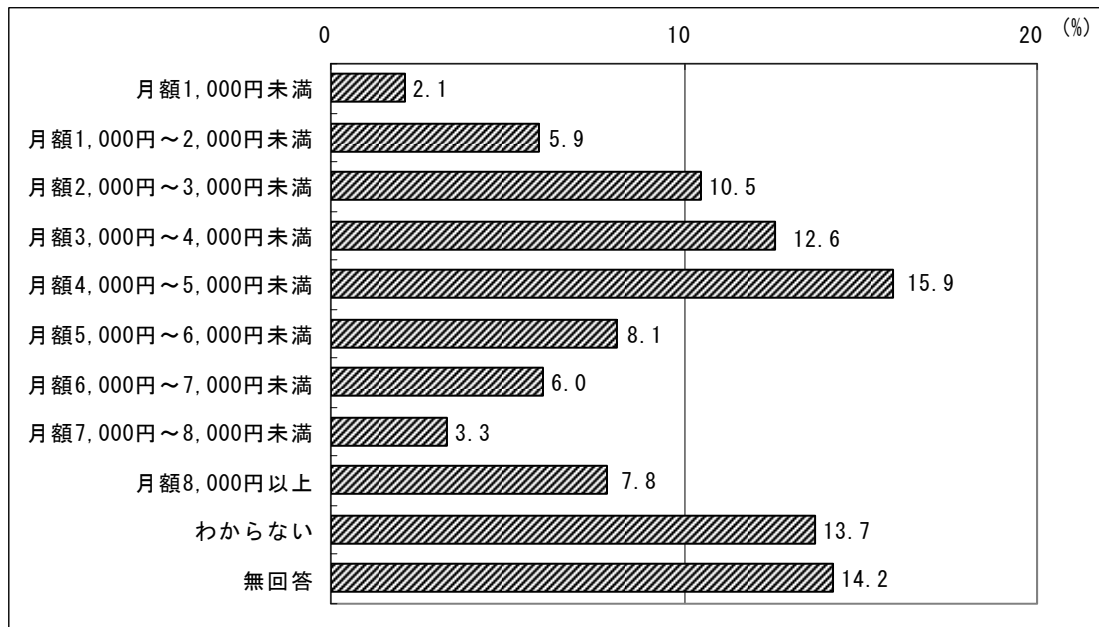
図表 313 介護保険制度の認知度 [N=2,450]



(2) 現在支払っている介護保険料

現在支払っている介護保険料についてきいたところ、「月額 4,000 円～5,000 円未満」の割合が15.9%と最も高く、次いで、「月額 4,000 円～5,000 円未満」が12.6%となっています。一方、「わからない」人も13.7%います。

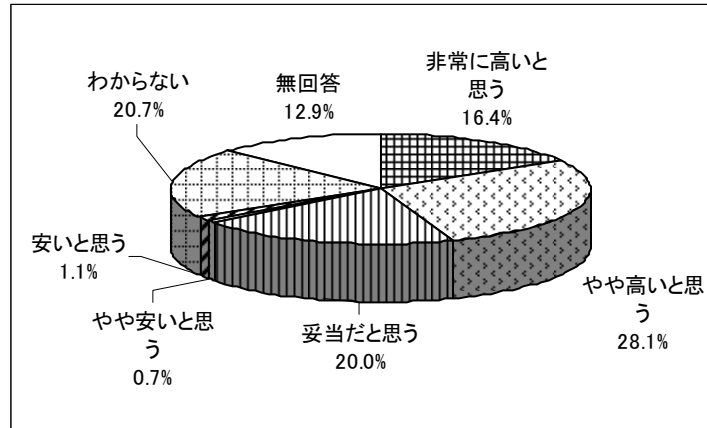
図表 314 現在支払っている介護保険料 [N=2,450]



(3) 支払っている介護保険料の金額について

支払っている介護保険料の金額についてきいたところ、「非常に高いと思う」が16.4%、「やや高いと思う」が28.1%と、高いと感じている人が約45%、「妥当だと思う」が20.0%となっています。

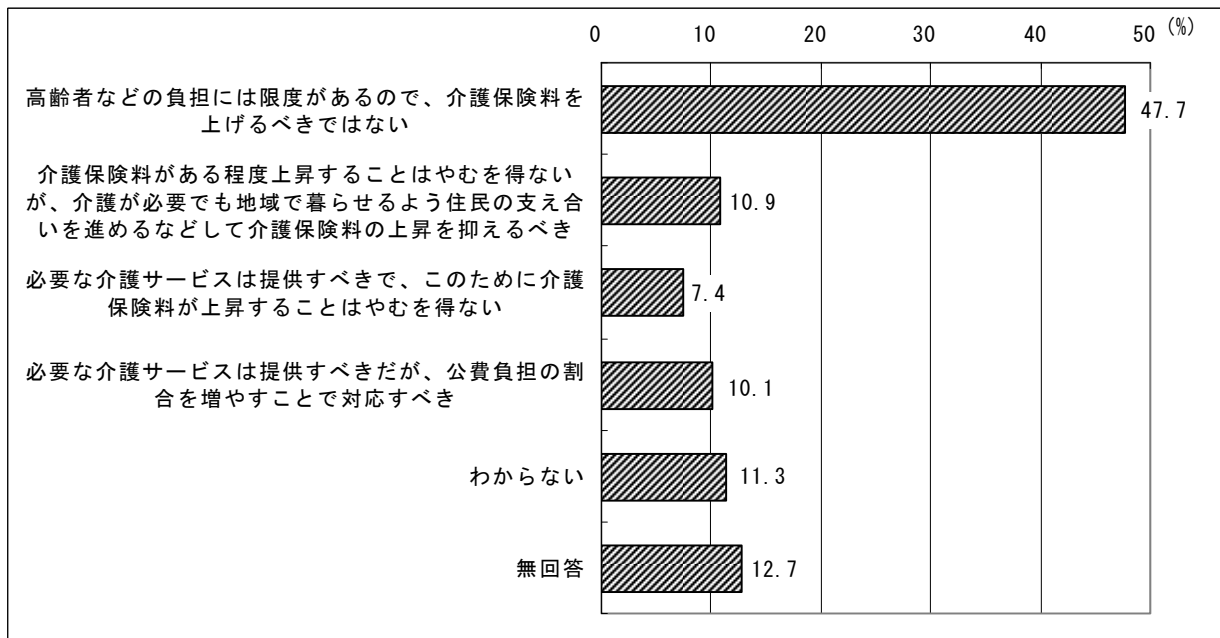
図表 315 支払っている介護保険料の金額について [N=2,450]



(4) 介護保険の今後の費用負担のあり方について

介護保険の今後の費用負担のあり方についてきいたところ、約半数が「高齢者などの負担には限度があるので、介護保険料を上げるべきではない」(47.7%)としています。

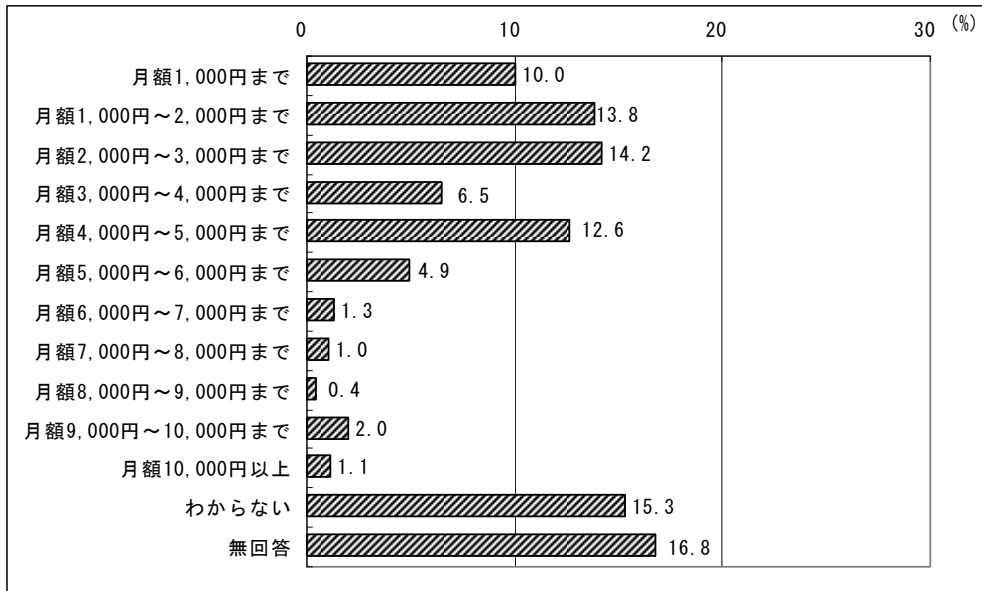
図表 316 介護保険の今後の費用負担のあり方について [N=2,450]



(5) 介護保険料の負担限度について

介護保険料を負担できる限度額についてきいたところ、「わからない」の割合が15.3%と最も高く、次いで「月額2,000円～3,000円まで」が14.2%となっています。

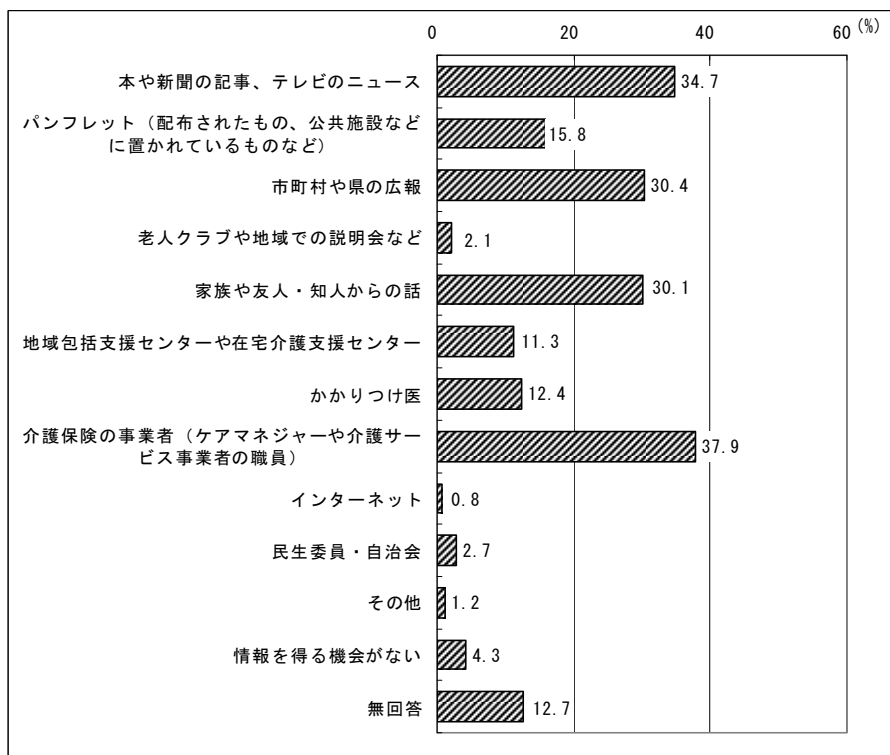
図表 317 介護保険料の負担限度額 [N=2,450]



(6) 介護や保健、医療等に関する情報の入手先

介護や保健、医療等に関する情報をどこから入手しているかきいたところ、「介護保険の事業者（ケアマネジャーや介護サービス事業者の職員）」の割合が37.9%と最も高く、次いで「本や新聞の記事、テレビのニュース」が34.7%となっています。

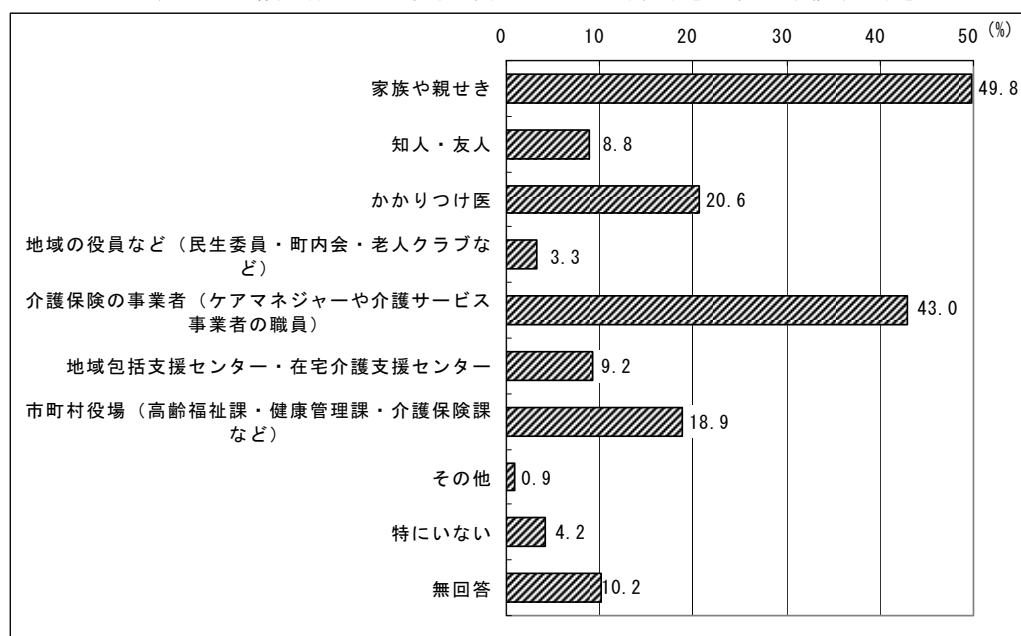
図表 318 介護や保健、医療等に関する情報を、どのような手段で得ているか [N=2,450 ; 複数回答]



(7) 介護や保健、医療等に関することの相談者

介護や保健、医療等に関することについて誰に相談しているかきいたところ、「家族や親せき」の割合が49.8%と最も高く、次いで「介護保険の事業者（ケアマネジャーや介護サービス事業者の職員）」が43.0%となっています。

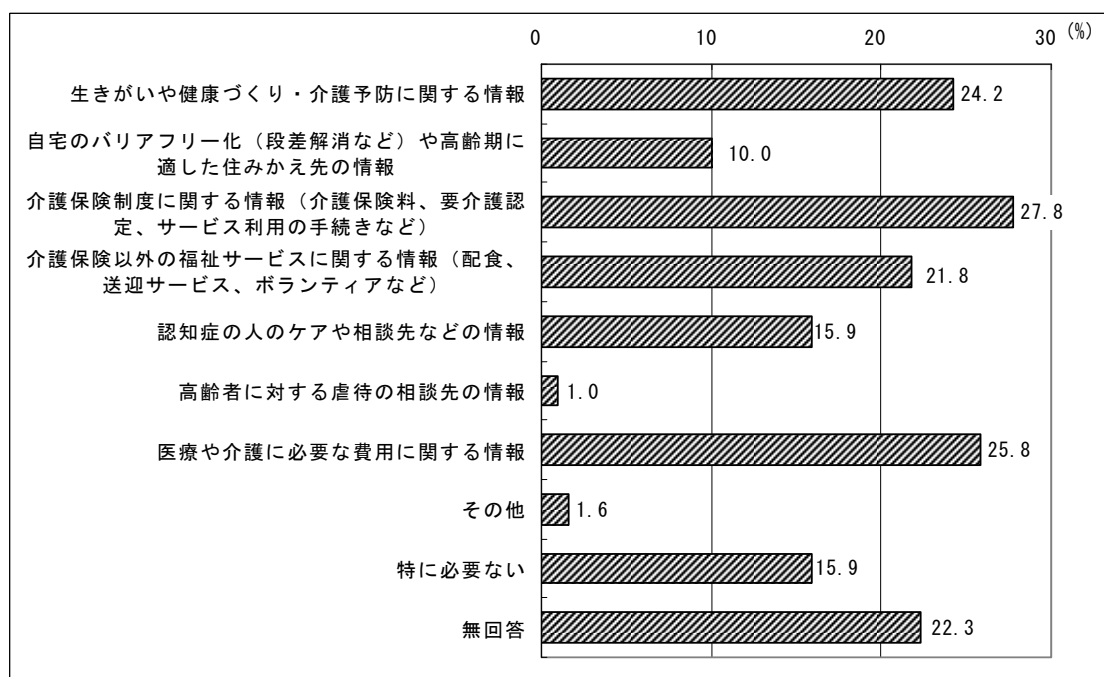
図表 319 介護や保健、医療等に関することの相談者 [N=2,450 ; 複数回答]



(8) 介護や保健、医療等に関することでほしい情報

介護や保健、医療等に関することでほしい情報についてきいたところ、「介護保険制度に関する情報（介護保険料、要介護認定、サービス利用の手続きなど）」の割合が27.8%と最も高く、次いで「医療や介護に必要な費用に関する情報」が25.8%となっています。

図表 320 介護や保健、医療等に関することでほしい情報 [N=2,450 ; 複数回答]

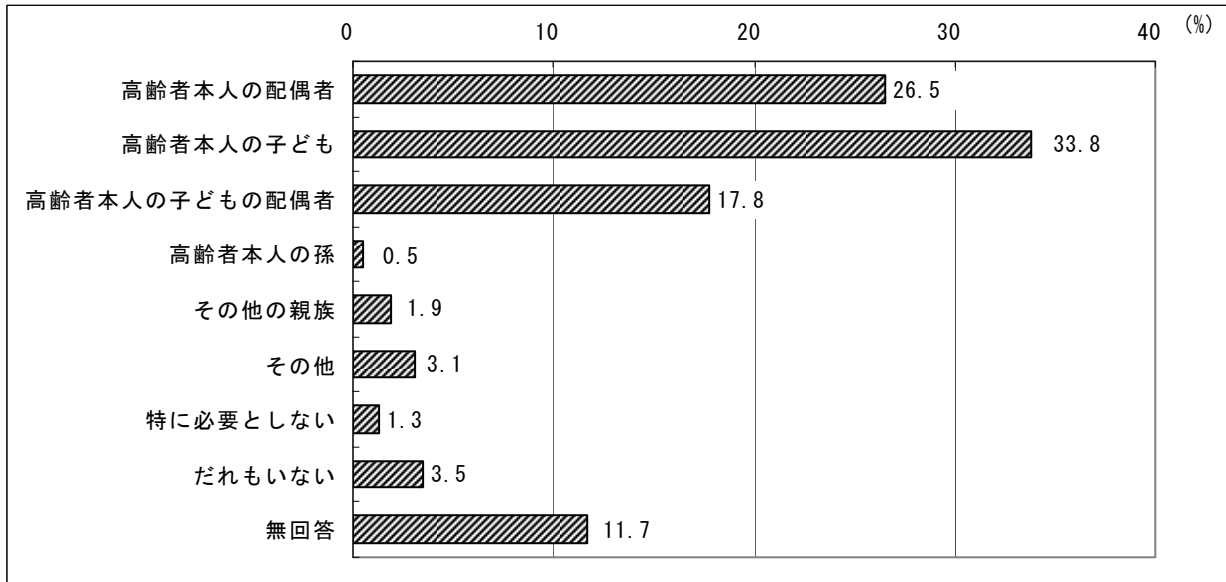


8. 介護者や介護者の状況について

(1) 主な介護者

主な介護者についてきいたところ、「高齢者本人の子ども」の割合が33.8%と最も高く、次いで「高齢者本人の配偶者」が26.5%となっています。一方、「特に必要としない」が1.3%、「だれもいない」が3.5%となっています。

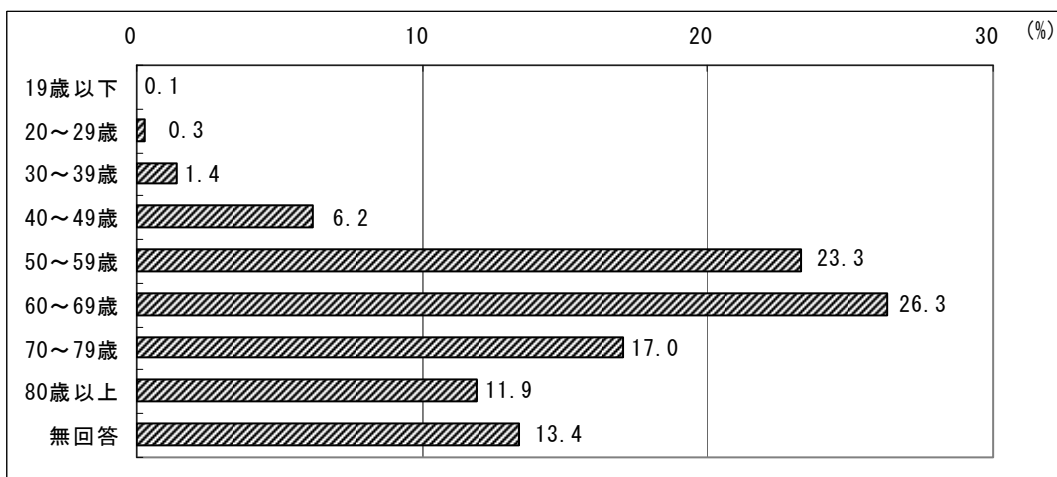
図表 321 主な介護者 [N=2,450]



(2) 主な介護者の年齢

主な介護者の年齢についてきいたところ、「60～69歳」(26.3%)、「50～59歳」(23.3%)が高くなっています。

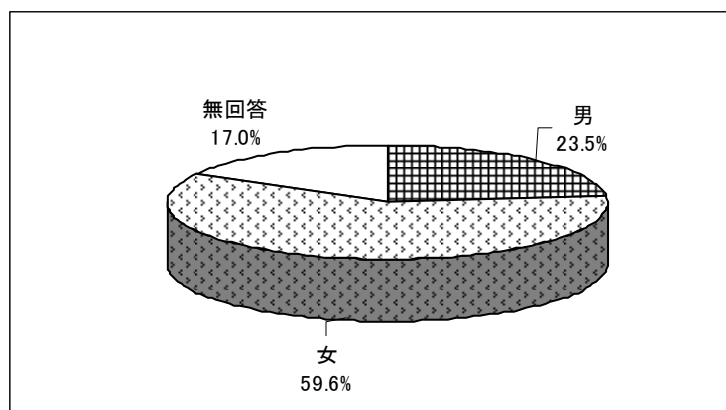
図表 322 主な介護者の年齢 [N=2,332]



(3) 主な介護者の性別

主な介護者の性別は、「女」が59.6%、「男」が23.5%となっています。

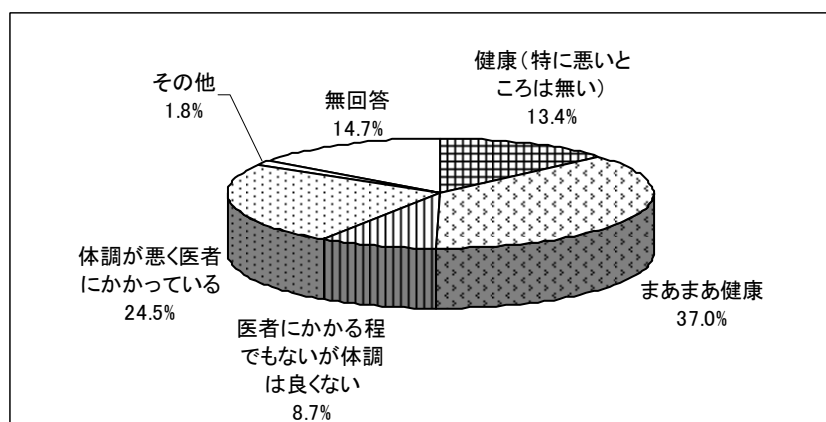
図表 323 主な介護者の性別 [N=2, 332]



(4) 主な介護者の健康状態

主な介護者の健康状態についてきいたところ、「健康（特に悪いところは無い）」が13.4%、「まあまあ健康」が37.0%と、比較的健康的な人が約50%となっています。一方、「医者にかかる程でもないが体調は良くない」が8.7%、「体調が悪く医者にかかっている」が24.5%と、あまり体調が良くない人が約33%となっています。

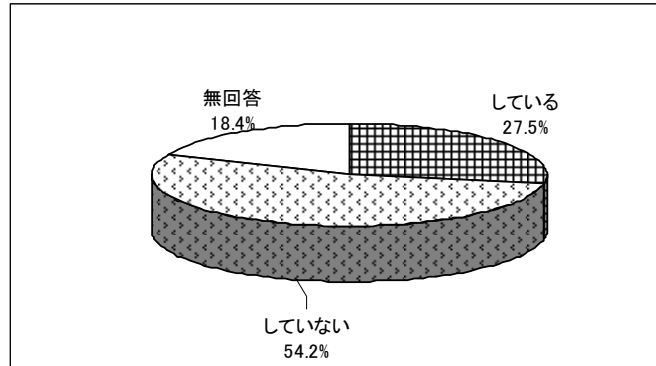
図表 324 主な介護者の健康状態 [N=2, 332]



(5) 主な介護者の就業の有無

主な介護者の就業状況についてきいたところ、「していない」が54.2%、「している」が27.5%となっています。

図表 325 主な介護者の就業の有無 [N=2, 332]

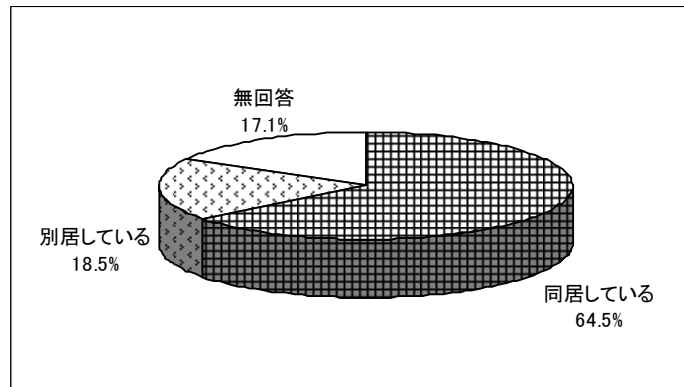


(6) 主な介護者と要介護認定の高齢者本人との同居の有無

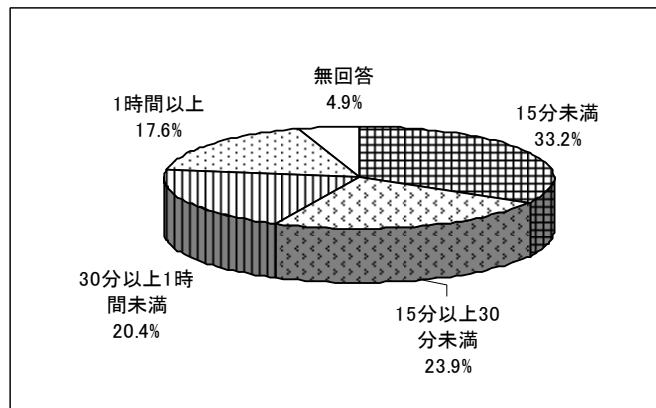
主な介護者と要介護認定の高齢者本人との同居の状況についてきいたところ、「同居している」が64.5%、「別居している」が18.5%となっています。

また別居している人の距離をきいたところ、「15分未満」が33.2%、次いで「15分以上30分未満」が23.9%となっています。

図表 326 主な介護者と要介護認定の高齢者本人との同居の有無 [N=2, 332]



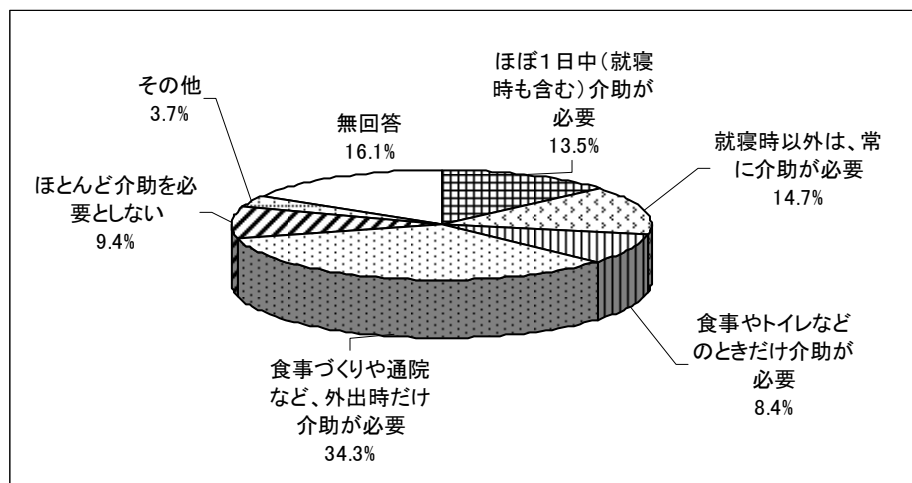
図表 327 別居者の距離 [N=431]



(7) 高齢者本人の介助の必要度

高齢者本人の介助の必要度についてきいたところ、「食事づくりや通院など、外出時だけ介助が必要」の割合が34.3%と最も高く、次いで「就寝時以外は常に介助が必要」が14.7%となっています。

図表 328 高齢者本人の介助の必要度 [N=2, 332]

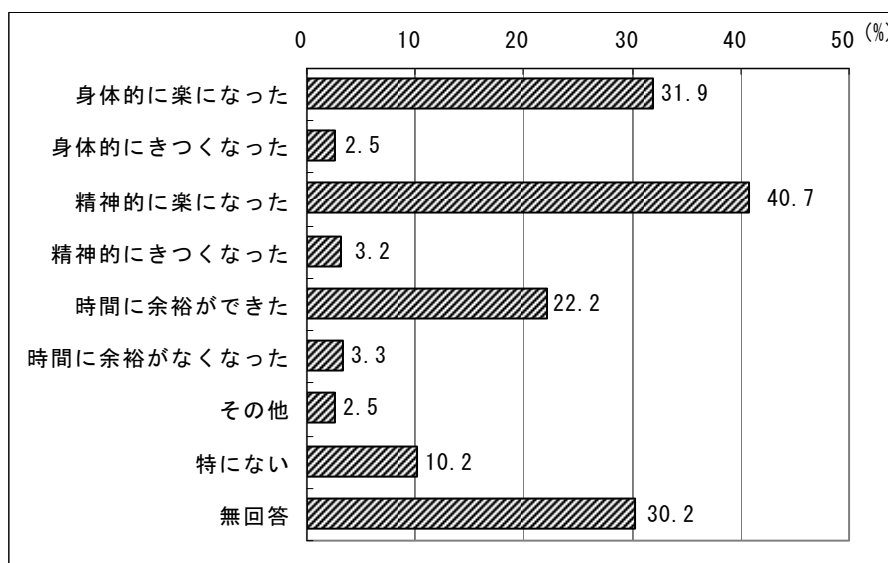


(8) 居宅サービス利用での主な介護者の生活の変化

居宅サービス利用での、主な介護者の生活の変化についてきいたところ、「精神的に楽になった」が40.7%と最も高く、次いで「身体的に楽になった」が31.9%となっています。

要介護度別にみると、要介護1では「精神的に楽になった」を、要介護3、4では「身体的に楽になった」、「精神的に楽になった」、「時間的に余裕ができた」をあげる人の割合が高くなっています。また、要介護5では「身体的に楽になった」、「精神的に楽になった」をあげる人の割合が高く、特に「精神的に楽になった」をあげる人は約56%と高くなっています。

図表 329 居宅サービス利用での、主な介護者の生活の変化 [N=1, 584 ; 複数回答]



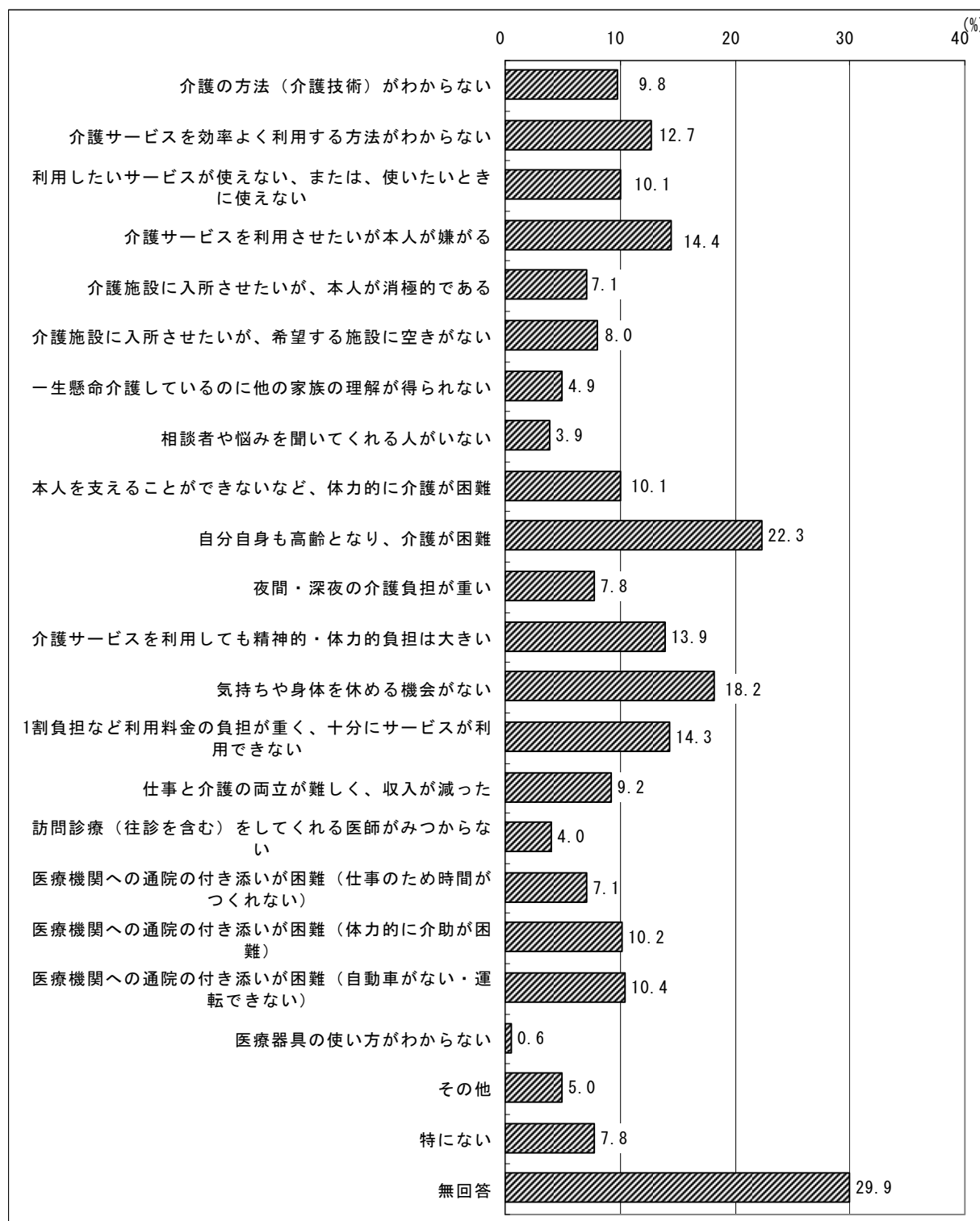
図表 330 <要介護度別>居宅サービス利用での、主な介護者の生活の変化[N=1,584；複数回答]

	合計	身体的に楽になった	身体的にきつくなった	精神的に楽になった	精神的にきつくなった	時間に余裕ができた	時間に余裕がなくなった	その他	特にない	無回答
合計	1,584	505	39	644	50	351	53	40	161	478
	100.0	31.9	2.5	40.7	3.2	22.2	3.3	2.5	10.2	30.2
要支援1	194	37	3	64	5	30	2	3	21	80
	100.0	19.1	1.5	33.0	2.6	15.5	1.0	1.5	10.8	41.2
要支援2	290	67	7	96	5	43	6	7	33	106
	100.0	23.1	2.4	33.1	1.7	14.8	2.1	2.4	11.4	36.6
要介護1	219	72	6	101	5	56	8	5	21	54
	100.0	32.9	2.7	46.1	2.3	25.6	3.7	2.3	9.6	24.7
要介護2	302	98	8	121	16	64	15	9	35	88
	100.0	32.5	2.6	40.1	5.3	21.2	5.0	3.0	11.6	29.1
要介護3	249	97	3	101	3	76	3	8	16	76
	100.0	39.0	1.2	40.6	1.2	30.5	1.2	3.2	6.4	30.5
要介護4	147	67	5	71	9	50	8	4	11	32
	100.0	45.6	3.4	48.3	6.1	34.0	5.4	2.7	7.5	21.8
要介護5	128	58	5	71	7	27	8	2	16	21
	100.0	45.3	3.9	55.5	5.5	21.1	6.3	1.6	12.5	16.4
その他	4	0	0	2	0	0	0	1	0	1
	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
わからない	7	1	0	2	0	1	0	0	1	3
	100.0	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	42.9
無回答	44	8	2	15	0	4	3	1	7	17
	100.0	18.2	4.5	34.1	0.0	9.1	6.8	2.3	15.9	38.6

(9) 主な介護者が介護を行う上で困っていること

主な介護者が介護を行う上で困っていることについてきいたところ、「自分自身も高齢となり、介護が困難」の割合が22.3%と最も高く、次いで「気持ちや身体を休める機会がない」が18.2%となっています。

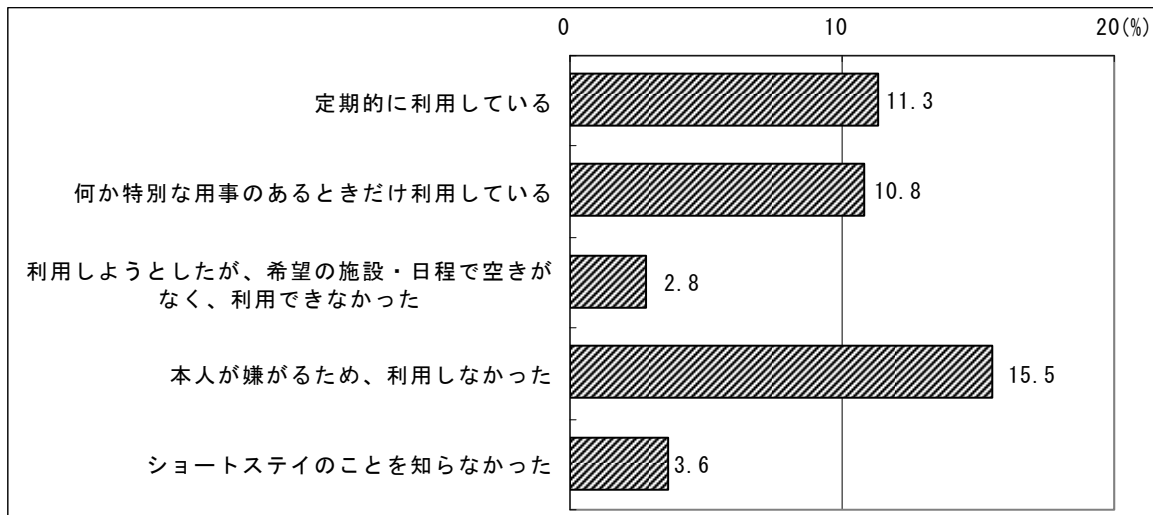
図表 331 主な介護者が介護を行う上で困っていること [N=2,332；複数回答]



(10) ショートステイ利用の有無

ショートステイの利用の有無についてきいたところ、「定期的に利用している」が11.3%、「何か特別な用事のあるときだけ利用している」が10.8%と、利用している人が約22%となっています。一方、「利用しようとしたが、希望の施設・日程で空きがなく、利用できなかった」が2.8%、「本人が嫌がるため、利用しなかった」が15.5%と、利用したいができない人が約18%となっています。

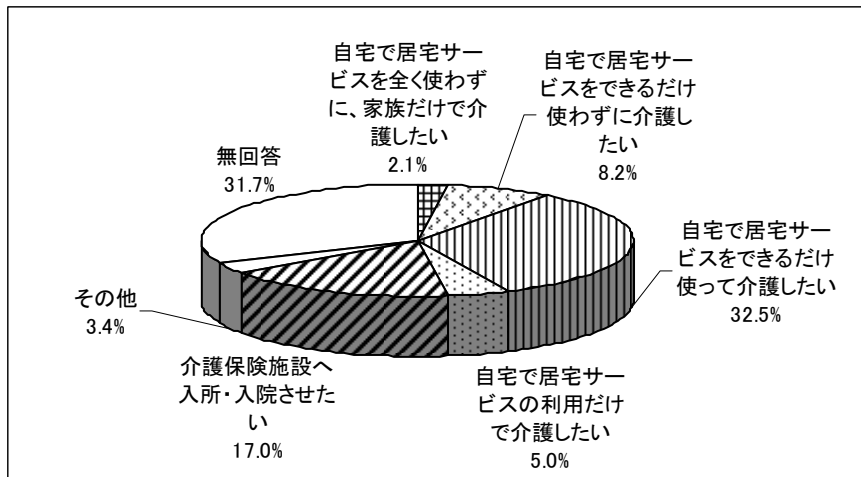
図表 332 ショートステイ利用の有無 [N=1,027]



(11) 今後の介護についての考え

今後の介護についての考えについてきいたところ、「自宅での介護」を希望する人が約48%となっています。なかでも「自宅で居宅サービスをできるだけ使って介護したい」が32.5%と最も高くなっています。一方、「介護保険施設へ入所・入院させたい」が17.0%となっています。

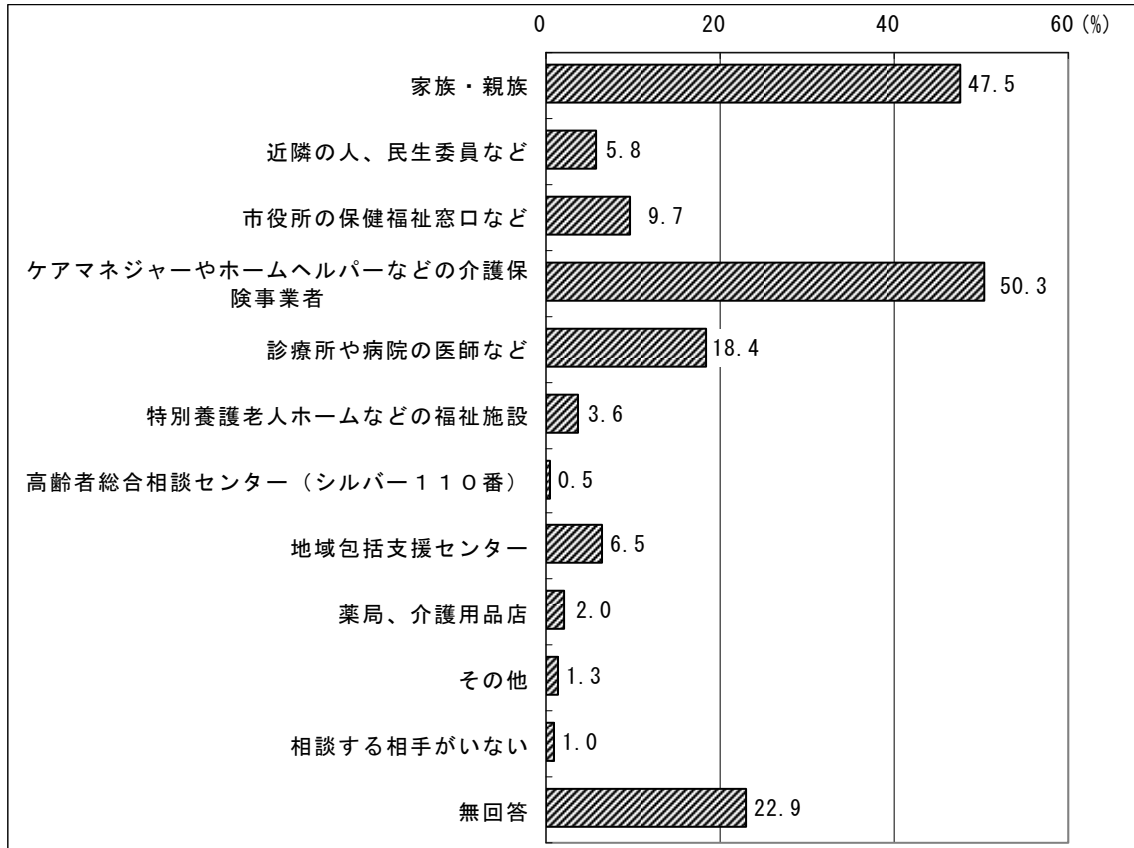
図表 333 今後の介護についての考え [N=2,332]



(12) 介護で困った時の相談相手

介護で困った時の相談相手についてきいたところ、「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの介護保険事業者」の割合が50.3%と最も高く、次いで「家族・親族」が47.5%となっています。

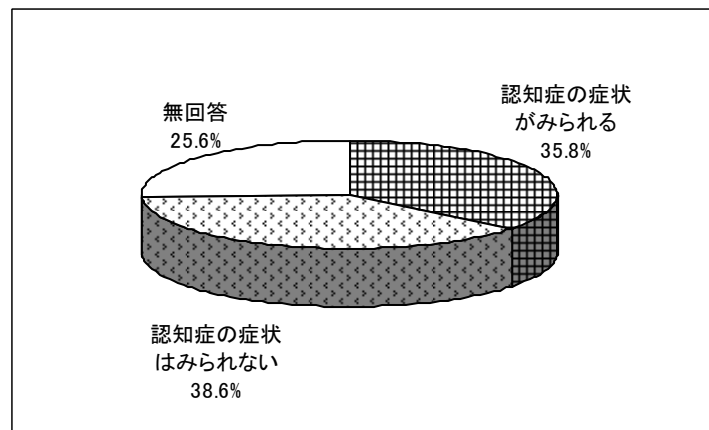
図表 334 介護で困った時の相談相手 [N=2,332 ; 複数回答]



(13) 高齢者本人の認知症状の有無

認知症状の有無をきいたところ、「認知症の症状はみられない」が38.6%、「認知症の症状がみられる」が35.8%となっています。

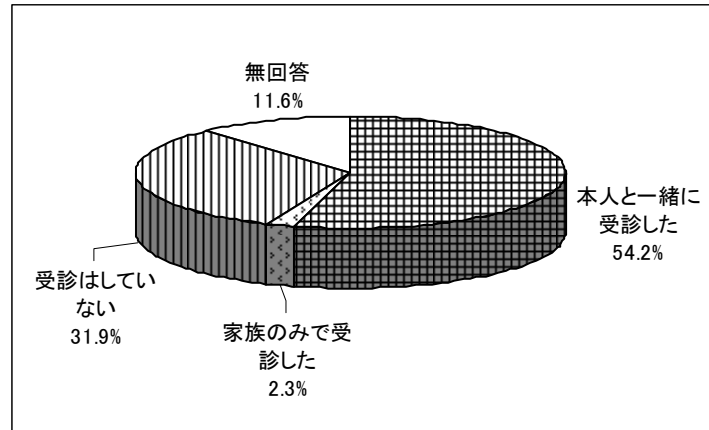
図表 335 高齢者本人の認知症状の有無 [N=2,332]



(14) 認知症についての受診の有無

認知症状がみられる人に病院での受診をしたかきいたところ、「本人と一緒に受診した」が54.2%、「家族のみで受診した」が2.3%、「受診はしていない」が31.9%となっています。

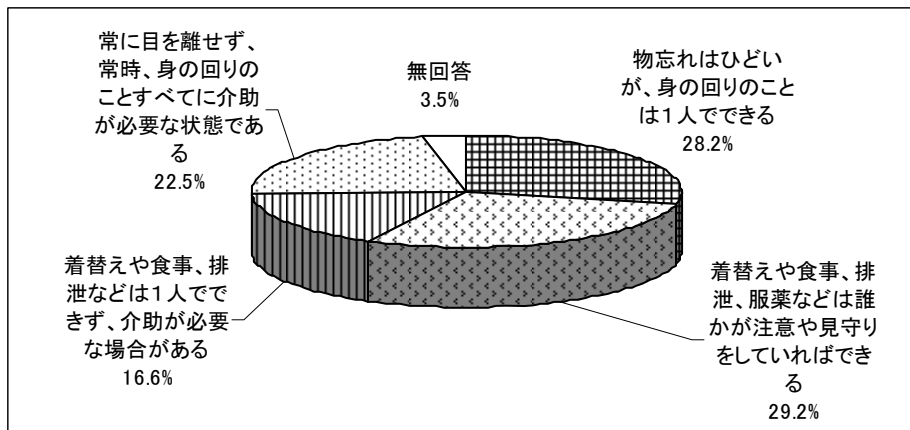
図表 336 高齢者本人の認知症状の有無 [N=836]



(15) 認知症の程度について

認知症状がみられる人にその程度についてきいたところ、「着替えや食事、排泄、服薬などは誰かが注意や見守りをしていればできる」の割合が29.2%と最も高く、次いで「物忘れはひどいが、身の回りのことは1人でできる」が28.2%となっています。

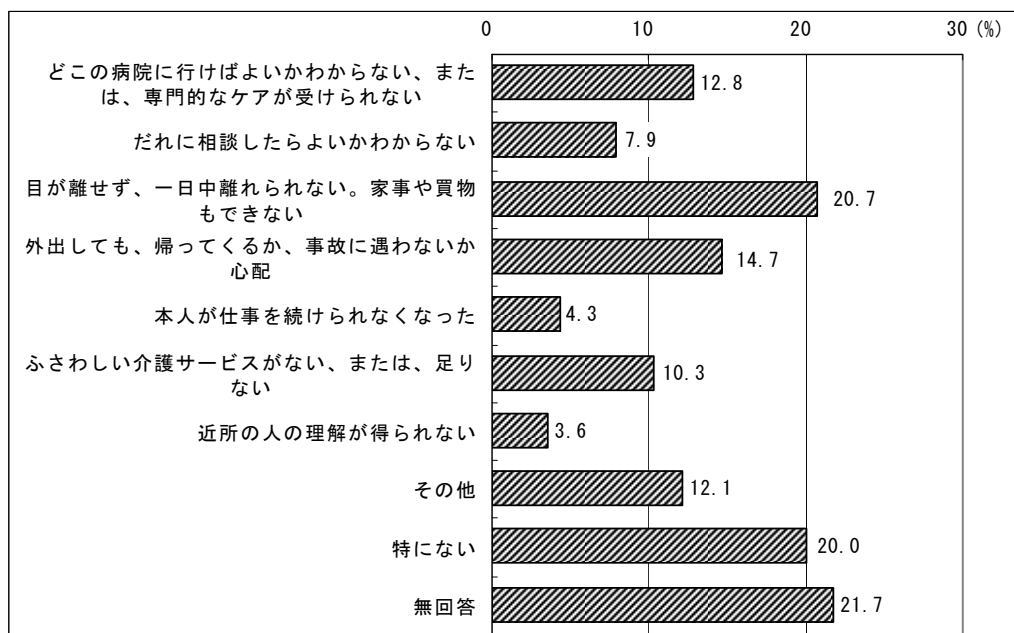
図表 337 認知症の程度について [N=836]



(16) 認知症のある家族の介護で困ったこと

認知症状がみられる人の介護で困ったことについてきいたところ、「目が離せず、一日中離れられない。家事や買物もできない」が20.7%と最も高く、次いで「外出しても、帰ってくるか、事故に遇わないか心配」が14.7%となっています。一方、「特にない」は20.0%となっています。

図表 338 認知症のある家族の介護で困ったこと [N=836]



(17) 行政がすべき支援

今後行政がすべき支援についてきいたところ、「家族で介護するための方法や助言を相談できる体制を充実する」の割合が34.8%と最も高く、次いで「介護保険以外の高齢福祉サービスの充実をする」が28.3%、「経済的な支援をする」が27.4%となっています。

図表 339 行政がすべき支援 [N=2,332 ; 複数回答]

